

予算科目	10 款	教育費	事業名		小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																								
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																								
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																								
	事業	教育指導奨励費		(1)	学校教育の充実を図る																								
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 91																									
目的及び事業内容		<p>小・中学校の体育文化活動の充実を図るとともに、各種大会へ出場する際の交通費、宿泊費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会区分</th> <th>補助対象経費</th> <th>補助率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">体育活動</td> <td>地区大会以上</td> <td>交通費</td> <td>75%</td> <td rowspan="2">東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。</td> </tr> <tr> <td>県大会以上</td> <td>交通費</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>文化活動</td> <td>県大会以上</td> <td>楽器輸送費</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				大会区分	補助対象経費	補助率	備考	体育活動	地区大会以上	交通費	75%	東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。	県大会以上	交通費	75%	文化活動	県大会以上	楽器輸送費	100%								
大会区分	補助対象経費	補助率	備考																										
体育活動	地区大会以上	交通費	75%	東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。																									
	県大会以上	交通費	75%																										
文化活動	県大会以上	楽器輸送費	100%																										
取組実績		<p>補助金の交付</p> <p>音楽コンクール県大会以上に参加した中学校に対し交通費等の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 7回（7校） ・東北大会参加回数 1回（1校） ・全国大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 1,140,383円 <p>体育活動各種大会に参加した中学校に対し、交通費等の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区大会参加回数 66回（18校） ・県大会参加回数 29回（14校） ・東北大会参加回数 10回（7校） ・全国大会参加回数 7回（6校） ・補助金交付額 21,278,648円 																											
成果		<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>3校（6件）</td> <td>6校（8件）</td> <td>7校（9件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>433,635円</td> <td>524,119円</td> <td>1,140,383円</td> </tr> </tbody> </table> <p>体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R2 （地区大会含む）</th> <th>R3 （地区大会含む）</th> <th>R4 （地区大会含む）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>18校（53件）</td> <td>18校（125件）</td> <td>18校（112件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>8,844,137円</td> <td>19,245,400円</td> <td>21,278,648円</td> </tr> </tbody> </table>				主な指標項目	R2	R3	R4	補助対象校（補助件数）	3校（6件）	6校（8件）	7校（9件）	補助金交付額	433,635円	524,119円	1,140,383円	主な指標項目	R2 （地区大会含む）	R3 （地区大会含む）	R4 （地区大会含む）	補助対象校（補助件数）	18校（53件）	18校（125件）	18校（112件）	補助金交付額	8,844,137円	19,245,400円	21,278,648円
主な指標項目	R2	R3	R4																										
補助対象校（補助件数）	3校（6件）	6校（8件）	7校（9件）																										
補助金交付額	433,635円	524,119円	1,140,383円																										
主な指標項目	R2 （地区大会含む）	R3 （地区大会含む）	R4 （地区大会含む）																										
補助対象校（補助件数）	18校（53件）	18校（125件）	18校（112件）																										
補助金交付額	8,844,137円	19,245,400円	21,278,648円																										
成果に係る評価		<p>各種大会に参加する生徒の交通費等の一部や楽器輸送費を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。令和4年度の中学校体育連盟の大会は、新型コロナウイルスの影響により観客に入場制限が設けられた中での開催であったが、新型コロナウイルス流行前と同様に各競技が実施された。今後も、小・中学校の文化活動及び体育活動の充実と、保護者の経済的負担の軽減を図っていくため、本事業を継続して実施することが必要である。</p>																											
（単位：円）																													
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
		23,000,000	22,419,031			21,000,000	1,419,031																						

予算科目	10 款	教育費	事業名	奨学金貸与事業																																			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																		
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																		
	事業	奨学金貸与費		(3)	有能な人材を育成支援する																																		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92																																			
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																																					
取組実績		<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、石巻市奨学生選考委員会で8名の新規奨学生を決定した。</p> <p>(2) 貸与区分(月額)</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> <tr> <td>高校在学</td> <td>15,000円</td> <td>高専在学</td> <td>第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学(専門課程)</td> <td>45,000円</td> </tr> </table> <p>(3) 貸与者数 31名 (4) 貸与金額 15,705,000円</p> <p>2 奨学金の償還 滞納者に対し督促書を郵送した。返済の見込めない滞納者については、その保護者及び連帯保証人に催告書を送付し返済を求め、収納促進を図った。</p>						区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学(専門課程)	45,000円																				
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																																				
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円																																				
大学在学	45,000円	専修学校在学(専門課程)	45,000円																																				
成果		<p>経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <p>1 貸与状況</p> <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> <tr> <td>奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)</td> <td>58名(10名)</td> <td>45名(9名)</td> <td>31名(8名)</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>29,655,000円</td> <td>22,680,000円</td> <td>15,705,000円</td> </tr> </table> <p>2 償還状況(令和4年度)</p> <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>令和4年度(現年)分</th> <th>滞納(過年度)分</th> <th>繰上償還分</th> </tr> <tr> <td>調 定 額</td> <td>33,989,800円</td> <td>40,727,550円</td> <td>54,000円</td> </tr> <tr> <td>償 還 額</td> <td>31,765,500円</td> <td>7,134,100円</td> <td>54,000円</td> </tr> <tr> <td>滞 納 額</td> <td>2,224,300円</td> <td>33,593,450円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>償 還 率</td> <td>93.46%</td> <td>17.52%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>						主な指標項目	R2	R3	R4	奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	58名(10名)	45名(9名)	31名(8名)	貸与金額	29,655,000円	22,680,000円	15,705,000円	項 目	令和4年度(現年)分	滞納(過年度)分	繰上償還分	調 定 額	33,989,800円	40,727,550円	54,000円	償 還 額	31,765,500円	7,134,100円	54,000円	滞 納 額	2,224,300円	33,593,450円	0円	償 還 率	93.46%	17.52%	100.0%
主な指標項目	R2	R3	R4																																				
奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	58名(10名)	45名(9名)	31名(8名)																																				
貸与金額	29,655,000円	22,680,000円	15,705,000円																																				
項 目	令和4年度(現年)分	滞納(過年度)分	繰上償還分																																				
調 定 額	33,989,800円	40,727,550円	54,000円																																				
償 還 額	31,765,500円	7,134,100円	54,000円																																				
滞 納 額	2,224,300円	33,593,450円	0円																																				
償 還 率	93.46%	17.52%	100.0%																																				
成果に係る評価		<p>年度内に2回、奨学生を募集し、石巻市奨学生選考委員会による公正な審査を行った結果、8名の奨学生を採用し、修学に必要な学資を貸与した。 償還金の滞納対策として、滞納者との納付相談や、保護者及び連帯保証人への催告等を実施したところ、滞納額及び滞納者数は前年度と比較し減少した。また、新たな滞納者が生じないよう令和4年度分償還金の償還状況を確認しながら、返済期が遅れている奨学生に対しては電話による状況確認を行った。今後も個別相談や電話連絡等により滞納者の生活状況の把握に努めながら、効果的な滞納対策を実施する。</p>																																					
(単位:円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	19,746,000	19,639,380			15,705,000	3,934,380																																	

予算科目	10 款	教育費	事業名	国際理解教育推進事業													
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち												
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実												
	事業	外国青年英語指導費		(2)	外国語教育を推進する												
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92													
目的及び事業内容		幼稚園、小・中学校及び高等学校におけるALT(外国語指導助手)を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中学校、高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園、こども園、けやき教室における国際理解教育の推進															
取組実績		<p>1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を16のブロックに分け、それぞれに1名ずつALTを配置した。2名のJET-ALTと14名の民間ALT(業務委託)を配置しており、JETプログラムのALTについては、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。どの中・高でも週に1回程度はALTの指導を受けている。</p> <p>2 市立小学校 中・高学年で行われている外国語活動の時間に合わせてALTを配置した。学級担任や外国語担当教員と協働し、児童が楽しみながら外国語を使用し、コミュニケーション能力の基礎を養えるような授業づくりに努めた。どの小学校も週に1回程度はALTの指導を受けている。</p> <p>3 市立幼稚園・こども園・けやき教室 月に1回程度配置し、英語を使った活動等を行い、英語に対する関心を高める機会を設定した。</p> <p>※JETプログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施する事業。</p>															
成果		<p>前年度に引き続き高い水準でALTとの授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対する関心や意欲を高めることに大いに貢献している。また、「ALTは、外国語教育等に係る業務を適切に行いましたか(5段階評価)」という質問項目では、4あるいは5と答えた教員の割合が91%と高い値を示した。</p> <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合(中学2年生)</td> <td>89.2%</td> <td>89.0%</td> <td>88.9%</td> <td>91.3%</td> </tr> </table>						主な指標項目	R1	R2	R3	R4	ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合(中学2年生)	89.2%	89.0%	88.9%	91.3%
主な指標項目	R1	R2	R3	R4													
ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合(中学2年生)	89.2%	89.0%	88.9%	91.3%													
成果に係る評価		<p>新学習指導要領では、小学校での外国語の時間が増加し、指導内容もより実際のコミュニケーションを意識したものになる。小学校におけるALTのニーズが高まっている中で、本市においては1人のALTが2~4校程度担当しており、児童・生徒が常にALTの指導を受けられる状況とはなっていない。今後、小学校へのALTの配置数を増やし、一層の指導の充実を図っていく必要がある。 授業では担任教員とのTT(ティームティーチング)により、子どもたちが異文化への興味・関心を高め、身の回りにおける様々な学習資源を活用して自ら英語力を高めていこうとする意欲を培っていくことにより、国際理解教育の充実を図っていく。</p>															
(単位:円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	77,434,940	77,188,017				77,188,017											

予算科目	10 款	教育費	事業名		いじめ・生徒指導問題対策事業																																																
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																																
	事業	いじめ・生徒指導問題対策費		(1)	学校教育の充実を図る																																																
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 90																																																	
目的及び事業内容		いじめやその他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期発見・解決を図る。 1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決に係る研修会、講演会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」の実施																																																			
取組実績		1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。 2 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語（小）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。 3 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」は、市内全中学校のいじめの防止の取組について、オンラインにて行った。 4 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。 5 いじめ問題対策連絡協議会主催で「いじめ根絶！子どもの命を守る家庭と学校の連携力」と題して11月に教育講演会を実施した。																																																			
成果		【いじめ認知件数の推移】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>認知件数</td> <td>188件</td> <td>263件</td> <td>77件</td> <td>186件</td> <td>96件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>76.10%</td> <td>82.10%</td> <td>66.20%</td> <td>85.50%</td> <td>62.50%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>認知件数</td> <td>66件</td> <td>82件</td> <td>46件</td> <td>39件</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>63.60%</td> <td>61.00%</td> <td>47.80%</td> <td>76.90%</td> <td>77.78%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>認知件数</td> <td>254件</td> <td>345件</td> <td>123件</td> <td>225件</td> <td>132件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>解消率</td> <td>72.80%</td> <td>77.10%</td> <td>59.30%</td> <td>84.00%</td> <td>66.67%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・いじめの認知件数は、隔年で増減を繰り返している。</p> <p>※『いじめが「解消している」状態とは、①いじめに係る行為が止んでいること、被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること。この相当の期間とは、少なくとも3か月を目安とする。②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと、いじめに係る行為が止んでいるかどうかを判断する時点において、被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。』 平成25年10月11日文科科学大臣決定（最終改定 平成29年3月14日）いじめの防止等のための基本的な方針より抜粋</p>					区分		H30	R1	R2	R3	R4	小学校	認知件数	188件	263件	77件	186件	96件	解消率	76.10%	82.10%	66.20%	85.50%	62.50%	中学校	認知件数	66件	82件	46件	39件	36件	解消率	63.60%	61.00%	47.80%	76.90%	77.78%	合計	認知件数	254件	345件	123件	225件	132件		解消率	72.80%	77.10%	59.30%	84.00%	66.67%
区分		H30	R1	R2	R3	R4																																															
小学校	認知件数	188件	263件	77件	186件	96件																																															
	解消率	76.10%	82.10%	66.20%	85.50%	62.50%																																															
中学校	認知件数	66件	82件	46件	39件	36件																																															
	解消率	63.60%	61.00%	47.80%	76.90%	77.78%																																															
合計	認知件数	254件	345件	123件	225件	132件																																															
	解消率	72.80%	77.10%	59.30%	84.00%	66.67%																																															
成果に係る評価		いじめの認知を高めるために、各校では、いじめアンケートの実施に加え、児童生徒の見守りや早期発見・解決といった取組を組織的に行っている。12月以降、解消率が小・中学校ともに高まることから、いじめ認知後の指導及び経過観察を丁寧に行っている成果であると考えられる。今後も、未然防止に向けての取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校全体で組織的に解決、解消に努めることが大切である。学校外におけるSNSやオンラインゲーム等を起因とするトラブルもみられることから、今後も、児童生徒同士の望ましい人間関係づくりの推進や道德教育の充実に向けて、引き続き各校に働き掛けていく。																																																			
（単位：円）																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	546,000	412,280				412,280																																															

予算科目	10 款	教育費	事業名		適応指導教室運営事業	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実	
	事業	適応指導教室運営費		(1)	学校教育の充実を図る	
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 90		
目的及び事業内容		不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。 1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実				
取組実績		1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒及び保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行い児童生徒の悩み等に対し、随時受容的に対応した。また、在籍校との相談、情報共有を積極的に行った。 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒の実態や学年を踏まえて時間割を作り、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、連絡を密に行った。懇談会の開催や適応指導教室での学力調査、定期考査の実施、学校で使用しているプリントでの学習などにより、学校と児童生徒との結び付きを強化しながら指導・支援を行った。 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、さつまいもの収穫等の体験活動を通して仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。				
成果		通所する児童生徒の学習や生活状況に関する相談に応じ、また、通所児童生徒の個々の進度に応じた学習支援を行うことにより、学力の向上を図り、学習することの楽しさを学ばせることができた。不登校児童生徒が通所し、様々な体験活動を通して、仲間とともに活動することによって、連帯感や協調性のすばらしさを感じ、また、他者とのコミュニケーション能力や社会性を高めることができた。学校を交えた年3回の定期的な懇談会の開催や、保護者及び在籍校と密に連携を図ることにより、児童生徒の些細な変化に迅速に対応することができた。令和4年度に通所した中学3年生4名については、それぞれが目標とする高等学校に入学することができた。				
成果に係る評価		不登校傾向・不登校の児童生徒の通所型支援施設である適応指導教室と、学校訪問や家庭訪問等により支援する「石巻市子どものサポートハウス」が連携し学習支援を行うことにより、それぞれの特徴を生かした不登校等児童生徒への支援を展開することができた。通所した児童生徒の再登校率、部分登校率は低下したものの、適応指導教室に通所することで生活習慣が改善され、また、他者との交流や様々な体験活動を通して協調性や社会性を高めることにより、在籍校への再登校支援を図ることができた。				
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	10,317,400	9,964,096				9,964,096

予算科目	10 款	教育費	事業名	スクールカウンセラー配置事業																																																																																																																	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																																																																																
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進																																																																																																																
	事業	スクールカウンセラー配置事業費		(1)	心のケアや相談体制の充実を図る																																																																																																																
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P94																																																																																																																	
目的及び事業内容	<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置</p> <p>2 児童生徒・保護者・教職員からの要望に応じたカウンセリングの実施</p> <p>3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																																																																																																																				
取組実績	<p>1 スクールカウンセラーの配置（小・中学校カウンセラーの任用は宮城県で行い、人件費も県より支出する。）</p> <p>・33人のカウンセラーを全小・中学校に配置した。</p> <p>2 カウンセラーの配置状況</p> <p>(1) 1人あたり 小学校各校年間12～48回、中学校各校年間20～39回、桜坂高校60回</p> <p>(2) 1回あたりの時間 5～6時間</p> <p>3 カウンセラーの活動内容</p> <p>・面談・カウンセリング研修等の実施・カウンセリングルームの環境整備</p> <p>・各学級巡回・各種ケース会議・おたよりの作成 等</p>																																																																																																																				
成果	<p>全小・中学校、桜坂高校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制を整えることができた。相談者が専門的なカウンセリングを受けることによって、震災後の心のケアも含め、学校や家族の内面的な問題等の解決の一助としての役割を担った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>相談</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>件数</td> <td>3,122件</td> <td>3,055件</td> <td>3,111件</td> <td>3,540件</td> <td>3,409件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3,433人</td> <td>3,242人</td> <td>3,669人</td> <td>3,743人</td> <td>3,490人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>件数</td> <td>3,094件</td> <td>2,681件</td> <td>1,950件</td> <td>2,199件</td> <td>2,515件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3,296人</td> <td>2,816人</td> <td>2,052人</td> <td>2,138人</td> <td>2,648人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">桜坂高校</td> <td>件数</td> <td>302件</td> <td>252件</td> <td>229件</td> <td>224件</td> <td>236件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>420人</td> <td>340人</td> <td>349人</td> <td>350人</td> <td>348人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>相談人数内訳</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>児童</td> <td>2,065人</td> <td>2,186人</td> <td>2,549人</td> <td>2,566人</td> <td>2,449人</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>713人</td> <td>509人</td> <td>602人</td> <td>597人</td> <td>444人</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>655人</td> <td>547人</td> <td>518人</td> <td>580人</td> <td>597人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>生徒</td> <td>1,830人</td> <td>1,918人</td> <td>1,460人</td> <td>1,376人</td> <td>1,594人</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>814人</td> <td>529人</td> <td>369人</td> <td>398人</td> <td>702人</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>652人</td> <td>369人</td> <td>223人</td> <td>364人</td> <td>352人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">桜坂高校</td> <td>生徒</td> <td>156人</td> <td>140人</td> <td>221人</td> <td>231人</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>259人</td> <td>194人</td> <td>126人</td> <td>112人</td> <td>197人</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>5人</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>7人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>							学校区分	相談	H30	R1	R2	R3	R4	小学校	件数	3,122件	3,055件	3,111件	3,540件	3,409件	人数	3,433人	3,242人	3,669人	3,743人	3,490人	中学校	件数	3,094件	2,681件	1,950件	2,199件	2,515件	人数	3,296人	2,816人	2,052人	2,138人	2,648人	桜坂高校	件数	302件	252件	229件	224件	236件	人数	420人	340人	349人	350人	348人	学校区分	相談人数内訳	H30	R1	R2	R3	R4	小学校	児童	2,065人	2,186人	2,549人	2,566人	2,449人	教職員	713人	509人	602人	597人	444人	保護者	655人	547人	518人	580人	597人	中学校	生徒	1,830人	1,918人	1,460人	1,376人	1,594人	教職員	814人	529人	369人	398人	702人	保護者	652人	369人	223人	364人	352人	桜坂高校	生徒	156人	140人	221人	231人	146人	教職員	259人	194人	126人	112人	197人	保護者	5人	6人	2人	7人	5人
学校区分	相談	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																															
小学校	件数	3,122件	3,055件	3,111件	3,540件	3,409件																																																																																																															
	人数	3,433人	3,242人	3,669人	3,743人	3,490人																																																																																																															
中学校	件数	3,094件	2,681件	1,950件	2,199件	2,515件																																																																																																															
	人数	3,296人	2,816人	2,052人	2,138人	2,648人																																																																																																															
桜坂高校	件数	302件	252件	229件	224件	236件																																																																																																															
	人数	420人	340人	349人	350人	348人																																																																																																															
学校区分	相談人数内訳	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																															
小学校	児童	2,065人	2,186人	2,549人	2,566人	2,449人																																																																																																															
	教職員	713人	509人	602人	597人	444人																																																																																																															
	保護者	655人	547人	518人	580人	597人																																																																																																															
中学校	生徒	1,830人	1,918人	1,460人	1,376人	1,594人																																																																																																															
	教職員	814人	529人	369人	398人	702人																																																																																																															
	保護者	652人	369人	223人	364人	352人																																																																																																															
桜坂高校	生徒	156人	140人	221人	231人	146人																																																																																																															
	教職員	259人	194人	126人	112人	197人																																																																																																															
	保護者	5人	6人	2人	7人	5人																																																																																																															
成果に係る評価	<p>平成29年度から全小・中学校、桜坂高校にスクールカウンセラーを配置している。相談活動、情報交換やケース会議、相談しやすい環境づくり等も実施し、教職員の力量の向上や組織的かつ適切な対応のための組織づくりに生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケア、コロナ禍の影響の解決の面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。教職員向けの研修会を開催し、児童生徒の支援に生かしていくことが今後の課題である。多様化する生徒の悩みを受け入れ、ともに解決の糸口や対処法を考えていくスクールカウンセラー配置事業の効果はとも大きく、今後も継続が必要である。小・中学校カウンセラーの任用は宮城県で行い、人件費も県より支出していることから、引き続き、県に有資格者による継続配置を求めていく。</p>																																																																																																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																															
	2,269,000	2,186,259				2,186,259																																																																																																															

予算科目	10 款	教育費	事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業																																			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																		
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進																																		
	事業	スクールソーシャルワーカー配置事業費		(1)	心のケアや相談体制の充実を図る																																		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P94																																			
目的及び事業内容	<p>小・中学校及び高等学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）を考慮し、面談などの働きかけを行う。</p> <p>2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める。</p> <p>3 小・中学校及び高等学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する。</p> <p>4 小・中学校及び高等学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める。</p>																																						
取組実績	<p>1 スクールソーシャルワーカーについて（令和4年度：7名配置）</p> <p>児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携し対応した。また、震災後の児童生徒の心のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーや児童精神科医とも連携し、専門的な知見を基にした適切な対応を働きかけた。</p> <p>2 7名の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>拠点校</th> <th>担当校（拠点校含）</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>石巻小、二俣小、石巻市教育委員会</td> <td>小学校9校、中学校4校</td> <td>1日 6時間、週2.5日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>向陽小、河南東中</td> <td>小学校8校、中学校3校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>桃生中</td> <td>小学校3校、中学校1校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>万石浦中</td> <td>小学校5校、中学校3校</td> <td>1日 6時間、週1.5日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>渡波中、稲井中</td> <td>小学校3校、中学校2校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>飯野川中</td> <td>小学校3校、中学校3校</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>桜坂高、青葉中</td> <td>小学校2校、中学校2校、高校1校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 連携した機関</p> <p>子ども家庭、福祉の関係機関(106件)、保健・医療の関係機関(66件)、教育支援センター等の学校外の教育機関(17件)、フリースクール等(58件)、その他の機関(45件) 合計292件</p>							No	拠点校	担当校（拠点校含）	勤務時間、日数	1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	小学校9校、中学校4校	1日 6時間、週2.5日	2	向陽小、河南東中	小学校8校、中学校3校	1日 6時間、週2日	3	桃生中	小学校3校、中学校1校	1日 6時間、週2日	4	万石浦中	小学校5校、中学校3校	1日 6時間、週1.5日	5	渡波中、稲井中	小学校3校、中学校2校	1日 6時間、週2日	6	飯野川中	小学校3校、中学校3校	1日 6時間、週1日	7	桜坂高、青葉中	小学校2校、中学校2校、高校1校	1日 6時間、週2日
No	拠点校	担当校（拠点校含）	勤務時間、日数																																				
1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	小学校9校、中学校4校	1日 6時間、週2.5日																																				
2	向陽小、河南東中	小学校8校、中学校3校	1日 6時間、週2日																																				
3	桃生中	小学校3校、中学校1校	1日 6時間、週2日																																				
4	万石浦中	小学校5校、中学校3校	1日 6時間、週1.5日																																				
5	渡波中、稲井中	小学校3校、中学校2校	1日 6時間、週2日																																				
6	飯野川中	小学校3校、中学校3校	1日 6時間、週1日																																				
7	桜坂高、青葉中	小学校2校、中学校2校、高校1校	1日 6時間、週2日																																				
成果	<p>1 スクールソーシャルワーカーの業務内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。</p> <p>2 学校、適応指導教室、保健福祉部関係課、国府台病院児童精神科医師、関係団体等と連携を図ることにより、問題を抱える児童生徒等に対し、家庭訪問や巡回相談、支援関係者会議等で速やかにケース対応することができた。</p> <p>3 全ての学校にスクールソーシャルワーカーを割り振り、継続的、定期的に巡回することで教職員・家庭への認知度や信頼関係が高まり、ケースの掘り起こしを含め、丁寧に対応することができた。</p> <p>○相談後の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4年度相談件数（計536件）</th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>87件</td> <td>193件</td> <td>202件</td> <td>54件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16%</td> <td>36%</td> <td>38%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○令和4年度活動の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">訪問回数</th> <th colspan="2">ケース会議</th> </tr> <tr> <th>学校</th> <th>家庭</th> <th>関係機関等</th> <th>教職員等</th> <th>関係機関等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>891回</td> <td>210回</td> <td>56回</td> <td>94回（63件）</td> <td>61回（43件）</td> </tr> </tbody> </table>							R4年度相談件数（計536件）	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	割合	87件	193件	202件	54件		16%	36%	38%	10%	訪問回数			ケース会議		学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等	891回	210回	56回	94回（63件）	61回（43件）		
R4年度相談件数（計536件）	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																			
割合	87件	193件	202件	54件																																			
	16%	36%	38%	10%																																			
訪問回数			ケース会議																																				
学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等																																			
891回	210回	56回	94回（63件）	61回（43件）																																			
成果に係る評価	<p>相談件数のうち最も多いのは家庭環境（児童虐待を含む）であり、次に多いのが不登校であった。関係機関との連携件数は292件で、関係機関との連携強化が図られ、児童生徒及び家庭への適切な支援につながっていると考えられる。</p> <p>また、スクールソーシャルワーカーが、県のスクールソーシャルワーカースーパーバイザーより助言を受けることにより、問題に応じて環境への働きかけを柔軟に行うことができた点も成果である。</p> <p>不登校対応をはじめとして、暴力行為、児童虐待などの問題の未然防止や、ヤングケアラー等の今日的な問題の早期解決のためにも、今後も事業を継続する必要がある。</p>																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	14,175,797	12,863,797	12,863,797																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	防災教育充実事業				
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進			
	事業	学校安全推進費、学校安全総合支援事業費、防災教育充実事業費		(2)	防災教育の充実を図る			
担当部課	教育委員会学校安全推進課	実施計画掲載ページ		P 95				
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な学校環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力を育成するための教材等の作成</p>							
取組実績	<p>1 学校防災推進会議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当者で構成する学校防災推進会議において、本市の学校防災の今後の在り方について協議を行った。また、学校防災について、より専門的に調査・研究するため、3つのワーキンググループを設置し、学校防災の推進に向けた活動を行った。 【取組内容】 WG1「防災研修」：安全担当主幹や防災主任を対象とした研修会の実施、学校防災フォーラムの開催、クロスロードゲーム石巻版児童生徒編の活用、復興・防災マップの広域化 WG2「防災管理」：学校安全マニュアルの点検及び改善指導、大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査の実施、地域防災連絡会の活動促進と充実 WG3「防災教育」：防災合言葉の募集、防災教育副読本活用の促進及び活用状況の確認</p> <p>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するため、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報を活用した避難訓練を実施した。</p> <p>3 防災教育副読本を活用した授業実践 本市の実態に即した防災教育推進のため、市内全ての小・中学校で防災教育副読本を活用した防災教育を展開した。 <防災教育副読本発行部数> 小学校：1年生 1,200冊、4年生 1,200冊、中学校：1年生 1,200冊</p>							
成 果	<区 分>		<実績等>		<成 果>			
	1 学校防災推進会議 WG1「防災研修」	学校防災フォーラム開催 (参加者：204名)	県内から多数参加者を迎え、当市の学校防災の取り組みを広く発信することができた。					
		防災主任研修会開催(4回)	東北大学等の有識者を講師に招き、災害リスクや危機管理について理解を深めた。					
		WG2「防災管理」	学校安全マニュアルの点検及び改善の指導	各学校の実情に沿った、より実践的な学校安全マニュアルの作成が継続し行われている。				
WG3「防災教育」	防災合言葉コンクールの開催	優秀作品を市報に掲載することで、市全体の防災意識の高揚が図られ応募も増加している。						
2 緊急地震速報を活用した避難訓練	緊急地震速報受信機設置校全てで実施(42校)	機器を活用することで、臨場感のあるより実践的な訓練に複数回取り組み、迅速な避難行動に繋がっている。						
3 防災教育副読本を活用した授業の実践	全小中学校で活用(小学校：33校、中学校18校)	発達段階に応じた指導により、児童生徒に必要な知識や能力を身に付けさせることができた。						
成果に係る評価	<p>震災から12年が経過し、震災を体験していない児童生徒・教職員が増える一方、町の復興が進み、目に見える被害が減っている状況の中、児童生徒らに震災の事実や教訓を語り継いでいく必要がある。防災教育副読本を活用した防災教育の推進、児童生徒の主体的な行動を伴った実践的な避難訓練の実施等を今後も継続していき、児童生徒・教職員の防災意識の向上を図るとともに、児童生徒が「自分の命は自分で守る」ことができるように活動していくことが不可欠である。 今後も、全ての学校区に設置された「地域防災連絡会」の活動の充実及び学校と地域が一体となった防災活動を推進し、地域ぐるみの防災体制の強化を目指していく。</p>							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
5,532,000	5,069,385	1,309,000			3,760,385			

予算科目	10 款	教育費	事業名	地域未来塾事業				
	1 項	教育総務費	総合計画	第 章				
	3 目	教育指導奨励費		第 節				
	事業	地域未来塾事業費		()				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ						
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や復興公営住宅居住など住環境が変化し、家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等を配置し、放課後学び教室を開催することにより、児童生徒に学習の基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。</p> <p>1 地域に必要な学習の場をコーディネートする「学び支援コーディネーター」の配置 2 児童生徒の学習支援や保護者の学習相談等に携わる「学び相談員」の配置 3 長期休業中と平日の放課後の学習支援のために学習の場・機会の提供</p>							
取組実績	<p>1 「放課後学び教室」の開催【会場：市内各小中学校の教室等(小学校13校、中学校10校)】 (1) 開催日時 令和4年6月～令和5年2月末 15:00～17:00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・実施回数等 実施回数：690回(小学生 502回、中学生 188回) 参加者数：11,842名(小学生 10,406名、中学生 1,436名 延べ人数) 学び相談員：1,157名(延べ人数)</p> <p>2 「夏休み学び教室」の開催【会場：マルホンまきあーとテラス】 (1) 開催日時 令和4年8月3日・4日・5日 9:30～16:00 (2) 参加対象 「放課後学び教室」と同様 (3) 内 容 「放課後学び教室」と同様 ・実施回数等 参加者数：188名(小学生 126名、中学生 62名 延べ人数) 学び相談員：7名</p>							
成 果	<p>1 放課後学び教室に参加することで、家庭学習の習慣が十分身に付いていない児童生徒に対しても、家庭での学習の意識付けがなされ、学習に対する自信をもつことにつながった。 2 学び相談員が、児童生徒一人一人の学習状況に応じた指導を行ったことにより、児童生徒に「分かる喜び」や「学習への満足感」を感じさせることができた。 3 令和3年度は8月4日及び5日の2日間で開催していた「夏休み学び教室」を、新型コロナウイルス感染者の減少により、令和4年度は8月3日、4日、5日の3日間マルホンまきあーとテラスを会場に実施することができた。「夏休み学び教室」に参加した児童生徒のアンケートによると、「参加してよかったと思う」「まあまあ良かったと思う」と回答する児童生徒の割合が98.7%であったことから、本事業が効果的に実施され、成果を上げていることが読み取れた。</p>							
成果に係る評価	<p>令和4年度において、学び支援コーディネーター及び学び相談員の配置による放課後学び教室等を終了し、令和5年度からは、国及び県の補助金を活用し、地域のコミュニティの活性化を図ることを目的に、コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動として地域人材を活用しながら事業を継続する。</p>							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
3,892,000	3,550,624	2,367,000			1,183,624			

予算科目	10 款	教育費	事業名	特別支援教育支援員配置事業																																																													
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																												
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																																												
	事業	特別支援教育事業費		(1)	学校教育の充実を図る																																																												
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 90																																																													
目的及び事業内容		<p>通常の学級に在籍している特別な配慮を必要とする児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>1 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 2 当該児童生徒への日常生活支援及び学習指導補助</p>																																																															
取組実績		<p>1 支援員の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 訳</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">小学校</td> <td>希望校数</td> <td>30校</td> <td>30校</td> <td>29校</td> <td>29校</td> </tr> <tr> <td>支援を要する児童</td> <td>408人</td> <td>445人</td> <td>566人</td> <td>567人</td> </tr> <tr> <td>配置希望(最低人数) A</td> <td>145人</td> <td>149人</td> <td>117人</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>配置人数 B</td> <td>71人</td> <td>71人</td> <td>72人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>充足率 B/A</td> <td>49.0%</td> <td>47.7%</td> <td>61.5%</td> <td>57.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">中学校</td> <td>希望校数</td> <td>10校</td> <td>13校</td> <td>14校</td> <td>15校</td> </tr> <tr> <td>支援を要する生徒</td> <td>113人</td> <td>104人</td> <td>93人</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td>配置希望(最低人数) C</td> <td>27人</td> <td>27人</td> <td>25人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>配置人数 D</td> <td>14人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>充足率 D/C</td> <td>51.9%</td> <td>63.0%</td> <td>76.0%</td> <td>61.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【通常の学級における当該児童生徒への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの特別支援教育支援員の配置希望人数162名に対して、支援員94名を配置した。年々、特別な配慮を必要とする児童生徒は増加傾向にある。 ・校内就学支援委員会において、学級担任や特別支援教育コーディネーター等と支援員が、どのような連携・協力を要するのか事前に決め、学級担任と連携しながら、児童生徒の状況に合わせた支援を行った。 <p>【特別支援教育支援員研修会(年2回)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに「特別支援教育支援員としての心構え」について、中間期に「教育現場での発達が気になる子への関わり」についての研修を行い、指導力の向上を図った。 						区分	内 訳	R1	R2	R3	R4	小学校	希望校数	30校	30校	29校	29校	支援を要する児童	408人	445人	566人	567人	配置希望(最低人数) A	145人	149人	117人	128人	配置人数 B	71人	71人	72人	73人	充足率 B/A	49.0%	47.7%	61.5%	57.0%	中学校	希望校数	10校	13校	14校	15校	支援を要する生徒	113人	104人	93人	116人	配置希望(最低人数) C	27人	27人	25人	34人	配置人数 D	14人	17人	19人	21人	充足率 D/C	51.9%	63.0%	76.0%	61.8%
区分	内 訳	R1	R2	R3	R4																																																												
小学校	希望校数	30校	30校	29校	29校																																																												
	支援を要する児童	408人	445人	566人	567人																																																												
	配置希望(最低人数) A	145人	149人	117人	128人																																																												
	配置人数 B	71人	71人	72人	73人																																																												
	充足率 B/A	49.0%	47.7%	61.5%	57.0%																																																												
中学校	希望校数	10校	13校	14校	15校																																																												
	支援を要する生徒	113人	104人	93人	116人																																																												
	配置希望(最低人数) C	27人	27人	25人	34人																																																												
	配置人数 D	14人	17人	19人	21人																																																												
	充足率 D/C	51.9%	63.0%	76.0%	61.8%																																																												
成 果		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、特別な配慮を必要とする児童生徒が通常学級で他の児童生徒と共に学ぶ際に特別支援教育支援員からの声かけなどの支援により、特別な配慮を必要とする子と要しない子の両方の困り感が和らぎ、充実した学習や生活を送ることができるようになった。 ・支援の対象となる児童生徒が困り感やその原因、指導内容と支援の進め方などについて十分理解したことにより、支援員との人間的な触れ合いを支えに学校生活における問題を克服した事例があった。児童生徒を十分に理解した支援員が、自分の活動の切り替えができない子への声かけを行ったり、自分の思いを伝えられない子の代弁者になったりしたことで、安心して学校生活が送れるようになった。 ・支援員の役割は、対象となる児童生徒の支援が第一義的な役割であるが、特別な配慮を必要とする児童生徒が通常の学級の中で必要な支援を受けて学校生活を送っていくためには、周囲の児童生徒の理解が不可欠でもある。支援を受ける本人以外の児童生徒も支援員が何のために教室に入っているかを理解するようになった。 																																																															
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童生徒の増加に伴い、特別支援教育支援員が学級や学年の枠を超えて一人で複数の児童生徒を支援しなければならないケースが増加している。医師の診断を受けた児童生徒も増え、診断に基づいた一人一人の特性に合った支援が求められている。 ・学級担任等は、特別支援教育支援員に対して、学級経営の方針や特別な支援が必要な児童生徒の授業及び生活指導などにおけるねらいを情報共有し、その理解を踏まえた対応ができるよう連携を図っていくことが大切である。 																																																															
(単位:円)																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	137,068,060	131,047,743				131,047,743																																																											

予算科目	10 款	教育費	事業名	定住外国人就学支援事業																					
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	定住外国人就学支援事業費		(1)	学校教育の充実を図る																				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 91																					
目的及び事業内容		<p>石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる定住外国人就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。</p>																							
取組実績		<p>1 定住外国人就学支援員の配置</p> <p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる定住外国人就学支援員を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <p>2 定住外国人就学支援員研修会の実施(年2回)</p> <p>研修会では、定住外国人の児童生徒の実態や支援の在り方について研修を行った。また、支援員の方々の悩みや不安を解消できるように、情報交換会を設定した。</p>																							
成 果		<p>令和4年度は、支援を必要とする児童生徒5人(小学校3校、中学校1校)全員に支援員を配置し、学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、定住外国人就学支援員研修会を年2回行い、それぞれの取組の成功事例や悩み等を就学支援員同士で共有することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)</td> <td>7人(5校)</td> <td>9人(5校)</td> <td>8人(6校)</td> <td>8人(7校)</td> <td>5人(4校)</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援を要する児童生徒の母国語は、タガログ語(2人)及び英語(3人)であった。 このほかモンゴル語を母国語とする児童生徒4人については、県任用の日本語指導非常勤講師(2人)が英語で支援した。</p>						主な指標項目	H30	R1	R2	R3	R4	支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)	7人(5校)	9人(5校)	8人(6校)	8人(7校)	5人(4校)	配置した支援員数	4人	5人	4人	8人	5人
主な指標項目	H30	R1	R2	R3	R4																				
支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)	7人(5校)	9人(5校)	8人(6校)	8人(7校)	5人(4校)																				
配置した支援員数	4人	5人	4人	8人	5人																				
成果に係る評価		<p>令和4年度は配置を希望するすべての学校に定住外国人就学支援員を配置し、日本語を話すことができない児童生徒の学校生活を支援することができた。 定住外国人は年々増加傾向にあり、今後も就学支援員を必要とする児童生徒が増えることが予想されるが、国籍も様々であり、支援が必要な児童生徒のニーズに十分な対応ができないケースが想定されるため、地域の国際サークルや宮城県国際化協会等の関係機関と連携を密にしながら広く人材を発掘していく必要がある。</p>																							
(単位:円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	3,889,000	3,398,767				3,398,767																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書館担当職員配置事業																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																										
	事業	学校図書館担当配置事業費		(1)	学校教育の充実を図る																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																											
目的及び事業内容	<p>各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館利用に係る一層の促進に資する。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施</p>																														
取組実績	<p>平成28年度から学校司書の配置を開始し、令和4年度は配置校数を拡大し48校に16人を配置した。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>14人</td> <td>15人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>24校</td> <td>36校</td> <td>41校</td> <td>44校</td> <td>48校</td> </tr> <tr> <td>内 訳</td> <td>小15・中9</td> <td>小27・中9</td> <td>小30・中11</td> <td>小31・中13</td> <td>小33・中15</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学校図書館担当職員1名あたり2校～3校を兼務。</p> <p>2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 市図書館司書を講師とした全体研修会等を開催し、技能向上に努めた。 内容：初任者研修2回（市図書館3日間、他校2日間） 全体研修（実技、情報共有等）2回（市図書館1日、市役所会議室1日） 石巻地区学校図書館研修会1回（東松島市矢本西市民センター1日）</p>							年 度	H30	R1	R2	R3	R4	人 数	12人	12人	14人	15人	16人	学 校 数	24校	36校	41校	44校	48校	内 訳	小15・中9	小27・中9	小30・中11	小31・中13	小33・中15
年 度	H30	R1	R2	R3	R4																										
人 数	12人	12人	14人	15人	16人																										
学 校 数	24校	36校	41校	44校	48校																										
内 訳	小15・中9	小27・中9	小30・中11	小31・中13	小33・中15																										
成 果	<p>1 学校図書館担当職員（学校司書）1名を増員し、小学校33校、中学校15校に配置した。</p> <p>2 初任学校司書を対象とした研修を実施し、基礎的知識の習得を図った。また、全体研修会を開催し、他の学校司書の事例を検討していくことにより、資質及び技能の向上を図った。</p> <p>3 学校司書の配置により図書館機能が向上し、前年度より図書の貸出数を増やすことができた。</p> <p>■図書貸出実績</p> <p>H30年度 70,777 冊 R 1年度 79,796 冊 R 2年度 98,998 冊 R 3年度 110,108 冊 R 4年度 111,481 冊</p>																														
成果に係る評価	<p>図書分類による整理や新刊・推奨本コーナーの設置、授業で使用する図書の相談・準備など、司書業務により学校図書館の利用環境や機能が向上し、児童生徒の貸出冊数の増加や図書館担当教諭の業務軽減を図ることができた。</p> <p>今後も、学校図書館に求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること（読書センター）」「②授業に役立つ資料を備え、学習支援を行うこと（学習センター）」「③情報活用能力を育むこと（情報センター）」が果たせるよう、引き続き学校司書の能力の向上を図るため、研修会等の実施に努める。</p>																														
予算の執行状況	（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	27,916,000	27,021,197				27,021,197																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	サイエンスラボ事業																					
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	サイエンスラボ事業費		(1)	学校教育の充実を図る																				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																					
目的及び事業内容	<p>児童生徒が科学への興味・関心をもち、問題解決の力や自然を愛する心情を育てるとともに、教員の理科指導力の向上を通して、石巻市の理科教育の充実を図る。</p> <p>1 科学巡回教室、科学イベントの実施 2 教材・教具の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携</p>																								
取組実績	<p>1 科学巡回教室、科学イベントの実施 「原子・分子の学習」、「宇宙の学習」、「科学実験」、「ものづくり」等を行い、市内30小学校で延べ47回、3中学校で4回、7幼稚園・こども園で延べ8回実施し、合計1,101名が参加した。</p> <p>2 教材・教具の開発及び教員への提供 原子・分子の模型の作製を行い、各学校での授業に活用した。</p> <p>3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換等を行った。</p> <p>4 夏季休業に、小中学校教職員を対象にした研修会を実施した。</p> <p>5 企業や研究機関との連携 日本電子（株）の電子顕微鏡を活用した出前授業を実施した。</p>																								
成 果	<p>1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園、こども園、けやき教室などで、幅広く科学巡回教室や科学イベントを開催した。分かりやすく楽しいプログラムを作成し、事後アンケートでは「楽しかった」「分かった」と肯定的な意見が多かった。アンケート結果は、下表のとおり</p> <p>2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であった。</p> <p>3 サイエンススーパーバイザーが、地域の要請に応じて科学イベントを行い、科学への興味・関心を高めることができた。</p> <p>4 日本電子（株）が、小学校4校に、ポータブル電子顕微鏡を用いた出前授業を行い、普段見ることができないミクロの世界に触れ、科学への興味・関心を高めることができた。</p> <p>アンケートにおける「楽しかった」「分かった」の項目と、肯定的な回答をした児童生徒の割合は次のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>楽しかった</td> <td>96.7%</td> <td>96.9%</td> <td>97.6%</td> <td>98.2%</td> <td>97.9%</td> </tr> <tr> <td>分かった</td> <td>95.5%</td> <td>96.8%</td> <td>97.4%</td> <td>96.9%</td> <td>95.7%</td> </tr> </tbody> </table>								H30	R1	R2	R3	R4	楽しかった	96.7%	96.9%	97.6%	98.2%	97.9%	分かった	95.5%	96.8%	97.4%	96.9%	95.7%
	H30	R1	R2	R3	R4																				
楽しかった	96.7%	96.9%	97.6%	98.2%	97.9%																				
分かった	95.5%	96.8%	97.4%	96.9%	95.7%																				
成果に係る評価	<p>○平成28年度より開始された、本事業も令和4年度で7年目を迎え、科学巡回教室や科学イベントの実施が、小学校に加え、中学校や幼稚園、こども園、けやき教室など幅広い世代で活用されている。今後も内容やプログラムを検討・充実させていく必要がある。</p> <p>○2人のサイエンススーパーバイザーが見通しを持って業務に従事している。教材教具の開発や、教員への相談活動と研修会についても、充実が図られてきている。</p> <p>○関係機関との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。</p> <p>今後も企業等と連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝えるとともに、理科教育の充実へ資する取組を展開していく。</p>																								
予算の執行状況	（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	5,684,400	5,423,038			4,700,000	723,038																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	コミュニティ・スクール推進事業																				
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																			
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																			
	事業	コミュニティ・スクール推進事業費		(1)	学校教育の充実を図る																			
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																				
目的及び事業内容	石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を設置し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進体制の構築、学校間、地域間の連携を構築する。全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを推進する。																							
取組実績	<p>1 石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会 教育委員会におけるコミュニティ・スクールの導入及び運営に関することや各コミュニティ・スクール間の活動の共有、連絡、調整等において意見や助言を求めるとともに、学識経験者、小・中学校長会代表、父母教師会代表、地域防災関係者、家庭教育関係者、学校支援地域コーディネーター、学校運営協議会会長による石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を組織し、年4回会議を実施している。</p> <p>2 各校の学校運営協議会 学校運営協議会は、学校や子ども、家庭・地域社会の課題を地域ぐるみで解決し、子どもたちの健全な成長及び質の高い学校教育の実現を目指している。地教法第47条に規定されている3つの機能 ①学校運営基本方針の承認②学校運営に対する意見を述べること③教職員の任用について意見を述べることを協議して学校運営協議会ごとのアクションプラン作成に取り組んでいる。</p> <p>3 リーフレットを作成し、児童・生徒、保護者、地域への周知 リーフレットをコミュニティ・スクール導入校に配布し、保護者等へのコミュニティ・スクールへの理解を深めている。また、未導入校の教職員や保護者・地域住民に対しリーフレットを活用してコミュニティ・スクールの説明会を実施し、理解促進に努めている。</p> <p>4 コミュニティ・スクール推進フォーラムの実施 地域とともにある学校づくり推進フォーラムを実施し、石巻市内の学校関係者から多くの方の参加を得て、コミュニティ・スクールについての理解を深めた。</p>																							
成果	<p>【導入実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">CS導入校数</th> <th rowspan="2">組織率</th> <th rowspan="2">新規導入校</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>9校</td> <td>11校</td> <td>21.56%</td> <td>釜小、稲井小、前谷地小、鹿又小、雄勝小、湊中、河南東中、河南西中、雄勝中</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8校</td> <td>19校</td> <td>37.25%</td> <td>湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中、蛇田中、山下中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和6年度まで、すべての学校にコミュニティ・スクール（CS）を導入予定である。 令和4年度は新たに市内の8校が学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進した。また、各校の学校運営協議会においては、学校や子どもたちの抱える課題を共有し、それらを解決するための具体的なアクションプランを作成し、学校、家庭、地域がそれぞれ果たすべき役割を明確化することができた。 今後は市内全ての学校における学校運営協議会設置にむけて、「石巻市立小・中学校学区再編計画」を考慮しながらの推進が必要である。また、学校運営協議会の設置と一体的に進める必要のある地域学校協働活動（地域学校協働本部の設置）を生涯学習課と連携を取りながら推進する必要がある。</p>							年度	CS導入校数		組織率	新規導入校	新規	累計	R3	9校	11校	21.56%	釜小、稲井小、前谷地小、鹿又小、雄勝小、湊中、河南東中、河南西中、雄勝中	R4	8校	19校	37.25%	湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中、蛇田中、山下中
年度	CS導入校数		組織率	新規導入校																				
	新規	累計																						
R3	9校	11校	21.56%	釜小、稲井小、前谷地小、鹿又小、雄勝小、湊中、河南東中、河南西中、雄勝中																				
R4	8校	19校	37.25%	湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中、蛇田中、山下中																				
成果に係る評価	導入校においては、教職員や学校運営協議会委員の間で、コミュニティ・スクールに対する理解が深まり、地域ぐるみで学校や子どもたちの課題を解決していこうとする意識の高まりが見られた。また、各校の学校運営協議会においては、学校や子どもたちの抱える課題を共有し、それらを解決するための具体的なアクションプランを作成し、学校、家庭、地域がそれぞれ果たすべき役割を明確化することができた。 今後は市内全ての学校における学校運営協議会設置にむけて、「石巻市立小・中学校学区再編計画」を考慮しながらの推進が必要である。また、学校運営協議会の設置と一体的に進める必要のある地域学校協働活動（地域学校協働本部の設置）を生涯学習課と連携を取りながら推進する必要がある。																							
予算の執行状況	(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	4,607,000	4,460,870	298,000			4,162,870																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	学力向上推進事業																																																																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																																										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																																																										
	事業	学力向上推進事業費		(1)	学校教育の充実を図る																																																																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P92																																																																											
目的及び事業内容	学力向上のための授業方法に係るPDCAサイクルを確立し、本市の小・中学校における学力の全体的な底上げを図るもの。																																																																														
取組実績	<p>1 学力向上推進委員会の開催 2 標準学力調査の結果分析を通じた授業改善 3 基礎・基本の定着を図るタブレットドリルの活用 4 株式会社山大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施</p> <p>1 「学力向上推進委員会」による課題等の検討 (1) 実施回数 年3回 (2) 構 成 員 有識者、学校長、市教科等指導員他 (3) 内 容 ・標準学力調査の結果分析、課題の洗い出しを行った。 ・課題の解決策の立案と各校への発信をした。</p> <p>2 「標準学力調査」の実施と分析 (1) 実 施 日 第1回令和4年5月下旬、第2回令和4年12月中旬 (2) 対 象 者 第1回小学校第2学年～中学校第3学年、第2回小・中学校全学年 (3) 内 容 ・小学校は、国語、算数、中学校は、国語、数学の調査を行った。 ・各校調査結果を基にした分析を行い、課題を洗い出した。 ・第1回目の調査結果における課題を基に、各校においてPDCAシートを作成し、授業改善の手立てを考え、授業改善を行った。</p> <p>3 「タブレットドリル」の活用 (1) 対 象 者 小・中学校全学年に導入 (2) 導 入 教 科 国語、算数・数学、英語 (3) 活用状況 授業や宿題でのタブレットドリル活用</p> <p>4 株式会社山大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施 (1) 先進地視察研修 参加者：10校 16人（うち3人は教育委員会指導主事） 視察先：秋田県、茨城県、埼玉県、神奈川県、静岡県 (2) 管理職等を対象とした研修 ア マネジメント力向上のため研修 講師：大学教授 参加者数：60人 イ 指導力（表現力）向上研修 講師：わらび座 参加者：53人</p>																																																																														
成果	<p>1 学力向上推進委員による標準学力調査の結果分析により、市全体の学力の課題についてきめ細かな洗い出しを行うことができた。また、その結果を市内全小中学校で共有し、各校での分析を加えて授業改善を行った結果、達成率が全国平均以上の学校数が増加した。</p> <p>【学年ごとの達成率が全国平均以上の学校数】 (単位：校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">実施</th> <th colspan="6">小</th> <th rowspan="2">全学年</th> <th colspan="3">中</th> <th rowspan="2">全学年</th> </tr> <tr> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国語</td> <td>4月</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算数・数学</td> <td>4月</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 タブレットドリルは、国語科、算数・数学科ともに授業で学習したことへの習熟のために、授業あるいは家庭での宿題や自主学習などで活用が図られた。</p> <p>3 株式会社山大教職員等研修基金を活用した教職員の研修事業により、管理職にある校長等の管理能力や、次世代リーダーを担う若手教員等の指導力の向上が図られた。</p> <p>・学力向上プランに基づき、授業改善の方向を示すとともに、標準学力調査の結果を受け、各校の授業方法を改善することで、学力向上のためのPDCAサイクルの構築を後押しをすることができた。今後は、さらに各地区の実態に応じた授業改善ができるよう検討を行う必要がある。 ・タブレットドリルに関しては、毎日取り組まれている学校、子供に任せている学校など、活用法に差が見られたので、更なる活用を促していく必要がある。 ・児童生徒の学力の底上げを行うためには、研修等を積極的に実施し、教員一人一人の指導力の向上を図っていく必要がある。</p>							教科	実施	小						全学年	中			全学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	国語	4月	-	8	9	10	8	13	0	5	2	2	0	12月	14	10	9	14	11	6	3	6	6	6	1	算数・数学	4月	-	4	5	6	9	11	1	3	1	3	0	12月	13	9	12	10	11	6	1	6	1	4	0
教科	実施	小								全学年	中			全学年																																																																	
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2		中3																																																																				
国語	4月	-	8	9	10	8	13	0	5	2	2	0																																																																			
	12月	14	10	9	14	11	6	3	6	6	6	1																																																																			
算数・数学	4月	-	4	5	6	9	11	1	3	1	3	0																																																																			
	12月	13	9	12	10	11	6	1	6	1	4	0																																																																			
成果に係る評価	導入校においては、教職員や学校運営協議会委員の間で、コミュニティ・スクールに対する理解が深まり、地域ぐるみで学校や子どもたちの課題を解決していこうとする意識の高まりが見られた。また、各校の学校運営協議会においては、学校や子どもたちの抱える課題を共有し、それらを解決するための具体的なアクションプランを作成し、学校、家庭、地域がそれぞれ果たすべき役割を明確化することができた。 今後は市内全ての学校における学校運営協議会設置にむけて、「石巻市立小・中学校学区再編計画」を考慮しながらの推進が必要である。また、学校運営協議会の設置と一体的に進める必要のある地域学校協働活動（地域学校協働本部の設置）を生涯学習課と連携を取りながら推進する必要がある。																																																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																									
	18,089,000	17,549,355	3,407,305			13,996,812	145,238																																																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	心のケア充実事業（震災心のサポート事業）〔復興基金〕			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進		
	事業	震災心のサポート事業費（東日本大震災関係分）		(1)	心のケアや相談体制の充実を図る		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P94			
目的及び事業内容		<p>1 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p> <p>2 児童精神科医による子ども支援関係者会議、個別相談等 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家等を交えた子ども関係者会議や個別相談等を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p>					
取組実績		<p>1 震災心の支援室業務 (1) 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室による相談を継続して行った。 (2) 支援室だよりの発行 (3) 支援室会議を月1回、サポート会議を5回（5月、7月、9月、11月、1月）開催</p> <p>2 児童精神科医による子ども支援関係者会議、個別相談、心のケア研修会 (1) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立 関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちの支援を検討するケース会議を3回行った。また、児童生徒本人や保護者、学校関係者を対象とした個別相談を18回行った。 (2) 心のケアに関する専門的な研修 児童精神の専門医を講師に、教職員等を対象に研修会を1回開催した。</p>					
成果		<p>1 震災心の支援室業務 (1) 個別訪問、電話、来室により御遺族から継続的に話を聞くことができた。 (2) 3月を除く奇数月にサポート会議を開催し精神科医等から助言を得ることで、御遺族の心情に添った適切なサポートを行うことができた。</p> <p>2 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び個別相談等 (1) 子ども支援関係者会議及び個別相談 6月29日、6月30日、11月29日、11月30日の計4日間開催し、オンラインまたは会場で児童生徒、保護者、職員などの個別相談を行ったり、関係者が参集した子ども支援関係者会議を実施し、事案の解決に向けて具体的な心のケアについて考えた。 (メンバー) 国府台病院児童精神科医師、ソーシャルワーカー、総合相談センター、児童相談所、健康推進課等関係課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員、児童生徒本人、その保護者等</p> <p>(2) 心のケア研修会 11月29日、講師に国府台病院児童精神科医である箱島有輝氏をお迎えし、教職員等53名が参加し研修を行った。</p>					
成果に係る評価		<p>1 震災心の支援室業務 御遺族の生活状況においては、高齢化や独居等の懸念があるため、今後も、精神科医からの助言を得ながら、他の機関と連携し状況に応じたきめ細やかなサポートを継続していく必要がある。</p> <p>2 児童精神科医による子ども関係者会議及び個別相談 児童精神科医による子ども関係者会議では、配慮を要する児童生徒の対応方法について、専門医の意見や助言を得ることができることから、保護者や教員等の支援者にとって有用かつ効果的であるため、今後も事業を継続していく必要がある。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,175,000	1,172,608			1,000,000	172,608	

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校わくわくプラン事業																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																										
	事業	学校わくわくプラン事業費		(1)	学校教育の充実を図る																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																											
目的及び事業内容		<p>児童生徒の主体的に生きる力を育成するために、子供たちの学習や活動意欲を高める取組、学校と家庭・地域が連携した活動、教員の指導力向上の視点から、推進地区ごとに小・中学校が連携しながらわくわくする学校づくりを実施する。</p>																													
取組実績		<p>1 学校わくわくプラン推進会議の開催 8名（各2名の校長・教頭・教諭・保護者代表）により構成し、4回行った。</p> <p>2 学校わくわくプラン推進地区（8地区）ごとの取組 地区ごとに計画して、講演会や研修会等を実施した。</p> <p>3 学校わくわくプラン事業報告書・実践事例集の作成・発行 年度末に発行し、推進地区ごとの取組と教科等指導員による協同学習の実践例を共有した。</p> <p>4 学習指導の改善を図る研修会の実施 「指導力向上研修」として、広島大学大学院栗原慎二教授による※MLA理論（マルチレベルアプローチ）を基にしたオンライン研修を含めた研修を2回、栗原慎二教授による学校訪問コンサルテーションを4回行った。</p> <p>5 タブドリ祭りの実施 タブレットドリルの利用促進を図るため、11月1日から11月27日の期間、実施した。</p> <p>※MLA理論（マルチレベルアプローチ） SEL：コミュニケーション力を育む ・対人・意志決定スキルの向上等 ピア・サポート：思いやりの心を育む ・小中連携や縦割り活動の取組・ボランティア活動の実践等 PBIS：夢や志を育む ・価値ある行動が増えるような実践・小中学校9年間の見通しを持った活動 協同学習：主体的に学ぶ力を育む ・協同学習の実践口子どもたちの学習意欲の向上</p>																													
成果		<p>石巻市教育施策アンケートにおける「学校は楽しいですか」の項目に、肯定的な回答（楽しい、まあまあ楽しい）をした児童生徒の割合は次のとおり。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>84.2%</td> <td>85.2%</td> <td>84.0%</td> <td>92.9%</td> <td>92.4%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>73.2%</td> <td>78.2%</td> <td>79.5%</td> <td>89.4%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>合 算</td> <td>80.5%</td> <td>82.9%</td> <td>82.5%</td> <td>91.7%</td> <td>91.2%</td> </tr> </tbody> </table>							H30	R1	R2	R3	R4	小学校	84.2%	85.2%	84.0%	92.9%	92.4%	中学校	73.2%	78.2%	79.5%	89.4%	90.0%	合 算	80.5%	82.9%	82.5%	91.7%	91.2%
	H30	R1	R2	R3	R4																										
小学校	84.2%	85.2%	84.0%	92.9%	92.4%																										
中学校	73.2%	78.2%	79.5%	89.4%	90.0%																										
合 算	80.5%	82.9%	82.5%	91.7%	91.2%																										
成果に係る評価		<p>「非認知能力※」を高め、子どもたちを「主体的な学習者」に育てていくため、更に多くの児童生徒が「学ぶ土台」として意欲を高めたり、自信を高めたりできるような事業内容の工夫・改善が必要である。 ※意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。 本事業で取り組んでいるマルチレベルアプローチ理論（MLA）を基にした取組は、平成26年度から、広島大学大学院栗原慎二教授を講師に招き市内全小中学校で実施しており、教員の指導力と「学校は楽しい」と答える児童生徒の割合の向上に寄与している。</p>																													
（単位：円）																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	1,835,000	1,530,213			700,000	830,213																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	震災奨学金給付事業																			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																		
	6 目	奨学資金基金費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																		
	事業	奨学資金基金費（東日本大震災関係分）		(3)	有能な人材を育成支援する																		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 93																			
目的及び事業内容		東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。																					
取組実績		<p>1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に高校3年生に一時金を給付した。</p> <p>(1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった中・高校生。</p> <p>(2) 給付額 ア 月額（年額） 中学校等に在学する者 20,000円（240,000円） 高等学校等に在学する者 30,000円（360,000円） イ 一時金 高校3年生 500,000円</p> <p>(3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																					
成果		<p>令和4年度は中学生2名、高校生4名の計6名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>2</td> <td>480,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>4</td> <td>1,440,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6</td> <td>1,920,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一時金として、高校生2名の震災孤児に給付をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校生</td> <td>2</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	人数	給付額	中学生	2	480,000 円	高校生	4	1,440,000 円	合計	6	1,920,000 円	区分	人数	給付額	高校生	2	1,000,000 円
区分	人数	給付額																					
中学生	2	480,000 円																					
高校生	4	1,440,000 円																					
合計	6	1,920,000 円																					
区分	人数	給付額																					
高校生	2	1,000,000 円																					
成果に係る評価		震災奨学金を給付することにより、震災孤児の修学を経済的に支援するとともに、安定した修学機会の提供に寄与することができた。今後も事業計画に基づき給付事業を継続する必要がある。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																		
	2,920,000	2,920,000			2,920,000																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	遠距離通学支援事業（小学校）																													
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																												
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																												
	事業	小学校管理費（教育総務課）		(4)	就学に係る支援を強化する																												
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																													
目的及び事業内容		<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付 																															
取組実績		<p>遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行 (1) 遠距離通学となる11校に対し、バス16台、タクシー7台（うち4台は雄勝小・中共用）、ポート1台（牡鹿中と共用）の運行を行った。 ※スクールバス等対象校（R4） 稲井小学校、東浜小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、万石浦小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、北上小学校、鮎川小学校、大原小学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付 (1) 公共交通機関等を利用し通学している2校37人に対し、補助金を交付した。 ※遠距離通学費補助金対象校（R4） 大谷地小学校、二俣小学校</p>																															
成果		<p>小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>R3</td> <td>11校</td> <td>419人</td> <td>120,589,478 円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>11校</td> <td>383人</td> <td>120,771,028 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>R3</td> <td>2校</td> <td>37人</td> <td>1,649,840 円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2校</td> <td>37人</td> <td>1,280,400 円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R3	11校	419人	120,589,478 円	R4	11校	383人	120,771,028 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	R3	2校	37人	1,649,840 円	R4	2校	37人	1,280,400 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																													
スクールバス等	R3	11校	419人	120,589,478 円																													
	R4	11校	383人	120,771,028 円																													
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																													
遠距離通学費補助金	R3	2校	37人	1,649,840 円																													
	R4	2校	37人	1,280,400 円																													
成果に係る評価		通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																												
	125,171,000	122,051,428	8,949,000		113,102,428																												

予算科目	10 款	教育費	事業名		小学校外国語指導補助員活用事業																						
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																						
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																						
	事業	小学校管理費（学校教育課）		(2)	外国語教育を推進する																						
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92																							
目的及び事業内容		小学校に外国語指導補助員を配置することによって、3・4学年の外国語活動及び学習指導要領の改訂に伴って教科化された5・6年生の外国語科の学習の充実と教員の指導力向上を図る。																									
取組実績		<p>配置を希望する23校に12名の外国語指導補助員を配置した。外国語及び外国語活動の授業において、各補助員が自らの高い英語力を生かし、担任と連携しながら、創意工夫ある授業づくりに努めた。また、教師と良い関係性を築くとともに、自分から積極的に授業のアイデアを提供し、児童のコミュニケーションへの意欲を高めることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置を希望する学校数</td> <td>28校</td> <td>29校</td> <td>28校</td> <td>25校</td> <td>23校</td> </tr> <tr> <td>配置した補助員数</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H30	R1	R2	R3	R4	配置を希望する学校数	28校	29校	28校	25校	23校	配置した補助員数	12名	12名	12名	12名	12名
主な指標項目	H30	R1	R2	R3	R4																						
配置を希望する学校数	28校	29校	28校	25校	23校																						
配置した補助員数	12名	12名	12名	12名	12名																						
成 果		<p>1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語が堪能で異文化に対する理解も深い補助員と一緒に外国語の活動に取り組むことで、児童の外国語学習に対する興味・関心を高め、外国語によるコミュニケーションに対して積極的な態度を養うことができた。 (2) 担任と補助員が外国語を使う自然な場面設定を行い、デモンストレーションを行うことで、児童は英語を使う具体的なイメージをもって活動に取り組むことができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上 学級担任と補助員の協働による授業は、実際の場面で使われる生きた英語を聞くことや話す機会を増やし、児童のコミュニケーション能力を向上させる上で効果的であった。</p> <p>3 担任の指導力の向上 補助員と学級担任が授業の構想や進め方について意見交換をすることで、お互いのアイデアをよりよいものにすることができ、学級担任の指導力の向上を図ることができた。</p>																									
成果に係る評価		外国語及び外国語活動の授業において、各補助員が自らの高い英語力を生かし、担任と連携しながら、創意工夫ある授業づくりに努めた。また、教師と良い関係性を築くとともに、自分から積極的に授業のアイデアを提供し、児童のコミュニケーションへの意欲を高めることができた。課題としては、勤務時間の関係で、担任や専科教員との打合せの時間が十分に確保できていないことがあげられる。研修会などで各学校の工夫した取組や成功事例を共有していくことが求められる。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	5,620,402	5,554,704				5,554,704																					

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校施設照明落下防止対策（LED化）事業（小学校）																
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																
	1 目	学校管理費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																
	事業	小学校照明等落下防止対策事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88																	
目的及び事業内容		屋内運動場における照明器具等の落下防止措置を兼ねてLED化することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができる環境と地域住民に対する防災機能を備えた災害に強い施設の整備を図る。																			
取組実績		<p>令和4年度は、以下の対象校においてLED化を実施した。</p> <p>1 対象校 住吉小、山下小、大谷地小、二俣小、北村小、中津山第一小、中津山第二小、桃生小、鮎川小、寄磯小（計10校）</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>R4事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>106,813,943</td> <td>105,543,605</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>106,863,943</td> <td>105,593,605</td> </tr> </tbody> </table>								内訳	R4予算額	R4事業費	消耗品費	50,000	50,000	工事	106,813,943	105,543,605	計	106,863,943	105,593,605
内訳	R4予算額	R4事業費																			
消耗品費	50,000	50,000																			
工事	106,813,943	105,543,605																			
計	106,863,943	105,593,605																			
成 果		照明器具等の落下防止措置を実施することにより、児童の安全確保のほか、災害時の避難所としての役割を鑑み、防災機能を備えた施設の確保が図られた。																			
成果に係る評価		市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、引き続き計画的な整備を図っていく。																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	106,863,943	105,593,605	29,792,000	73,000,000		2,801,605															

予算科目	10 款	教育費	事業名	教材備品整備事業（小学校）														
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進													
	事業	小学校一般教材費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する													
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88														
目的及び事業内容	<p>文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。</p> <p>良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法について対応した教材の購入や老朽化した教材の計画的な更新を進める。</p>																	
取組実績	<p>学校が要望する教材を中心に購入した。また年度途中では破損や老朽化などで安全に使用できない教材の買い替えや、翌年度新設の特別支援学級に必要な教材備品の準備に対応した。</p> <p>理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。</p> <p><小学校の教材整備数（備品購入費分のみ）></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>510個</td> <td>628個</td> <td>539個</td> <td>584個</td> <td>666個</td> </tr> </tbody> </table>							H30	R1	R2	R3	R4		510個	628個	539個	584個	666個
	H30	R1	R2	R3	R4													
	510個	628個	539個	584個	666個													
成 果	<p>学校が要望する学習指導要領に対応した教材備品を年間を通して整備をしたことで、学習環境が整えられた。</p> <p>教材を用いることで、授業に興味を持ち、内容を理解しやすくなるなど、活発な学習活動が行えた。</p> <p><小学校の教材充足率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>84.4%</td> <td>79.9%</td> <td>87.6%</td> <td>83.9%</td> <td>84.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学校整備目標に対する充足率</p> <p>◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。</p>							H30	R1	R2	R3	R4		84.4%	79.9%	87.6%	83.9%	84.0%
	H30	R1	R2	R3	R4													
	84.4%	79.9%	87.6%	83.9%	84.0%													
成果に係る評価	<p>新しい教材の購入に加え、老朽化や破損した教材の買い替えも多かったため、充足率は緩やかな上昇となった。</p> <p>教材を整備することで、授業の理解が得られやすくなり学習活動の充実が図られるため、今後も学校要望にできるだけ対応できるよう、予算を有効活用し、できるだけ多くの教材を整備したい。</p>																	
予算の執行状況	(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	18,000,000	17,999,811	3,015,000			14,984,811												

予算科目	10 款	教育費	事業名	情報教育環境整備事業（小学校）																
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち															
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進															
	事業	小学校教育用コンピューター関係費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する															
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																
目的及び事業内容	<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備するため、文部科学省が推奨する「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」及び「GIGAスクール構想」に基づき、機器の整備等を行う。</p>																			
取組実績	<p>小学校教育用コンピューター及び周辺機器の整備として以下を実施した。</p> <p>1 大型提示装置の整備 全普通教室へ大型提示装置の整備を継続している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>小学校8校</td> <td>電子黒板 112台</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 一人一台端末の整備 一人一台端末は、令和2年度に全校への整備が完了している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>小学校33校</td> <td>タブレット端末 6,770台</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	整備対象校	整備台数	R4	小学校8校	電子黒板 112台	実施年度	整備対象校	整備台数	R2	小学校33校	タブレット端末 6,770台		
実施年度	整備対象校	整備台数																		
R4	小学校8校	電子黒板 112台																		
実施年度	整備対象校	整備台数																		
R2	小学校33校	タブレット端末 6,770台																		
成 果	<p>大型提示装置の全普通教室への整備は平成30年度から実施している。</p> <p>令和4年度までに18校に整備した。</p> <p>大型提示装置の全普通教室への整備に係る達成率（整備済み学校数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>整備年度</th> <th>整備済学校数（累計）</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校全33校</td> <td>R1</td> <td>小学校2校</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>小学校10校</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>小学校18校</td> <td>55%</td> </tr> </tbody> </table>						対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率	小学校全33校	R1	小学校2校	6%	R3	小学校10校	30%	R4	小学校18校	55%
対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率																	
小学校全33校	R1	小学校2校	6%																	
	R3	小学校10校	30%																	
	R4	小学校18校	55%																	
成果に係る評価	<p>大型提示装置の全普通教室への整備を計画通りに進めることができた。</p> <p>大型提示装置は、一人一台端末を接続してその画面を表示することができ、端末に組み込んでいるアプリの画面を提示することにより授業で利用する教材の表現力を大幅に向上できる。</p> <p>表現力向上によって本市の学力向上に資するため大型提示装置の整備は今後も積極的に継続していく必要がある。</p>																			
予算の執行状況	(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	165,764,499	164,630,445				164,630,445														

予算科目	10 款	教育費	事業名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																					
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	2 目	教育振興費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	小学校教育振興援助費		(4)	就学に係る支援を強化する																				
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																					
目的及び事業内容	<p>経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成 																								
取組実績	<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 902名 / 児童数 6,110名 (14.76%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>10,969,194 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>2,074,330 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>416,865 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>22,020 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>973,080 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>5,460,060 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,599,228 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>40,537,990 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>151,120 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>63,203,887 円</td></tr> </table>					学用品費	10,969,194 円	校外活動費（宿泊なし）	2,074,330 円	校外活動費（宿泊あり）	416,865 円	通学費	22,020 円	新入学学用品費	973,080 円	新入学準備金	5,460,060 円	修学旅行費	2,599,228 円	給食費	40,537,990 円	医療費	151,120 円	計	63,203,887 円
	学用品費	10,969,194 円																							
校外活動費（宿泊なし）	2,074,330 円																								
校外活動費（宿泊あり）	416,865 円																								
通学費	22,020 円																								
新入学学用品費	973,080 円																								
新入学準備金	5,460,060 円																								
修学旅行費	2,599,228 円																								
給食費	40,537,990 円																								
医療費	151,120 円																								
計	63,203,887 円																								
<p>2 特別支援教育就学奨励費 小学校：認定者数 183名 / 児童数 6,110名 (3.00%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>388,000 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>39,204 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>16,185 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>278,991 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>434,435 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>76,357 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,654,224 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>2,634 円</td></tr> <tr><td>通級指導教室通学費</td><td>114,407 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,004,437 円</td></tr> </table>					学用品費	388,000 円	校外活動費（宿泊なし）	39,204 円	校外活動費（宿泊あり）	16,185 円	通学費	278,991 円	新入学学用品費	434,435 円	修学旅行費	76,357 円	給食費	1,654,224 円	交流学习交通費	2,634 円	通級指導教室通学費	114,407 円	計	3,004,437 円	
学用品費	388,000 円																								
校外活動費（宿泊なし）	39,204 円																								
校外活動費（宿泊あり）	16,185 円																								
通学費	278,991 円																								
新入学学用品費	434,435 円																								
修学旅行費	76,357 円																								
給食費	1,654,224 円																								
交流学习交通費	2,634 円																								
通級指導教室通学費	114,407 円																								
計	3,004,437 円																								
成果	<p>経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 また、新入学準備金については、101名の児童の保護者に助成を行うとともに、支給時期を早めたことにより、就学前の経済的不安の解消が図られた。</p>																								
成果に係る評価	<p>経済的な理由により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	69,846,000	66,208,324	1,628,690			64,579,634																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書整備事業（小学校）〔復興基金〕																																											
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																										
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																										
	事業	小学校図書整備事業		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																																										
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																																											
目的及び事業内容	<p>文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。 学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																														
取組実績	<p>令和4年度予算としては、各小学校の蔵書を更新するための予算を配当した。 令和4年度においては、前年度と比較して整備冊数は減ったものの、児童の読書活動や学びを支える図書を購入することができた。</p> <p><小学校図書の整備冊数></p> <table border="1"> <tr> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>24,499冊</td> <td>19,722冊</td> <td>18,436冊</td> <td>16,924冊</td> <td>14,910冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>					H30	R1	R2	R3	R4	24,499冊	19,722冊	18,436冊	16,924冊	14,910冊																																
	H30	R1	R2	R3	R4																																										
24,499冊	19,722冊	18,436冊	16,924冊	14,910冊																																											
成果	<p>学校図書館図書標準に対する充足率は維持できなかったが、学校図書の整備充実に努めたことにより、児童の発達段階に応じた図書が整備ができ、読書活動や学習活動に積極的に活用され、読解力が養われ、学びが深まった。</p> <p><小学校図書充足率達成状況></p> <table border="1"> <tr> <td>充足率</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>28校</td> <td>31校</td> <td>30校</td> <td>33校</td> <td>32校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>3校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>84.84%</td> <td>93.94%</td> <td>90.91%</td> <td>100%</td> <td>96.97%</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※各年度末時点</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>					充足率	H30	R1	R2	R3	R4	100%以上（A）	28校	31校	30校	33校	32校	75%以上-100%未満	5校	2校	3校	0校	1校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	33校	33校	33校	33校	33校	100%以上達成校の割合（A/B）	84.84%	93.94%	90.91%	100%	96.97%
充足率	H30	R1	R2	R3	R4																																										
100%以上（A）	28校	31校	30校	33校	32校																																										
75%以上-100%未満	5校	2校	3校	0校	1校																																										
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																										
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																										
合計(B)	33校	33校	33校	33校	33校																																										
100%以上達成校の割合（A/B）	84.84%	93.94%	90.91%	100%	96.97%																																										
成果に係る評価	<p>令和4年度は廃棄により1校が充足率未達成となった。 ほとんどの学校が、図書標準の達成のため、長期間廃棄を行っておらず、古い蔵書の割合が高いことから、今後も老朽化した図書や古い内容の図書について計画的に更新し、教科書等を正確に読み解く力がつき、学ぶ力が育まれるよう学校図書の一層の充実を図っていきたい。</p>																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	22,500,000	22,493,749			22,050,000	443,749																																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設改築事業																						
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																					
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																					
	事業	須江小学校屋内運動場改築事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																					
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88																						
目的及び事業内容	<p>須江小学校屋内運動場は、昭和48年度に建設され建築後49年が経過しており、老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、屋内運動場の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p>																									
取組実績	<p>令和4年度は、実施設計等を実施した。</p> <p>1 全体事業</p> <p>(1) 令和3年度 測量業務、基本計画</p> <p>(2) 令和4年度 地質調査、実施設計</p> <p>(3) 令和5年度から令和6年度 改築工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>R4事業費</th> <th>R5繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>70,000</td> <td>70,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td rowspan="2">31,489,000</td> <td>9,636,024</td> <td>19,263,000</td> </tr> <tr> <td>地質調査</td> <td>2,589,336</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,559,000</td> <td>12,295,360</td> <td>19,263,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R4予算額	R4事業費	R5繰越額	消耗品費	70,000	70,000	0	実施設計	31,489,000	9,636,024	19,263,000	地質調査	2,589,336	0	計	31,559,000	12,295,360	19,263,000
内訳	R4予算額	R4事業費	R5繰越額																							
消耗品費	70,000	70,000	0																							
実施設計	31,489,000	9,636,024	19,263,000																							
地質調査		2,589,336	0																							
計	31,559,000	12,295,360	19,263,000																							
成果	<p>老朽化が著しく進行している須江小学校屋内運動場について、実施設計等を実施した。令和5年度から着手する改築工事へ向けた準備が図られた。</p>																									
成果に係る評価	<p>市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、引き続き計画的な整備を図っていく。</p>																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	31,559,000	12,295,360				12,295,360																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設プール改築事業																																															
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																														
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																														
	事業	前谷地小学校水泳プール改築事業費、小学校施設プール改築事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																																														
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88																																															
目的及び事業内容	<p>前谷地小学校水泳プールは、昭和44年度に建設され、給排水設備を含む施設の老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、水泳プール施設全体の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p> <p>須江小学校水泳プールは、昭和53年度に建設され、給排水設備を含む施設の老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、水泳プール施設全体の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p>																																																		
取組実績	<p>・前谷地小学校水泳プール改築事業費</p> <p>令和4年度は、改築工事に着手した。</p> <p>1 全体事業</p> <p>(1) 令和3年度 地質調査、実施設計</p> <p>(2) 令和4年度から令和5年度 改築工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>R4事業費</th> <th>R5繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実施設計・監理</td> <td>3,000,000</td> <td>1,210,000</td> <td>1,700,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>131,000,000</td> <td>60,280,000</td> <td>70,720,000</td> </tr> <tr> <td>補償金</td> <td>108,000</td> <td>107,169</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>134,208,000</td> <td>61,697,169</td> <td>72,420,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>・小学校施設プール改築事業費 (須江小学校水泳プール改築)</p> <p>令和4年度は、実施設計等を実施した。</p> <p>1 全体事業</p> <p>(1) 令和4年度 地質調査、実施設計</p> <p>(2) 令和5年度から令和6年度 改築工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>R4事業費</th> <th>R5繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>70,000</td> <td>70,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td>7,012,000</td> <td>2,803,976</td> <td>4,208,000</td> </tr> <tr> <td>地質調査</td> <td>3,345,000</td> <td>3,344,064</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,427,000</td> <td>6,218,040</td> <td>4,208,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R4予算額	R4事業費	R5繰越額	消耗品費	100,000	100,000	0	実施設計・監理	3,000,000	1,210,000	1,700,000	工事	131,000,000	60,280,000	70,720,000	補償金	108,000	107,169	0	計	134,208,000	61,697,169	72,420,000	内訳	R4予算額	R4事業費	R5繰越額	消耗品費	70,000	70,000	0	実施設計	7,012,000	2,803,976	4,208,000	地質調査	3,345,000	3,344,064	0	計	10,427,000	6,218,040	4,208,000
内訳	R4予算額	R4事業費	R5繰越額																																																
消耗品費	100,000	100,000	0																																																
実施設計・監理	3,000,000	1,210,000	1,700,000																																																
工事	131,000,000	60,280,000	70,720,000																																																
補償金	108,000	107,169	0																																																
計	134,208,000	61,697,169	72,420,000																																																
内訳	R4予算額	R4事業費	R5繰越額																																																
消耗品費	70,000	70,000	0																																																
実施設計	7,012,000	2,803,976	4,208,000																																																
地質調査	3,345,000	3,344,064	0																																																
計	10,427,000	6,218,040	4,208,000																																																
成果	<p>老朽化が著しく進行している前谷地小学校水泳プールについて、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう改築工事に着手した。同じく老朽化が著しく進行している須江小学校水泳プールについて、実施設計等を実施し、令和5年度から着手する改築工事へ向けた準備が図られた。</p>																																																		
成果に係る評価	<p>市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、引き続き計画的な整備を図っていく。</p>																																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																																		
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	144,635,000	67,915,209		57,300,000		10,615,209																																													

予算科目	10 款	教育費	事業名	遠距離通学支援事業（中学校）															
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち														
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実														
	事業	中学校管理費（教育総務課）		(4)	就学に係る支援を強化する														
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P93															
目的及び事業内容		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の運行 																	
取組実績		<p>遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <p>(1) 遠距離通学となる6校に対し、バス3台、タクシー8台（うち4台は雄勝小・中共用）、ボート1台（鮎川小と併用）の運行を行った。</p> <p>※スクールバス等対象校（R4） 荻浜中学校、万石浦中学校、河北中学校、雄勝中学校、北上中学校、牡鹿中学校</p>																	
成果		<p>中学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>R3</td> <td>6校</td> <td>54人</td> <td>62,331,154 円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6校</td> <td>57人</td> <td>61,525,124 円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R3	6校	54人	62,331,154 円	R4	6校	57人	61,525,124 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費															
スクールバス等	R3	6校	54人	62,331,154 円															
	R4	6校	57人	61,525,124 円															
成果に係る評価		<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。</p>																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
	64,141,000	61,525,124	国(県)支出金	地方債	その他 一般財源														
					61,525,124														

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設照明落下防止対策（LED化）事業（中学校）													
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち												
	1 目	学校管理費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進												
	事業	中学校照明等落下防止対策事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する												
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P88													
目的及び事業内容		<p>屋内運動場における照明器具等の落下防止措置を兼ねてLED化することにより、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができる環境と地域住民に対する防災機能を備えた災害に強い施設の整備を図る。</p>															
取組実績		<p>令和4年度は、以下の対象校においてLED化を実施した。</p> <p>1 対象校 河北中、桃生中、北上中（計3校）</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>R4事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>38,510,000</td> <td>38,131,357</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38,525,000</td> <td>38,146,357</td> </tr> </tbody> </table>				内訳	R4予算額	R4事業費	消耗品費	15,000	15,000	工事	38,510,000	38,131,357	計	38,525,000	38,146,357
内訳	R4予算額	R4事業費															
消耗品費	15,000	15,000															
工事	38,510,000	38,131,357															
計	38,525,000	38,146,357															
成果		<p>照明器具等の落下防止措置を実施することにより、生徒の安全確保のほか、災害時の避難所としての役割を鑑み、防災機能を備えた施設の確保が図られた。</p>															
成果に係る評価		<p>市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、引き続き計画的な整備を図っていく。</p>															
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
	38,525,000	38,146,357	国(県)支出金	地方債	その他 一般財源												
			10,089,000	19,000,000	9,057,357												

予算科目	10 款	教育費	事業名	教材備品整備事業（中学校）														
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進													
	事業	中学校一般教材費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する													
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88														
目的及び事業内容	<p>文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。</p> <p>良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法について対応した教材の購入や老朽化した教材の計画的な更新を進める。</p>																	
取組実績	<p>学校が要望する教材を中心に購入した。また年度途中では破損や老朽化などで安全に使用できない教材の買い替えや、翌年度すぐに必要な教材備品の準備に対応した。</p> <p>理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。</p> <p><中学校の教材整備数（備品購入費分のみ）></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>388個</td> <td>389個</td> <td>339個</td> <td>557個</td> <td>495個</td> </tr> </tbody> </table>							H30	R1	R2	R3	R4		388個	389個	339個	557個	495個
	H30	R1	R2	R3	R4													
	388個	389個	339個	557個	495個													
成 果	<p>学校が要望する、学習指導要領に対応した教材備品を年間を通して整備をしたことで、学習環境が整えられた。</p> <p>教材を用いた授業により、理解が深まり、学習活動が充実した。</p> <p><中学校の教材充足率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>45.9%</td> <td>50.5%</td> <td>50.9%</td> <td>49.0%</td> <td>49.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学校整備目標に対する充足率</p> <p>◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。</p>							H30	R1	R2	R3	R4		45.9%	50.5%	50.9%	49.0%	49.9%
	H30	R1	R2	R3	R4													
	45.9%	50.5%	50.9%	49.0%	49.9%													
成果に係る評価	<p>新しい教材の購入に加え、老朽化や破損した教材の買い替えも多かったため、充足率は緩やかな上昇となった。</p> <p>教材を整備することで、授業の理解が得られやすくなり学習活動の充実が図られるため、今後も学校要望にできるだけ対応できるよう、予算を有効活用し、できるだけ多くの教材を整備したい。</p>																	
予算の執行状況	(単位：円)																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	15,000,000	14,999,933	2,566,000			12,433,933												

予算科目	10 款	教育費	事業名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																																										
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																									
	2 目	教育振興費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																									
	事業	中学校教育振興援助費		(4)	就学に係る支援を強化する																																									
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																																										
目的及び事業内容	<p>経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成 																																													
取組実績	<p>1 就学援助費 中学校：認定者数 544名 / 生徒数 3,251名 (16.73%)</p> <table border="1"> <tbody> <tr><td>学用品費</td><td>12,074,970 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>307,336 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>356,643 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>2,580,000 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>6,300,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>9,214,850 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>28,531,538 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>161,200 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>59,526,537 円</td></tr> </tbody> </table> <p>2 特別支援教育就学奨励費 中学校：認定者数 75名 / 生徒数 3,251名 (2.31%)</p> <table border="1"> <tbody> <tr><td>学用品費</td><td>363,871 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>9,119 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>12,424 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>354,060 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>405,860 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>211,746 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>916,650 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>36,710 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>7,535,830 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>9,846,270 円</td></tr> </tbody> </table>						学用品費	12,074,970 円	校外活動費（宿泊なし）	307,336 円	校外活動費（宿泊あり）	356,643 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,580,000 円	新入学準備金	6,300,000 円	修学旅行費	9,214,850 円	給食費	28,531,538 円	医療費	161,200 円	計	59,526,537 円	学用品費	363,871 円	校外活動費（宿泊なし）	9,119 円	校外活動費（宿泊あり）	12,424 円	通学費	354,060 円	新入学学用品費	405,860 円	修学旅行費	211,746 円	給食費	916,650 円	交流学習交通費	36,710 円	職場実習交通費	7,535,830 円	計	9,846,270 円
学用品費	12,074,970 円																																													
校外活動費（宿泊なし）	307,336 円																																													
校外活動費（宿泊あり）	356,643 円																																													
通学費	0 円																																													
新入学学用品費	2,580,000 円																																													
新入学準備金	6,300,000 円																																													
修学旅行費	9,214,850 円																																													
給食費	28,531,538 円																																													
医療費	161,200 円																																													
計	59,526,537 円																																													
学用品費	363,871 円																																													
校外活動費（宿泊なし）	9,119 円																																													
校外活動費（宿泊あり）	12,424 円																																													
通学費	354,060 円																																													
新入学学用品費	405,860 円																																													
修学旅行費	211,746 円																																													
給食費	916,650 円																																													
交流学習交通費	36,710 円																																													
職場実習交通費	7,535,830 円																																													
計	9,846,270 円																																													
成 果	<p>経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>また、新入学準備金については、100名の生徒の保護者に対し助成を行うとともに、支給時期を早めたことにより、就学前の経済的不安の解消が図られた。</p>																																													
成果に係る評価	<p>経済的な理由により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	73,896,000	69,372,807	5,129,185			64,243,622																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書整備事業（中学校）〔復興基金〕																																													
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																												
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																												
	事業	中学校図書整備事業		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																																												
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																																													
目的及び事業内容	<p>文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。</p> <p>学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																
取組実績	<p>令和4年度予算としては、各中学校の蔵書を更新するための予算を配当した。令和4年度においては、前年度と比較して整備冊数は減ったものの、生徒の読書活動や学習活動に役立つ良質な図書を購入することができた。</p> <p>＜中学校図書の整備冊数＞</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> <tr> <td></td> <td>11,950冊</td> <td>19,821冊</td> <td>10,007冊</td> <td>9,343冊</td> <td>8,916冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H30	R1	R2	R3	R4		11,950冊	19,821冊	10,007冊	9,343冊	8,916冊																														
	H30	R1	R2	R3	R4																																												
	11,950冊	19,821冊	10,007冊	9,343冊	8,916冊																																												
成果	<p>学校図書館図書標準に対する充足率は老朽化した図書の廃棄により1校未達成となったが、生徒の読書活動、学習活動に役立つ図書を購入できた。整備した図書や資料の利用により、情報の収集、整理分析、まとめ・表現等の活動に生かされ学習活動が充実した。</p> <p>＜中学校図書充足率達成状況＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>充足率</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>11校</td> <td>16校</td> <td>19校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>8校</td> <td>3校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計（B）</td> <td>19校</td> <td>19校</td> <td>19校</td> <td>18校</td> <td>18校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>57.89%</td> <td>84.21%</td> <td>100.00%</td> <td>94.44%</td> <td>94.44%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について ※各年度末時点 平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>							充足率	H30	R1	R2	R3	R4	100%以上（A）	11校	16校	19校	17校	17校	75%以上-100%未満	8校	3校	0校	1校	1校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計（B）	19校	19校	19校	18校	18校	100%以上達成校の割合（A/B）	57.89%	84.21%	100.00%	94.44%	94.44%
充足率	H30	R1	R2	R3	R4																																												
100%以上（A）	11校	16校	19校	17校	17校																																												
75%以上-100%未満	8校	3校	0校	1校	1校																																												
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																												
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																												
合計（B）	19校	19校	19校	18校	18校																																												
100%以上達成校の割合（A/B）	57.89%	84.21%	100.00%	94.44%	94.44%																																												
成果に係る評価	<p>昨年度末に廃棄を多く行った1校が令和4年度末は廃棄をしなかったものの充足率未達成となった。ほとんどの学校が、図書標準の達成のため、長期間廃棄を行っておらず、古い蔵書の割合が高いことから、今後も老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新し、生徒にとって最新の知識を得られ、正しい情報で学習効果が図られるよう学校図書の一層の充実を図っていきたい。</p>																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	15,400,000	15,383,860			15,050,000	333,860																																											

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設防音機能復旧事業																																													
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																												
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																												
	事業	蛇田中学校空気調和設備機器等機能復旧事業費、青葉中学校空気調和設備機器等機能復旧事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																																												
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89																																													
目的及び事業内容	<p>蛇田中学校の空気調和設備機器は、平成8年度に復旧工事を実施したが、老朽化が進み機能も低下してきており、メンテナンスの範囲で維持していくことが困難になってきたこと、防衛省で定める耐用年数（15年）も経過していることから、老朽化した機器や施設を更新し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p> <p>同じく青葉中学校の空気調和設備機器は、平成元年度に防衛省からの補助を受けて暖房機を設置したものであるが、老朽化が進み機能が低下してきており、メンテナンスの範囲において維持していくことが困難になっていることから、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p>																																																
取組実績	<p>・蛇田中学校空気調和設備機器等機能復旧事業費 令和4年度は、機能調査を実施した。</p> <p>1 全体事業</p> <p>(1) 令和4年度 機能調査 (2) 令和5年度から令和6年度 設計に関する東北防衛局のヒアリング、実施設計 (3) 令和7年度から令和8年度 工事に関する東北防衛局のヒアリング、機能復旧工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 （単位：円）</p> <table border="1"> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>R4事業費</th> </tr> <tr> <td>機能調査</td> <td>1,700,000</td> <td>1,683,000</td> </tr> </table> <p>・青葉中学校空気調和設備機器等機能復旧事業費 老朽化が著しく進行している青葉中学校空気調和設備機器について、機能復旧工事を実施した。</p> <p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th rowspan="2">R4予算額</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th rowspan="2">R4事業費</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th rowspan="2">現年度分</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監理</td> <td>1,650,000</td> <td>1,650,000</td> <td>0</td> <td>1,650,000</td> <td>1,650,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>33,875,000</td> <td>33,875,000</td> <td>0</td> <td>32,931,600</td> <td>32,931,600</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35,525,000</td> <td>35,525,000</td> <td>0</td> <td>34,581,600</td> <td>34,581,600</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R4予算額	R4事業費	機能調査	1,700,000	1,683,000	内訳	R4予算額	繰越分		R4事業費	繰越分		現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	監理	1,650,000	1,650,000	0	1,650,000	1,650,000	0	0	工事	33,875,000	33,875,000	0	32,931,600	32,931,600	0	0	計	35,525,000	35,525,000	0	34,581,600	34,581,600	0	0
内訳	R4予算額	R4事業費																																															
機能調査	1,700,000	1,683,000																																															
内訳	R4予算額	繰越分		R4事業費	繰越分		現年度分																																										
		繰越分	現年度分		繰越分	現年度分																																											
監理	1,650,000	1,650,000	0	1,650,000	1,650,000	0	0																																										
工事	33,875,000	33,875,000	0	32,931,600	32,931,600	0	0																																										
計	35,525,000	35,525,000	0	34,581,600	34,581,600	0	0																																										
成果	<p>老朽化が進行している蛇田中学校空気調和設備機器の機能復旧工事にに向けた機能調査業務が実施され、機能低下の状況が確認された。同じく老朽化が著しく進行している青葉中学校空気調和設備機器について、機能復旧工事が実施され、暖房機能等の回復が図られた。</p>																																																
成果に係る評価	<p>市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、計画的な整備を図っていく。</p>																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	37,225,000	36,264,600	17,785,000	14,600,000		3,879,600																																											

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校施設長寿命化改良事業																																																																																													
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																																																													
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																																																																													
	事業	石巻中学校改修事業費、石巻中学校屋内運動場改修事業費、蛇田中学校校舎改修事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																																																																																													
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88																																																																																														
目的及び事業内容	<p>石巻中学校校舎等は経年劣化により老朽化が著しいため、外壁、内壁、電気設備、機械設備や屋上防水の改修工事等を実施し、施設の長寿命化を図る。併せて、段差解消や多目的トイレ設置等のバリアフリー対策を行い、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p> <p>蛇田中学校校舎は経年劣化により老朽化が著しいため、外壁、内壁、電気設備、機械設備や屋上防水の改修工事等を実施し、施設の長寿命化を図る。併せて、段差解消や多目的トイレ設置等のバリアフリー対策を行い、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p>																																																																																																	
取組実績	<p>・石巻中学校改修事業費・石巻中学校屋内運動場改修事業費</p> <p>令和4年度は、改修工事に着手した。</p> <p>1 全体事業 R2:耐力度調査 R3:実施設計(令和4年度へ繰越) R4~R5:改修工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳</p> <p>・石巻中学校改修事業費 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>R4事業費</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>R5繰越分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td>43,660,000</td> <td>43,660,000</td> <td>0</td> <td>39,747,774</td> <td>39,747,774</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>2,000,000</td> <td>0</td> <td>2,000,000</td> <td>1,992,320</td> <td>0</td> <td>1,992,320</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>102,975,000</td> <td>0</td> <td>102,975,000</td> <td>93,850,000</td> <td>0</td> <td>93,850,000</td> <td>8,475,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>148,735,000</td> <td>43,660,000</td> <td>105,075,000</td> <td>135,690,094</td> <td>39,747,774</td> <td>95,942,320</td> <td>8,475,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>・石巻中学校屋内運動場改修事業費 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R4予算額</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>R4事業費</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td>6,138,000</td> <td>6,138,000</td> <td>0</td> <td>5,928,726</td> <td>5,928,726</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>350,000</td> <td>0</td> <td>350,000</td> <td>167,680</td> <td>0</td> <td>167,680</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>14,100,000</td> <td>0</td> <td>14,100,000</td> <td>13,670,000</td> <td>0</td> <td>13,670,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,638,000</td> <td>6,138,000</td> <td>14,500,000</td> <td>19,816,406</td> <td>5,928,726</td> <td>13,887,680</td> </tr> </tbody> </table>								内訳	R4予算額	繰越分	現年度分	R4事業費	繰越分	現年度分	R5繰越分	実施設計	43,660,000	43,660,000	0	39,747,774	39,747,774	0	0	消耗品費	100,000	0	100,000	100,000	0	100,000	0	監理	2,000,000	0	2,000,000	1,992,320	0	1,992,320	0	工事	102,975,000	0	102,975,000	93,850,000	0	93,850,000	8,475,000	計	148,735,000	43,660,000	105,075,000	135,690,094	39,747,774	95,942,320	8,475,000	内訳	R4予算額	繰越分	現年度分	R4事業費	繰越分	現年度分	実施設計	6,138,000	6,138,000	0	5,928,726	5,928,726	0	消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000	監理	350,000	0	350,000	167,680	0	167,680	工事	14,100,000	0	14,100,000	13,670,000	0	13,670,000	計	20,638,000	6,138,000	14,500,000	19,816,406	5,928,726	13,887,680
	内訳	R4予算額	繰越分	現年度分	R4事業費	繰越分	現年度分	R5繰越分																																																																																										
	実施設計	43,660,000	43,660,000	0	39,747,774	39,747,774	0	0																																																																																										
	消耗品費	100,000	0	100,000	100,000	0	100,000	0																																																																																										
監理	2,000,000	0	2,000,000	1,992,320	0	1,992,320	0																																																																																											
工事	102,975,000	0	102,975,000	93,850,000	0	93,850,000	8,475,000																																																																																											
計	148,735,000	43,660,000	105,075,000	135,690,094	39,747,774	95,942,320	8,475,000																																																																																											
内訳	R4予算額	繰越分	現年度分	R4事業費	繰越分	現年度分																																																																																												
実施設計	6,138,000	6,138,000	0	5,928,726	5,928,726	0																																																																																												
消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000																																																																																												
監理	350,000	0	350,000	167,680	0	167,680																																																																																												
工事	14,100,000	0	14,100,000	13,670,000	0	13,670,000																																																																																												
計	20,638,000	6,138,000	14,500,000	19,816,406	5,928,726	13,887,680																																																																																												
成果	<p>老朽化が著しく進行している石巻中学校校舎等について、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう改修工事に着手した。同じく老朽化が著しく進行している蛇田中学校校舎において、実施設計等を実施し、令和6年度に着手する改修工事に向けた準備が図られた。</p>																																																																																																	
成果に係る評価	<p>市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、引き続き計画的な整備を図っていく。</p>																																																																																																	
予算の執行状況	(単位:円)																																																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																												
	236,269,000	181,112,500	34,199,000	125,200,000		21,713,500																																																																																												

予算科目	10 款	教育費	事業名		桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業																																																									
	4 項	高等学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																									
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																																									
	事業	魅力ある学校づくり事業費		(1)	学校教育の充実を図る																																																									
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 91																																																										
目的及び事業内容	<p>【事業内容】 生徒の人間力を高め、一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実施し、必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指す。</p>																																																													
取組実績	<p>1 各種講座等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全学年</th> <th>各1回実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 小笠原流礼法指導</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 進学・就職のための各種講座</td> <td>年間</td> <td>14回実施</td> </tr> <tr> <td>ア 模擬面接</td> <td></td> <td>12回実施</td> </tr> <tr> <td>イ メイクアップ講座(3学年)</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>ウ 法律講話(3学年)</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 先輩の話を聞く会(1、2学年)</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(4) 親教育講話(3学年)</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(5) 桜坂タイム関連講座(全学年)</td> <td></td> <td>57回実施</td> </tr> <tr> <td>ア まちなかポスタープロジェクト(1学年)</td> <td></td> <td>19回</td> </tr> <tr> <td>イ さくらプロジェクト(2学年)</td> <td></td> <td>19回</td> </tr> <tr> <td>ウ ミライブラリー(3学年)</td> <td></td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>エ 市役所プロジェクト(3学年)</td> <td></td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>オ SDGsで地方創生を考える(1学年)</td> <td></td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>カ 働く意義「社会人講話」(1学年)</td> <td></td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>キ 名刺ワーク(2学年)</td> <td></td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>(6) 年金セミナー(2学年)</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(7) 高大連携出前講座(1学年)</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 進路ガイダンス参加 ※ハローワーク主催の合同企業説明会1回、桜坂高校独自に合同企業説明会を1回開催</p> <p>3 大学・短大見学会 施設見学及び模擬授業受講(1学年) 1日実施</p>									全学年	各1回実施	(1) 小笠原流礼法指導			(2) 進学・就職のための各種講座	年間	14回実施	ア 模擬面接		12回実施	イ メイクアップ講座(3学年)		1回実施	ウ 法律講話(3学年)		1回実施	(3) 先輩の話を聞く会(1、2学年)		1回実施	(4) 親教育講話(3学年)		1回実施	(5) 桜坂タイム関連講座(全学年)		57回実施	ア まちなかポスタープロジェクト(1学年)		19回	イ さくらプロジェクト(2学年)		19回	ウ ミライブラリー(3学年)		1回	エ 市役所プロジェクト(3学年)		15回	オ SDGsで地方創生を考える(1学年)		1回	カ 働く意義「社会人講話」(1学年)		1回	キ 名刺ワーク(2学年)		1回	(6) 年金セミナー(2学年)		1回実施	(7) 高大連携出前講座(1学年)		1回実施
		全学年	各1回実施																																																											
	(1) 小笠原流礼法指導																																																													
(2) 進学・就職のための各種講座	年間	14回実施																																																												
ア 模擬面接		12回実施																																																												
イ メイクアップ講座(3学年)		1回実施																																																												
ウ 法律講話(3学年)		1回実施																																																												
(3) 先輩の話を聞く会(1、2学年)		1回実施																																																												
(4) 親教育講話(3学年)		1回実施																																																												
(5) 桜坂タイム関連講座(全学年)		57回実施																																																												
ア まちなかポスタープロジェクト(1学年)		19回																																																												
イ さくらプロジェクト(2学年)		19回																																																												
ウ ミライブラリー(3学年)		1回																																																												
エ 市役所プロジェクト(3学年)		15回																																																												
オ SDGsで地方創生を考える(1学年)		1回																																																												
カ 働く意義「社会人講話」(1学年)		1回																																																												
キ 名刺ワーク(2学年)		1回																																																												
(6) 年金セミナー(2学年)		1回実施																																																												
(7) 高大連携出前講座(1学年)		1回実施																																																												
成果	<p>1 各種講座等について ・豊かな人間性の醸成、多様な進路や目標の実現のため、各方面から講師を招いて講座等を実施した。 ・礼法指導の基礎を学び、桜坂高校の教育の三本柱である品格教育の充実を図ることができた。 ・進学・就職に関連する講座を通じて、勤労観・職業観を育み、「自己実現力」の向上を図ることができた。 ・総合的な探究の時間において「桜坂タイム」を全学年で実施し、地域資源を有効に活用することにより地域社会に貢献できる人材の育成を図ることができた。</p> <p>2 進路ガイダンスの参加について ハローワーク主催の合同企業説明会の他、桜坂高校独自に開催したところ、参加企業からも好評であり学校と地元企業との良好な信頼関係を構築できた。就職指導支援員を効果的に活用することにより、就職内定率は100%（繰越含む）となり、うち管内企業への就職率は53.8%であった。</p> <p>3 大学・短大見学会について 1年次から大学見学や高等教育の授業を聴講することにより、進学に対する意欲の発揚を促し、主体的に学びに向かう態度を育成することができた。</p>																																																													
成果に係る評価	<p>本事業を通じて、桜坂高校の教育の三本柱である「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践することにより「魅力ある学校づくり」を推進することができた。</p> <p>令和5年度入学者選抜においては、定員充足率が64.3%と減少に転じたが、石巻地区の中学校卒業生徒数の減少も背景にあると考えられる。定員割れが続いている状況ではあるが、学励探求コース(大学等進学を目指すコース)の定員充足率が増加傾向にあることを踏まえ、進学を目指す生徒への進路学習の充実を図る。一方で、これまでの丁寧な就職支援を継続し、多様な進路に対応する教育活動を一層推進し、「学校の魅力向上」につなげる。併せて、オープンキャンパス等を通じて「女子校の特色を前面に出した魅力の発信」に努める。特に在籍生徒数の9割を超える石巻地区の女子中学生に桜坂高校の魅力を積極的にPRし、定員の確保を図る必要がある。</p>																																																													
予算の執行状況	(単位:円)																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	3,686,840	3,302,331			3,000,000	302,331																																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設照明落下防止対策（LED化）事業（高等学校）																									
	4 項	高等学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																								
	1 目	学校管理費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																								
	事業	高等学校照明等落下防止対策事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																								
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P88																									
目的及び事業内容	屋内運動場における照明器具の落下防止措置を兼ねてLED化することにより、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができる環境と地域住民に対する防災機能を備えた災害に強い施設の整備を図る。																												
取組実績	令和4年度は、以下の対象校においてLED化を実施した。																												
	<table border="1"> <tr> <td>1 対象校</td> <td colspan="5">桜坂高等学校（さくら会館）</td> </tr> <tr> <td>2 科目別予算額・事業費内訳</td> <td colspan="5">(単位：円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳</td> <td>R4予算額</td> <td colspan="2">R4事業費</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事</td> <td>7,380,000</td> <td colspan="2">7,379,900</td> <td></td> </tr> </table>						1 対象校	桜坂高等学校（さくら会館）					2 科目別予算額・事業費内訳	(単位：円)						内訳	R4予算額	R4事業費				工事	7,380,000	7,379,900	
1 対象校	桜坂高等学校（さくら会館）																												
2 科目別予算額・事業費内訳	(単位：円)																												
	内訳	R4予算額	R4事業費																										
	工事	7,380,000	7,379,900																										
成果	照明器具等の落下防止措置を実施することにより、生徒の安全確保のほか、災害時の避難所としての役割を鑑み、防災機能を備えた施設の確保が図られた。																												
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、引き続き計画的な整備を図っていく。																												
予算の執行状況	(単位：円)																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	7,380,000	7,379,900				7,379,900																							

予算科目	10 款	教育費	事業名	私立幼稚園運営費助成事業																										
	5 項	幼稚園費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	1 目	幼稚園費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																									
	事業	私立幼稚園運営費助成費		(4)	就学に係る支援を強化する																									
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P93																										
目的及び事業内容	市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。 ・私立幼稚園運営費の助成 幼稚園割 1園 160,000円、職員割 1人 30,000円、園児割 1人 1,200円 ・処遇改善臨時特例事業費補助金 対象：新制度私立幼稚園（穀町幼稚園・石巻カトリック幼稚園）																													
取組実績	市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。																													
	<table border="1"> <tr> <td>施設名（新制度未移行幼稚園）</td> <td>運営費補助金</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>502,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻みづほ幼稚園</td> <td>898,000円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,195,600円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>664,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,259,600円</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>令和3年度からの繰越明許費</td> <td>処遇改善臨時特例事業費補助金</td> </tr> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>1,094,700円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>1,118,280円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,212,980円</td> </tr> </table>						施設名（新制度未移行幼稚園）	運営費補助金	法山寺幼稚園	502,000円	石巻みづほ幼稚園	898,000円	ひばり幼稚園	1,195,600円	長浜幼稚園	664,000円	合計	3,259,600円	令和3年度からの繰越明許費	処遇改善臨時特例事業費補助金	穀町幼稚園	1,094,700円	石巻カトリック幼稚園	1,118,280円	合計	2,212,980円				
施設名（新制度未移行幼稚園）	運営費補助金																													
法山寺幼稚園	502,000円																													
石巻みづほ幼稚園	898,000円																													
ひばり幼稚園	1,195,600円																													
長浜幼稚園	664,000円																													
合計	3,259,600円																													
令和3年度からの繰越明許費	処遇改善臨時特例事業費補助金																													
穀町幼稚園	1,094,700円																													
石巻カトリック幼稚園	1,118,280円																													
合計	2,212,980円																													
成果	義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。 (助成内訳) 運営費補助金																													
成果に係る評価	<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>運営費補助金</td> <td>園数</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,185,200円</td> <td>6園</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5,070,000円</td> <td>6園</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3,496,000円</td> <td>4園</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>3,259,600円</td> <td>4園</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>運営費補助金</td> <td>園数</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>622,180円</td> <td>2園</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,212,980円</td> <td>2園</td> </tr> </table>						年度	運営費補助金	園数	R1	5,185,200円	6園	R2	5,070,000円	6園	R3	3,496,000円	4園	R4	3,259,600円	4園	年度	運営費補助金	園数	R3	622,180円	2園	R4	2,212,980円	2園
	年度	運営費補助金	園数																											
R1	5,185,200円	6園																												
R2	5,070,000円	6園																												
R3	3,496,000円	4園																												
R4	3,259,600円	4園																												
年度	運営費補助金	園数																												
R3	622,180円	2園																												
R4	2,212,980円	2園																												
成果に係る評価	私立幼稚園の健全な運営と施設の充実を図るとともに、幼児教育の質の向上を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要がある。																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	6,182,820	5,472,580	2,212,980			3,259,600																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	家庭教育支援事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち		
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進		
	事業	社会教育事務費		(1)	地域で支える教育活動を支援する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P96			
目的及び事業内容		子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人々による「家庭教育支援チーム」を組織し、子育ての悩みを抱えるなど孤立しがちな保護者や家庭に対する支援を行い、保護者が自ら進んで子育てを学ぶことの出来る環境を整備する。					
取組実績	1 親子参加型の活動（子育てサロン）						
	年度	実施期間	実施回数	参加人数			
	R2	R2.8～R3.3	13回	延べ	63組	148人	
	R3	R3.5～R4.3	16回	延べ	87組	200人	
	R4	R4.5～R5.3	20回	延べ	159組	362人	
2 親の学び講座（親対象）							
年度	実施期間	実施回数	参加人数				
R2	R2.10～R3.3	16回	延べ	104人			
R3			新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止				
R4	R4.9～R4.11	8回	延べ	45人			
3 親のみちしるべ講座							
年度	実施期間	実施回数	参加人数				
R2	R2.10～R2.12	3回	延べ	25人			
R3	R3.10～R3.12	2回	延べ	13人			
R4			新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止				
4 子育てサポーター養成講座							
年度	実施期間	実施回数	参加人数				
R2			新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止				
R3	R3.5～R3.6	3回	延べ	15人			
R4	R4.5～R4.6	3回	延べ	18人			
成果		「子育てサロン」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が大幅に減少していたが、令和4年度はウィズコロナの考え方が浸透してきたことに加え、感染対策を徹底・工夫して実施することにより、昨年度の参加者数200人を大きく上回る362人の参加が得られ、子育て世代の悩み相談や孤立防止が図られた。 「親の学び講座」は、8週連続で集中的に学ぶ子育て講座として開催。受講者が意欲的に参加しており、気分転換のために簡単なゲームなどを行いつつ、お互いの悩みを相談しあうことにより、子育てのスキルアップや親同士のコミュニティ形成などの成果が見られた。 「親のみちしるべ講座」は、7月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の時期と重なり開催することができず、学びの機会を提供することができなかった。 「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会と連携し、東部教育事務所管内で実施。子育て支援の専門家の講話等になっており、参加者が子育ての喜びを改めて感じたり悩みの解決方法に気付くことにより、支援者の拡大と子育て支援サイクルの循環が図られた。					
成果に係る評価		家庭教育支援事業は、子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士のコミュニティ形成、次世代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材の育成が図られており、家庭教育支援チーム員として、活動を始めなどの成果が見られることから、市民にとって意義のある事業であるため、今後も継続が必要である。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために開催中止とした事業もあったが、事業成果からも市民ニーズが高い事業であることから、令和5年度は、親の学び講座の開催数を拡大するなどして、市民ニーズの高まりに対応していく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	446,000	303,782	202,000			101,782	

予算科目	10 款	教育費	事業名	少年指導者育成事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち		
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進		
	事業	少年指導者育成費		(2)	青少年の健全な成長を支援する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P97			
目的及び事業内容		子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。 宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与する。 ジュニア・リーダーの資質向上のため、各種研修の機会を提供する。					
取組実績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援						
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催						
	No	事業名	開催日	実施場所	修了者		
	1	初級研修会	8月3日(水)～8月4日(木) 1泊2日で開催	花山青少年自然の家	5人		
	(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援						
No	事業名	開催日	実施場所	修了者			
1	中級研修会	8月18日(木)・19日(金) 日帰り2日間で開催	松島自然の家	5人			
2	上級研修会	12月24日(土)～26日(月) 2泊3日で開催	志津川自然の家	1人			
2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援 各地区のサークルに所属するジュニア・リーダーは、市内子ども会育成会や各種団体等から派遣の要請を受け、子どもたちの指導を行っている。 団体による申請数：19回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：47人 会員数：31人							
3 ジュニア・リーダー会員の募集支援 市内全中学校の生徒に初級研修会の募集要項を配布した。また、会員による口コミ活動を修了者に実施するとともに、各サークルにおいて新規会員募集チラシを配布した。							
成果		新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限がある中、参加人数は少なかったものの、初級研修会をはじめ、各種研修会を開催することにより、ジュニア・リーダー相互の交流と資質向上が図られた。 また、各サークルへの派遣要請は令和3年度よりも増え、徐々に活動の範囲も広がってきたことにより、子どもや地域の人たちと関わる様々な体験活動や研修等を通して、地域活動へ積極的に参加していく意欲と実践力を身に付けることに寄与した。					
成果に係る評価		ジュニア・リーダーの活動は、派遣事業においてスタッフとともに来訪者への対応や地域住民への働きかけなど積極的な姿勢が見られ、子どもたちの健全育成及び子ども会活動の活性化を図ることにつながっているため、今後も事業を継続する必要がある。 また、ジュニア・リーダー会員の新規獲得に向けた周知の強化や、なかまづくりの広域化を視野に入れた効果的な活動を推進するため、学校や各公民館ジュニア・リーダー担当者との連携に加え、各市町の担当者とも連携を図り事業を展開する。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	397,000	262,063				262,063	

予算科目	10 款	教育費	事業名	街なか文化・芸術活動活性化助成金交付事業																	
	6 項	社会教育費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																
	事業	芸術文化振興費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 79																	
目的及び事業内容	本市の中心市街地において文化・芸術活動を行う団体に対し、活動費用の助成を行うことにより、中心市街地の文化芸術活動の拠点としての機能強化を図る。																				
取組実績	令和3年度に引き続き募集を行い、対象となる活動に対し、10万円を上限に助成金を交付した。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成団体数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>4団体</td> <td>343,000円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8団体</td> <td>799,000円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	助成団体数	助成金額	R3	4団体	343,000円	R4	8団体	799,000円						
年度	助成団体数	助成金額																			
R3	4団体	343,000円																			
R4	8団体	799,000円																			
成果	<p>助成金を交付した8団体により、中心市街地においてアーティストの作品やパネルなどの展示、また創作のワークショップなどが開催され、芸術文化活動における一定の活性化が図られたものの、令和4年度の成果指標達成率については40%に留まった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">成果指標（文化芸術活動数）</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>20回</td> <td>4回</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>20回</td> <td>8回</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	成果指標（文化芸術活動数）			目標値	実績	達成率	R3	20回	4回	20%	R4	20回	8回	40%
年度	成果指標（文化芸術活動数）																				
	目標値	実績	達成率																		
R3	20回	4回	20%																		
R4	20回	8回	40%																		
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症予防の影響などで、各団体の活動が縮小されていたことから活動件数の伸びは低いものとなった。中心市街地を文化芸術活動の拠点とすべく、文化面からのアプローチによる機能強化を図るため事業の継続が必要である。																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	2,000,000	799,000				799,000															

予算科目	10 款	教育費	事業名	青少年文化芸術鑑賞事業																																										
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																									
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																									
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する																																									
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 98																																										
目的及び事業内容	芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の児童・生徒に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養う。 青少年劇場小公演、巡回小劇場、文化芸術による子どもの育成事業の開催を通して、希望する小中学校に対して、生の芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供する。																																													
取組実績	<p>1 巡回小劇場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月7日</td> <td>開北小学校</td> <td>演劇公演 劇団あともむ「あともむの時間はアンデルセン」</td> <td>開北小学校（児童98人）</td> </tr> <tr> <td>10月21日</td> <td>河南西中学校</td> <td>音楽公演 古館由佳子、土山如之 他「ハンガリーの風コンサート」</td> <td>河南西中学校（生徒165人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 青少年劇場小公演</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月1日</td> <td>飯野川小学校</td> <td>はなしの伝統芸能「落語」</td> <td>飯野川小学校（児童52人）</td> </tr> <tr> <td>6月1日</td> <td>桃生中学校</td> <td>はなしの伝統芸能「落語」</td> <td>桃生中学校（生徒69人）</td> </tr> <tr> <td>9月30日</td> <td>鮎川小学校</td> <td>サクソフォンとピアノのコンサート</td> <td>鮎川小学校（児童13人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月14日</td> <td>貞山小学校</td> <td>ミュージカル「シンドバッドの大冒険」</td> <td>貞山小学校（児童173人）</td> </tr> <tr> <td>11月15日</td> <td>広瀬小学校</td> <td>ミュージカル「シンドバッドの大冒険」</td> <td>広瀬小学校（児童186人）</td> </tr> </tbody> </table>						開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	9月7日	開北小学校	演劇公演 劇団あともむ「あともむの時間はアンデルセン」	開北小学校（児童98人）	10月21日	河南西中学校	音楽公演 古館由佳子、土山如之 他「ハンガリーの風コンサート」	河南西中学校（生徒165人）	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	6月1日	飯野川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	飯野川小学校（児童52人）	6月1日	桃生中学校	はなしの伝統芸能「落語」	桃生中学校（生徒69人）	9月30日	鮎川小学校	サクソフォンとピアノのコンサート	鮎川小学校（児童13人）	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	11月14日	貞山小学校	ミュージカル「シンドバッドの大冒険」	貞山小学校（児童173人）	11月15日	広瀬小学校	ミュージカル「シンドバッドの大冒険」	広瀬小学校（児童186人）
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																											
9月7日	開北小学校	演劇公演 劇団あともむ「あともむの時間はアンデルセン」	開北小学校（児童98人）																																											
10月21日	河南西中学校	音楽公演 古館由佳子、土山如之 他「ハンガリーの風コンサート」	河南西中学校（生徒165人）																																											
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																											
6月1日	飯野川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	飯野川小学校（児童52人）																																											
6月1日	桃生中学校	はなしの伝統芸能「落語」	桃生中学校（生徒69人）																																											
9月30日	鮎川小学校	サクソフォンとピアノのコンサート	鮎川小学校（児童13人）																																											
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																											
11月14日	貞山小学校	ミュージカル「シンドバッドの大冒険」	貞山小学校（児童173人）																																											
11月15日	広瀬小学校	ミュージカル「シンドバッドの大冒険」	広瀬小学校（児童186人）																																											
成果	巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子供の育成事業は、プロの生演奏や芝居を目の前で鑑賞できることから、実施校から高い評価を得ている。優れた文化芸術を生で鑑賞する機会を提供することにより、児童・生徒が鑑賞する楽しさや表現することの喜びを体験し、豊かな情操を育むことができた。 また、実施校からの報告書、鑑賞した児童生徒の様子、事後アンケートの内容からは一様に充実した時間を過ごしたと述べていた。鑑賞後に感想を伝え合うなど、感情を揺さぶられる経験をさせていたのだとの記載もあった。それぞれの公演内容の教育的効果から、実施した学校から高い評価を得られた。																																													
成果に係る評価	関係団体と連携を図りながら、巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子供の育成事業において、質の高い文化芸術を児童・生徒に提供することができた。 優れた文化芸術を生で鑑賞するよい機会であり、子どもたちの豊かな情操を育むためにも継続が必要な事業であり、今後も関係団体等と連携し、質の高い文化芸術に触れる機会を児童・生徒に提供していきたい。																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	1,451,000	917,400			800,000	117,400																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	文化芸術事業																										
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																									
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																									
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する																									
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99																										
目的及び事業内容	芸術文化振興を目的とするとともに、芸術文化がもたらす心豊かで活力ある地域づくりなど、社会に貢献できる活動を推進し、石巻市芸術文化振興財団へ業務委託することにより、良質な芸術鑑賞等の文化活動を展開する。																													
取組実績	本市の文化芸術事業を牽引し、そのノウハウに長けた石巻市芸術文化振興財団に委託して実施																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 公演鑑賞事業</td> <td>コンサート等</td> <td>6回</td> <td>1,067人</td> </tr> <tr> <td>2 文化芸術参加型事業</td> <td>体験教室</td> <td>8回</td> <td>2,809人</td> </tr> <tr> <td>3 文化芸術事業 (1) 小中高等学校等でのアウトリーチ事業</td> <td>交響楽団員等の演奏会</td> <td>8回</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>22回</td> <td>4,226人</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	内容	回数	参加人数	1 公演鑑賞事業	コンサート等	6回	1,067人	2 文化芸術参加型事業	体験教室	8回	2,809人	3 文化芸術事業 (1) 小中高等学校等でのアウトリーチ事業	交響楽団員等の演奏会	8回	350人	合計		22回	4,226人					
事業名	内容	回数	参加人数																											
1 公演鑑賞事業	コンサート等	6回	1,067人																											
2 文化芸術参加型事業	体験教室	8回	2,809人																											
3 文化芸術事業 (1) 小中高等学校等でのアウトリーチ事業	交響楽団員等の演奏会	8回	350人																											
合計		22回	4,226人																											
成果	事業の実施回数																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>50回</td> <td>45回</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>50回</td> <td>33回</td> <td>66.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>50回</td> <td>15回</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>25回</td> <td>16回</td> <td>64.0%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>25回</td> <td>22回</td> <td>88.0%</td> </tr> </tbody> </table>			区分	成果指標		達成率	目標値	実績等	H30	50回	45回	90.0%	R1	50回	33回	66.0%	R2	50回	15回	30.0%	R3	25回	16回	64.0%	R4	25回	22回	88.0%	
区分	成果指標		達成率																											
	目標値	実績等																												
H30	50回	45回	90.0%																											
R1	50回	33回	66.0%																											
R2	50回	15回	30.0%																											
R3	25回	16回	64.0%																											
R4	25回	22回	88.0%																											
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症予防の影響等により、公演等事業が中止となったものもあることから、開催回数や参加人数は当初の予定に達することができなかった。 今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、市民の芸術文化活動展開のため、事業を進めていく必要がある。																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	5,000,000	4,999,500			4,999,500																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業																																																																													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																																												
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																																												
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する																																																																												
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99																																																																													
目的及び事業内容	芸術文化は、豊かな人間性を涵養し、協働・共生する社会の基盤となり、市の活性化に資することから、市内の伝統文化の継承、文化活動の振興、新しい文化の創造の推進、市民の芸術文化の向上を図る必要がある。そのため、石巻市域の芸術文化の振興及び発展を図るための活動を行っている石巻市文化協会へ補助金を交付し、活動の活性化を促す。																																																																																
取組実績	1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的により設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流。 (4) 歴史・伝統・文化を活かした街づくりの推進に寄与する。																																																																																
	2 石巻市文化協会の概要																																																																																
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>設立趣意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上</td> </tr> </tbody> </table>					名称	設立年月日	設立趣意	石巻市文化協会	平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上																																																																						
	名称	設立年月日	設立趣意																																																																														
石巻市文化協会	平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上																																																																															
3 補助金交付 市内7地区の文化協会への運営補助金として、統括する石巻市文化協会へ、678,500円の補助金を交付した。																																																																																	
成果	補助金を交付することで石巻市文化協会の運営のための会員を確保することができ、芸術文化の普及、振興と向上に寄与するための活動を行う人々のサポートが出来た。																																																																																
	1 各地区ごとの団体数及び会員数																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">地区</th> <th colspan="2">石巻</th> <th colspan="2">河北</th> <th colspan="2">雄勝</th> <th colspan="2">河南</th> </tr> <tr> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>55団体</td> <td>2,459人</td> <td>29団体</td> <td>266人</td> <td>9団体</td> <td>79人</td> <td>28団体</td> <td>250人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>57団体</td> <td>1,591人</td> <td>29団体</td> <td>252人</td> <td>9団体</td> <td>93人</td> <td>28団体</td> <td>380人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>57団体</td> <td>1,557人</td> <td>30団体</td> <td>277人</td> <td>9団体</td> <td>88人</td> <td>25団体</td> <td>335人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>51団体</td> <td>1,284人</td> <td>29団体</td> <td>254人</td> <td>10団体</td> <td>96人</td> <td>23団体</td> <td>438人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>54団体</td> <td>1,305人</td> <td>25団体</td> <td>220人</td> <td>8団体</td> <td>114人</td> <td>18団体</td> <td>340人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	地区		石巻		河北		雄勝		河南		団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	H30	55団体	2,459人	29団体	266人	9団体	79人	28団体	250人			R1	57団体	1,591人	29団体	252人	9団体	93人	28団体	380人			R2	57団体	1,557人	30団体	277人	9団体	88人	25団体	335人			R3	51団体	1,284人	29団体	254人	10団体	96人	23団体	438人			R4	54団体	1,305人	25団体	220人	8団体	114人	18団体	340人		
	年度	地区		石巻			河北		雄勝		河南																																																																						
団体		会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員																																																																							
H30	55団体	2,459人	29団体	266人	9団体	79人	28団体	250人																																																																									
R1	57団体	1,591人	29団体	252人	9団体	93人	28団体	380人																																																																									
R2	57団体	1,557人	30団体	277人	9団体	88人	25団体	335人																																																																									
R3	51団体	1,284人	29団体	254人	10団体	96人	23団体	438人																																																																									
R4	54団体	1,305人	25団体	220人	8団体	114人	18団体	340人																																																																									
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">地区</th> <th colspan="2">桃生</th> <th colspan="2">北上</th> <th colspan="2">牡鹿</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> <th>団体</th> <th>会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>23団体</td> <td>307人</td> <td>7団体</td> <td>41人</td> <td>5団体</td> <td>84人</td> <td>156団体</td> <td>3,486人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22団体</td> <td>286人</td> <td>8団体</td> <td>41人</td> <td>5団体</td> <td>78人</td> <td>158団体</td> <td>2,721人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>23団体</td> <td>329人</td> <td>8団体</td> <td>41人</td> <td>5団体</td> <td>87人</td> <td>157団体</td> <td>2,714人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>22団体</td> <td>273人</td> <td>8団体</td> <td>41人</td> <td>5団体</td> <td>87人</td> <td>148団体</td> <td>2,473人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>19団体</td> <td>258人</td> <td>5団体</td> <td>30人</td> <td>5団体</td> <td>87人</td> <td>134団体</td> <td>2,354人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	地区		桃生		北上		牡鹿		合計		団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	H30	23団体	307人	7団体	41人	5団体	84人	156団体	3,486人			R1	22団体	286人	8団体	41人	5団体	78人	158団体	2,721人			R2	23団体	329人	8団体	41人	5団体	87人	157団体	2,714人			R3	22団体	273人	8団体	41人	5団体	87人	148団体	2,473人			R4	19団体	258人	5団体	30人	5団体	87人	134団体	2,354人		
	年度	地区		桃生			北上		牡鹿		合計																																																																						
団体		会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員																																																																							
H30	23団体	307人	7団体	41人	5団体	84人	156団体	3,486人																																																																									
R1	22団体	286人	8団体	41人	5団体	78人	158団体	2,721人																																																																									
R2	23団体	329人	8団体	41人	5団体	87人	157団体	2,714人																																																																									
R3	22団体	273人	8団体	41人	5団体	87人	148団体	2,473人																																																																									
R4	19団体	258人	5団体	30人	5団体	87人	134団体	2,354人																																																																									
成果に係る評価	石巻市文化協会の運営を支援することで、石巻圏域の芸術文化活動、芸術文化の発展を推進し、適正かつ円滑な実施が図られることから、今後も事業を継続していく必要がある。 また、昨年度と比較すると、石巻地区は団体数及び会員数ともに増加となり、雄勝地区も会員数が増加したものの、牡鹿地区を除くその他の地区で、団体数及び会員数が減少する結果となった。会員の高齢化や後継者不足の加速、コロナ禍による活動制限などが要因と考えられるため、そうしたことを考慮しながら、加盟団体数の増加を文化協会に促し、活動を支援していく必要がある。																																																																																
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																											
	679,000	678,500			678,500																																																																												

予算科目	10 款	教育費	事業名	家庭教育学級開設事業																																						
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																					
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																					
	事業	家庭教育学級開設費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																																					
担当部課	教育委員会石巻中央公民館	実施計画掲載ページ		P97																																						
目的及び事業内容	<p>保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。</p> <p>実施機関（幼稚園、保育所・学校単位）ごとに、中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																									
取組実績	<p>学校や地域との連携を深め、地域のニーズに対応した講師や内容を検討し、充実した効果的な事業を行うことで、子育てのあり方や家庭教育の重要性について認識が深まった。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校 3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開設機関区分</th> <th>実施機関数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>35 機関</td> <td>61 回</td> <td>3,500 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>6 機関</td> <td>8 回</td> <td>404 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>2 機関</td> <td>4 回</td> <td>232 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>7 機関</td> <td>13 回</td> <td>690 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>4 機関</td> <td>5 回</td> <td>182 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>2 機関</td> <td>4 回</td> <td>212 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>4 機関</td> <td>7 回</td> <td>183 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60 機関</td> <td>102 回</td> <td>5,403 人</td> </tr> </tbody> </table>						開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数	石巻地区	35 機関	61 回	3,500 人	河北地区	6 機関	8 回	404 人	雄勝地区	2 機関	4 回	232 人	河南地区	7 機関	13 回	690 人	桃生地区	4 機関	5 回	182 人	北上地区	2 機関	4 回	212 人	牡鹿地区	4 機関	7 回	183 人	計	60 機関	102 回	5,403 人
	開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数																																						
石巻地区	35 機関	61 回	3,500 人																																							
河北地区	6 機関	8 回	404 人																																							
雄勝地区	2 機関	4 回	232 人																																							
河南地区	7 機関	13 回	690 人																																							
桃生地区	4 機関	5 回	182 人																																							
北上地区	2 機関	4 回	212 人																																							
牡鹿地区	4 機関	7 回	183 人																																							
計	60 機関	102 回	5,403 人																																							
成果	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも、前年度と比較すると実施機関は12機関の増、実施回数も29回の増であった。受講生の評価ポイントも高く、目標値をほぼ達成している。実施機関においてはそれぞれ工夫しながら学習会を設定し、保護者同士の交流の場ともなっており、身近な地域における家庭教育支援の基盤が確立された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標（実施機関数）</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>86機関</td> <td>48機関</td> <td>55.8%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>88機関</td> <td>60機関</td> <td>68.2%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標（受講生評価ポイント）</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>94ポイント</td> <td>93ポイント</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>95ポイント</td> <td>94ポイント</td> <td>98.9%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	活動指標（実施機関数）		達成率	目標値	実績	R3	86機関	48機関	55.8%	R4	88機関	60機関	68.2%	区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率	目標値	実績	R3	94ポイント	93ポイント	98.9%	R4	95ポイント	94ポイント	98.9%								
区分	活動指標（実施機関数）		達成率																																							
	目標値	実績																																								
R3	86機関	48機関	55.8%																																							
R4	88機関	60機関	68.2%																																							
区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率																																							
	目標値	実績																																								
R3	94ポイント	93ポイント	98.9%																																							
R4	95ポイント	94ポイント	98.9%																																							
成果に係る評価	<p>本事業は、身近な地域における家庭教育支援の基盤となる事業であり、実施機関では年間行事を踏まえ、それぞれ工夫しながら学習会を開催している状況である。依然としてコロナ感染症の影響を受けつつも、実施機関数が増加し、実施回数については概ね目標値と同等である。</p> <p>活動指標としている実施機関数の増を図るため、未開設の公立保育所及び私立幼稚園・保育所への開設に向けた働き掛けを行っているが、開設には至っていない機関があるため、今後も引き続き働きかけていくこととしている。</p> <p>実施機関では年間行事を踏まえ、それぞれ工夫しながら学習会を実施しており、また、学習内容や学習方法もより多様化するなか、一層の充実を図るため、各実施機関での更なる工夫を働き掛けることが必要である。</p>																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	980,000	524,000	349,000			175,000																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	ブックスタート事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進		
	事業	子ども読書活動推進費		(2)	読書の推進・環境を整備する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P100			
目的及び事業内容	<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、3・4か月児健診の機会に乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、乳幼児に絵本との出会いの機会を創出する。また、保護者に対して絵本の選び方や読み聞かせの方法を知らせながら読書活動の啓蒙を図る。</p> <p>3・4か月児健診（本庁、河北、河南地区）時にボランティアの読み聞かせを実施し、ブックスタートパック（絵本、読書の手引き、図書館の案内等）を配布する。また、ボランティアのスキルアップを図るための研修会を開催する。</p>						
取組実績	<p>健康推進課で行っている3・4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、ボランティアが読み聞かせを行い、ブックスタートパックを配布していたが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、ボランティアによる読み聞かせは行わず、保健師からブックスタートパックの配布のみ行った。</p> <p>また、ボランティア向け研修会を3回開催した。</p> <p>ブックスタートパック配布数 670セット ブックスタートボランティア会員数 17人</p>						
	成果	<p>絵本の読み聞かせをすることはできなかったが、健康推進課保健師の協力によりブックスタートパックの配布を行い、保護者に対して乳幼児期からの読書活動の啓蒙が図られた。配布時のアンケートによると「ブックスタートにより、子どもへの読み聞かせにつながる」と98.5%の保護者が回答している。</p>					
成果に係る評価	<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進に向けて、事業を継続する必要がある。</p>						
予算の執行状況	（単位：円）						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,497,000	1,248,416	37,000		1,200,416	11,000	

予算科目	10 款	教育費	事業名	ふるさと子どもカレッジ事業																																								
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																							
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																							
	事業	協働教育推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																																							
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P96																																								
目的及び事業内容	地域の企業等の協力のもと、石巻の自然・文化・歴史を活かした体験活動を取り入れた講座を開設することにより、子どもたちの豊かな心を育み、自らの故郷について知り、学ぶ機会を創出することを目的とし、市内小学校に通う5・6年生を対象に参加者を募り、年間7回程度、市内各地区の特色を活かした体験活動を実施する。																																											
取組実績	1 活動実績 (1) 参加者数【目標：30人】																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>14人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>8人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>								地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	人数	14人	0人	1人	8人	2人	0人	0人	25人																		
	地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																			
人数	14人	0人	1人	8人	2人	0人	0人	25人																																				
(2) 活動実績																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>活動内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>・開校式 ・ジュニア・リーダーと交流しよう ・齋藤氏庭園見学</td> <td>7/24</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>・石巻工業港クルーズ+工場見学</td> <td>8/9</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>・北上川分流くだり+分流通見学</td> <td>8/22</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>・風力発電出前授業+施設見学</td> <td>9/10</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>・新しい農業施設見学+収穫・出荷作業体験</td> <td>10/29</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>・ホタテ養殖施設見学+ホタテ貝さし体験</td> <td>11/26</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>・おしかホエールランド見学 ・閉校式</td> <td>12/10</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>延べ</td> <td>134人</td> </tr> </tbody> </table>								No	活動内容	開催日	参加者数	1	・開校式 ・ジュニア・リーダーと交流しよう ・齋藤氏庭園見学	7/24	20人	2	・石巻工業港クルーズ+工場見学	8/9	18人	3	・北上川分流くだり+分流通見学	8/22	20人	4	・風力発電出前授業+施設見学	9/10	21人	5	・新しい農業施設見学+収穫・出荷作業体験	10/29	15人	6	・ホタテ養殖施設見学+ホタテ貝さし体験	11/26	21人	7	・おしかホエールランド見学 ・閉校式	12/10	19人				延べ	134人
No	活動内容	開催日	参加者数																																									
1	・開校式 ・ジュニア・リーダーと交流しよう ・齋藤氏庭園見学	7/24	20人																																									
2	・石巻工業港クルーズ+工場見学	8/9	18人																																									
3	・北上川分流くだり+分流通見学	8/22	20人																																									
4	・風力発電出前授業+施設見学	9/10	21人																																									
5	・新しい農業施設見学+収穫・出荷作業体験	10/29	15人																																									
6	・ホタテ養殖施設見学+ホタテ貝さし体験	11/26	21人																																									
7	・おしかホエールランド見学 ・閉校式	12/10	19人																																									
			延べ	134人																																								
成果	<p>参加者数は、感染症の影響によるイベント等への参加控への世情も相まって、目標に達しなかったが、参加者満足度については目標を達成することができた。本人及び保護者に対して行ったアンケートの結果、「活動で学んだことが学校の授業でも役立った。」「普段関わりのない学校の子と活動する中で、協力することや思いやりを学んだ。」「家で活動内容について目を輝かせて話してくれた。親の知らないところでの成長を感じた。」といった感想が多く、総じて好評であった。</p> <p>※ 参加者満足度（全活動終了後に行った参加者アンケートより）【目標値：100%】</p> <p>質問事項 「ふるさと子どもカレッジ」は楽しかったですか？</p> <p>選択肢 ア 楽しかった イ まあまあ楽しかった ウ あまり楽しくなかった エ 楽しくなかった</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>ア</th> <th>イ</th> <th>ウ</th> <th>エ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答者数</td> <td>20人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者満足度 100% ※（ア、イを選択した者）／（全回答者数）×100</p>								選択肢	ア	イ	ウ	エ	回答者数	20人	5人	0人	0人																										
選択肢	ア	イ	ウ	エ																																								
回答者数	20人	5人	0人	0人																																								
成果に係る評価	<p>学校外の集団活動を通して協調性を育んだり、地域に根差す企業の活動を見る・体験することで、石巻を知り、考え、そしてこれからの石巻を創るための学習に子どもの時代から取り組める貴重な機会となる事業であるので、継続していく必要がある。</p> <p>そのためにも、目標値に達していない参加者数を増やすために、活動日の設定をなるべく学校行事と重複しない季節に集中して開催することでより参加しやすい環境を整えることや、リピート参加が期待できる5年生への事業PRについて研究していく必要があると考える。また、活動内容に関しても、引き続き満足度の高い内容を提供していくために、官民学連携やICT推進関連の各関係機関と連携し、より多種多様な企画を研究していく。</p>																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	98,000	95,426	63,000			32,426																																						

予算科目	10 款	教育費	事業名	協働教育推進事業																																																																																									
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																																																								
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																																																																								
	事業	協働教育推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																																																																																								
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P96																																																																																									
目的及び事業内容	<p>「子どもたちの抱えるいじめ、不登校、学力や体力の低下等の諸問題の解決」並びに「生きる力をはぐくむ教育活動の充実・改善」という課題解決に向けて、「学校・地域・家庭が、それぞれの機能を果たしながら協働し、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではぐくむ協働教育」を推進する。</p> <p>学校・地域・家庭をつなぐ仕組みづくり、協働した教育活動を実施する。</p>																																																																																												
取組実績	○ 協働教育推進事業 活動実績（市内15小学校区推進協議会で実施）																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>学校区名</th> <th>事業内容</th> <th>事業回数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>湊小学校区</td> <td>お口の健康教室、BFC活動、野口英世出前授業</td> <td>47回</td> <td>295人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>稲井小学校区</td> <td>伝統を受け継ごう（和太鼓）、点字・手話体験活動、福利り体験</td> <td>29回</td> <td>211人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>飯野川小学校区</td> <td>法印神楽、木工教室、北上川探検かき養殖体験</td> <td>30回</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>河北中学校区</td> <td>不審者対応避難訓練夏休み学習会、伝統芸能</td> <td>11回</td> <td>211人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>北上中学校区</td> <td>PTA奉仕作業、SNS安全利用講習会、白浜海岸清掃</td> <td>16回</td> <td>360人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>須江小学校区</td> <td>情報モラル研修会、地域の農業、防災マップ作製</td> <td>44回</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>北村小学校区</td> <td>旭山音頭練習会、手作り弁当調理実習、まち探検</td> <td>45回</td> <td>675人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>桃生小学校区</td> <td>稲作体験、はねこ踊り伝承活動、地域産業調査</td> <td>37回</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>住吉中学校区</td> <td>喫煙防止教室、親になるための講話、情報モラル教室</td> <td>9回</td> <td>481人</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>湊中学校区</td> <td>キャッチハンディ体験、保健講話、野菜作り</td> <td>28回</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>石巻小学校区</td> <td>BFC活動、自然体験学習、防災マップ作り</td> <td>14回</td> <td>88人</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>住吉小学校区</td> <td>町探検、お口の健康教室、親子防災教室</td> <td>232回</td> <td>1,167人</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>広瀬小学校区</td> <td>鹿嶋ばやし指導、稲作体験、親子学び講演会</td> <td>48回</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>鮎川小学校区</td> <td>季節探し（野菜）、社歴鑑鏡太鼓練習、磯の自然体験学習</td> <td>27回</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>雄勝中学校区</td> <td>輪太鼓演奏による表現活動、地域体験活動（漁業体験等）</td> <td>32回</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計</td> <td>649回</td> <td>4,099人</td> </tr> </tbody> </table>							No	学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数	1	湊小学校区	お口の健康教室、BFC活動、野口英世出前授業	47回	295人	2	稲井小学校区	伝統を受け継ごう（和太鼓）、点字・手話体験活動、福利り体験	29回	211人	3	飯野川小学校区	法印神楽、木工教室、北上川探検かき養殖体験	30回	92人	4	河北中学校区	不審者対応避難訓練夏休み学習会、伝統芸能	11回	211人	5	北上中学校区	PTA奉仕作業、SNS安全利用講習会、白浜海岸清掃	16回	360人	6	須江小学校区	情報モラル研修会、地域の農業、防災マップ作製	44回	69人	7	北村小学校区	旭山音頭練習会、手作り弁当調理実習、まち探検	45回	675人	8	桃生小学校区	稲作体験、はねこ踊り伝承活動、地域産業調査	37回	73人	9	住吉中学校区	喫煙防止教室、親になるための講話、情報モラル教室	9回	481人	10	湊中学校区	キャッチハンディ体験、保健講話、野菜作り	28回	138人	11	石巻小学校区	BFC活動、自然体験学習、防災マップ作り	14回	88人	12	住吉小学校区	町探検、お口の健康教室、親子防災教室	232回	1,167人	13	広瀬小学校区	鹿嶋ばやし指導、稲作体験、親子学び講演会	48回	85人	14	鮎川小学校区	季節探し（野菜）、社歴鑑鏡太鼓練習、磯の自然体験学習	27回	65人	15	雄勝中学校区	輪太鼓演奏による表現活動、地域体験活動（漁業体験等）	32回	89人				合計	649回	4,099人
	No	学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数																																																																																								
1	湊小学校区	お口の健康教室、BFC活動、野口英世出前授業	47回	295人																																																																																									
2	稲井小学校区	伝統を受け継ごう（和太鼓）、点字・手話体験活動、福利り体験	29回	211人																																																																																									
3	飯野川小学校区	法印神楽、木工教室、北上川探検かき養殖体験	30回	92人																																																																																									
4	河北中学校区	不審者対応避難訓練夏休み学習会、伝統芸能	11回	211人																																																																																									
5	北上中学校区	PTA奉仕作業、SNS安全利用講習会、白浜海岸清掃	16回	360人																																																																																									
6	須江小学校区	情報モラル研修会、地域の農業、防災マップ作製	44回	69人																																																																																									
7	北村小学校区	旭山音頭練習会、手作り弁当調理実習、まち探検	45回	675人																																																																																									
8	桃生小学校区	稲作体験、はねこ踊り伝承活動、地域産業調査	37回	73人																																																																																									
9	住吉中学校区	喫煙防止教室、親になるための講話、情報モラル教室	9回	481人																																																																																									
10	湊中学校区	キャッチハンディ体験、保健講話、野菜作り	28回	138人																																																																																									
11	石巻小学校区	BFC活動、自然体験学習、防災マップ作り	14回	88人																																																																																									
12	住吉小学校区	町探検、お口の健康教室、親子防災教室	232回	1,167人																																																																																									
13	広瀬小学校区	鹿嶋ばやし指導、稲作体験、親子学び講演会	48回	85人																																																																																									
14	鮎川小学校区	季節探し（野菜）、社歴鑑鏡太鼓練習、磯の自然体験学習	27回	65人																																																																																									
15	雄勝中学校区	輪太鼓演奏による表現活動、地域体験活動（漁業体験等）	32回	89人																																																																																									
			合計	649回	4,099人																																																																																								
○ 協働教育コーディネーターを、市内全33小学校の教職員計33人に委嘱。																																																																																													
○ 学校支援地域コーディネーターを、市内各小・中学校区の地域住民等計25人に委嘱。																																																																																													
成果	<p>3年間継続の本事業において、令和4年度は終了した5校に代わり新たに5校の新規実施校を加え、合計15校の小・中学校区で事業を実施することができた。実施校では、地域の住民と協働した教育が行われ、児童生徒にとっては、郷土芸能や地産産業などの理解を深める有意義な活動になった。</p> <p>実施校より提出された成果報告からは、学校と地域が連携・協働することにより、地域の子どもの健やかな成長を支えていることがうかがえた。また、協働教育コーディネーターから提出された各校で実施した協働教育事業について、実践報告集としてとりまとめ、市内全小・中学校に配布することで協働教育に対する機運向上が図られた。</p> <p>学校支援地域コーディネーターについては、スキルアップを図るための各種研修会への積極的な参加を促し、子どもを中心とした地域づくりの担い手としても学校の教育活動の充実に寄与した。</p>																																																																																												
成果に係る評価	<p>協働教育推進事業は、子どもたちを中心とした多種多様な活動を、学校・家庭・地域が連携して実施していくことで子どもたちの学習活動の質を高め、多様な人との関わりや体験をとおした豊かな心の育成が期待出来るだけでなく、普段学校とは関わりが少ない地域住民にも、地域の子どもの存在や学校活動に興味関心をもってもらえる機会の一つとなり、地域づくりに繋げていくことのできるものであることから継続が必要である。</p> <p>今後は、地域学校協働活動をより充実したものにしていくため、学校と地域の橋渡し役となる学校支援地域コーディネーターの全校配置を見据えながら、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動との一体的推進について検討していく。</p>																																																																																												
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
	2,538,000	2,141,208	1,202,000			939,208																																																																																							

予算科目	10 款	教育費	事業名	放課後子ども教室推進事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進		
	事業	放課後子ども教室推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P96			
目的及び事業内容	<p>子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。</p> <p>市内小学校区において、公共施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得ながら、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。</p>						
取組実績	1 和 کوچکクラブ（運営：河南地域住民自治協議会和渚地区部会）						
	(1) 対象児童 和渚小学校区児童（主に、和渚小学校1年生～3年生）						
	(2) 活動実績						
		活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）		
	伝統遊び、農作業など	15日	232人	146人			
取組実績	2 上釜子ども教室（運営：上釜町内会、NPO法人にじいろクレヨン）						
	(1) 対象児童 上釜子ども会						
	(2) 活動実績 休止（新型コロナウイルス感染症の影響により）						
	3 放課後子ども教室 Bremen（運営：放課後こどもクラブ Bremen）						
取組実績	(1) 対象児童 石巻小学校区児童						
	(2) 活動実績						
		活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）		
		体験活動、学習支援など	38日	407人	171人		
取組実績	4 チャレンジキッズ in へびた（運営：CSサポートみやぎ）【令和4年度新規開講】						
	(1) 対象児童 蛇田小学校区児童						
	(2) 活動実績						
		活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）		
	体験活動、学習支援など	6日	101人	26人			
取組実績			参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）			
	4教室の合計		740人	343人			
成果	一部、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた活動を中止せざるを得なかった教室もあるが、概ね予定どおり、地域住民等の理解・参画を得ながら、放課後や休日を活用した各種活動を行うことができた。教室に参加した子どもたちも、異年齢交流をとおして、思いやりの気持ちが育まれている様子が見られた。						
成果に係る評価	<p>活動を通して、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育むことができ、また、地域の大人の積極的な参画により地域コミュニティの充実も図られたと考える。</p> <p>地域の方々も協力を惜みず、本事業に参画することに生きがいを見出し、地域の教育力の向上にも繋がることから継続が必要な事業である。</p> <p>今後も、各教室と連携し、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境を地域の中につくっていきけるよう地域住民の理解と協力を得る必要がある。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	909,000	463,384	308,000			155,384	

予算科目	10 款	教育費	事業名	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」普及啓発推進事業		
	6 項	社会教育費	総合計画	第 章		
	2 目	文化財保護費		第 節		
	事業	文化財保護管理費		()		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ				
目的及び事業内容	<p>令和4年7月29日に本市の構成文化財群「金華山詣」「金華山道」が宮城県涌谷町、気仙沼市、南三陸町、岩手県陸前高田市、平泉町の2市3町を構成市町とする日本遺産「みちのくGOLD浪漫」への追加認定を受けたことに伴い、市民をはじめ国内外への「認知」を主眼にした当該事業に係る普及啓発活動を実施する。</p>					
取組実績	年度途中での追加認定、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会への加入により、翌年度から本格的に事業を推進していく上での整備、取組を実施した。					
	1 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会への加入					
	概要：9月5日（月）令和4年度日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会総会において承認					
	2 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」追加認定記念式典開催					
取組実績	日 時：11月7日（月）					
	場 所：ホエールタウンおしか					
	参加者：59名（一般観覧者を含めると約100名が参加）					
	内 容：追加認定証交付式のほかオープニングアクトとして鮎川小全児童による「牡鹿銀鱗太鼓」が披露された。					
取組実績	3 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」WEBサイトへの追加掲載（5か国語の多言語化含む）					
	概要：構成文化財、観光スポット等をWEBサイトへ掲載					
	（5か国語：日本語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、英語、タイ語）					
	委託期間：R4.8.22～R5.2.28まで					
取組実績	委託費用：3,475,450円					
	4 追加認定に伴う懸垂幕、横断幕、のぼり旗等作製、掲示					
	概要：懸垂幕1枚、横断幕2枚、のぼり旗20枚を作製し、本庁舎、ホエールタウンおしか観光物産交流施設Cottu内、一般社団法人石巻観光協会などに配布の上掲示した。					
	委託費用：203,500円					
成果	翌年度からの事業の本格実施に向け、事業に係る推進は、一定程度実施することができた。					
成果に係る評価	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会の構成員として、WEBサイトの整備等、必要最小限の整備は実施できた。次年度は構成文化財の案内板等のハード整備や市民講座等のソフト事業の開催等、博物館、公民館、図書館、観光課、牡鹿総合支所地域振興課等と連携して事業展開していく必要がある。					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	3,678,950	3,678,950				3,678,950

予算科目	10 款	教育費	事業名	読書環境整備事業〔復興基金〕															
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち														
	4 目	図書館費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進														
	事業	図書館活動費		(2)	読書の推進・環境を整備する														
担当部課	教育委員会図書館	実施計画掲載ページ		P100															
目的及び事業内容	図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。																		
取組実績	読書環境整備事業を実施した。 1 図書の整備 新刊書・児童書・郷土関係資料を中心に、図書館で選定した図書を購入するとともに、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、利用に供した。自館の資料で対応できないリクエストには宮城県図書館等他館から借受けて対応した。新型コロナウイルス感染拡大により中止していた除籍本の無償譲渡について、密を避けるため通年で試行した。 2 子どもの読書推進事業 本館・河北分館において、ボランティアとの協働により「おはなし会」を実施した。 また、出張図書館「えほんびより」は団体及び利用者からの要望を受け、子育て支援センター以外の施設において読み聞かせを行うとともに、保護者に対して絵本の選び方や読み方を指導し、読書習慣の重要性を周知した。 3 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書室の充実に向け、学校司書の研修を行った。 4 講座・教室・企画展の実施 文化の日になむ行事や企画展等を行い、生涯学習機会の提供及び読書の推進を図った。包括連携を結んでいる㈱ポプラ社と協力し、石ノ森萬画館と運動した企画展ほかワークショップ等を行った。																		
成果	1 図書の整備 <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,287冊</td> <td>6,377冊</td> <td>7,517冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>216,994冊</td> <td>259,959冊</td> <td>265,416冊</td> </tr> </table> 2 子どもの読書推進事業 おはなし会の開催(本館、河北分館) 延参加者数659人 出張図書館「えほんびより」の開催 9団体延参加者数367人 3 学校支援事業 学級貸出し 小学校8校 6,180冊 学習支援貸出し 小学校5校 中学校1校 300冊 学校司書研修 2回(オリエンテーション、2市1町による石巻地区学校図書館研修会) 4 講座・教室・企画展の実施 ㈱ポプラ社との包括連携による企画展等の開催 ・「ポプラ社の社長は石巻出身! withゾロリ展」(4月23日～7月3日) 2,727人来館 ・「絵本の図鑑パネル展」(11月26日～翌年1月8日) 1,831人来館 ・「ねずみくん読み聞かせ会&缶バッジ作りワークショップ」(12月10、24日) 13組31人参加							区分	R2	R3	R4	図書購入冊数	6,287冊	6,377冊	7,517冊	貸出冊数	216,994冊	259,959冊	265,416冊
区分	R2	R3	R4																
図書購入冊数	6,287冊	6,377冊	7,517冊																
貸出冊数	216,994冊	259,959冊	265,416冊																
成果に係る評価	・利用者にとって魅力ある資料の収集と、その情報発信、また、相互貸借サービスの利用などを通じ貸出冊数は前年度と比べて増加した。市民の読書活動推進のため、今後も引き続き利用推進を図る必要がある。 ・除籍本の無償譲渡を通年試行したことで、利用者の利便性と廃棄本の有効活用を図ることができた。 今後は試行の検証を行い、実施方法を検討していく。 ・「えほんびより」の実施団体を昨年度の7団体から9団体へ拡大させ、子供の読書活動を推進することができた。今後もおはなし会など読み聞かせ事業を継続し、乳幼児期から本に親しめる場を提供する必要がある。 ・企画展等においては図書館の取組みを広く知ってもらうため関連団体との連携推進が必要である。 (単位:円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	26,471,000	26,430,425			12,000,000	14,430,425													

予算科目	10 款	教育費	事業名	博物館資料調査整理事業																																			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																		
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																		
	事業	博物館資料調査整理事業費		(1)	生涯学習環境を強化する																																		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P99																																			
目的及び事業内容	資料の調査・整理を行い、活用できる状態へと整え、市民の財産である文化財の展示・公開を行う。調査成果を市民に還元し、石巻市の歴史・文化を共有することで、地域への興味・関心を高める。毛利コレクション全体像の把握及び現状確認のため、データ等の修復整理作業と資料の整理作業を実施する。あわせて被災資料等収蔵施設に保管されている石巻文化センター所蔵資料及び台帳の整理・調査作業も推進し、文化財の継承を行う。																																						
取組実績	1 毛利コレクション調査・整理 (1) 書簡整理 個人から毛利総七郎・遠藤源七に宛てられた書簡 全3,332点のうち3,150点の写真撮影を実施 (2) 研究資料 全660点の写真撮影・目録作成を実施 (3) 考古資料 地域展「毛利総七郎・遠藤源七の考古コレクション」開催に伴い、1,987点分の目録を作成 (4) アイヌ資料 全711点について、令和4年度より国立アイヌ民俗博物館と合同調査を開始→データは相互共有予定 2 石巻文化センター所蔵資料の再整理 (1) 台帳との照合作業 企画展・特別展事業との兼ね合いから展示予定資料の整理を優先し、R4は保留とした。 (2) 板碑拓本の整理 自治体史編集時に採集した拓本の一部について、法量を計測し、写真撮影を実施した。 3 新収蔵資料の整理 (1) 第4回企画展「石巻の板碑」の開催に伴い、旧町保管の板碑拓本885点を博物館に収蔵した。																																						
成果	1 活動指標：調査件数 令和4年度の調査件数は、博物館が開館し、展示事業が本格化したことに伴い、例年よりも増加した。なお、整理が完了していないことから、アイヌ資料、板碑拓本の件数は今年度の調査件数に含めていない。 2 成果指標：システム登録進捗率（R3までは台帳登録照合件数も含まれる。） 企画展・特別展事業と並行しながら資料調査に取り組んだが、最終は展示業務に注力せざるをえなかったため、調査成果をシステムに登録するには至らなかった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>901件</td> <td>3,093件</td> <td>343.29%</td> <td>1,000件</td> <td>955件</td> <td>95.50%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,000件</td> <td>1,467件</td> <td>146.70%</td> <td>1,000件</td> <td>93件</td> <td>9.30%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,000件</td> <td>5,797件</td> <td>289.85%</td> <td>1,000件</td> <td>357件</td> <td>35.70%</td> </tr> </tbody> </table> ※博物館所蔵資料は、135,000件を超えており、以前から整理に努めていた。電子データとして整理済み資料もあったが、震災により破損。一部データの復旧を行ったもののデータ等の不一致もあり、確認作業も同時で行っている。現時点での登録総数は約4,300件である。							区分	活動指標		達成率	成果指標		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R2	901件	3,093件	343.29%	1,000件	955件	95.50%	R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%	R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%
区分	活動指標		達成率	成果指標		達成率																																	
	目標値	実績		目標値	実績																																		
R2	901件	3,093件	343.29%	1,000件	955件	95.50%																																	
R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%																																	
R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%																																	
成果に係る評価	資料整理には学芸員と会計年度任用職員が協力しながら取り組んでいるが、後者は展示監視員を兼ねているため、企画展開催期間は調査整理に加わることができず、また学芸員の人数・専門分野の不足もあり、調査成果をシステムに登録するためのマンパワーが不足していた。令和5年度は、令和4年度の課題になったマンパワー不足を補うべく、新採学芸員の加入により業務を推進させること、国立アイヌ民族博物館との合同調査をはじめ、他機関との連携に力を入れることで改善したい。 一方、市民の財産である文化財の展示・公開を行うべく、博物館資料の調査・整理を実施し、令和4年度の企画展・特別展を通じて成果の還元に努めた。企画展・特別展事業の来館者満足度がいずれも80%を超える高評価であることを踏まえれば、活動成果が市民が地域への興味・関心を高めることにつながったものと捉えられる。よって、課題を克服しつつ、事業を継続する必要がある。 (単位:円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	7,043,300	6,785,626				6,785,626																																	

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市博物館企画展・特別展事業													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち												
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進												
	事業	博物館運営費		(1)	生涯学習環境を強化する												
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99													
目的及び事業内容	令和3年11月3日に開館した石巻市博物館において、企画展・特別展を年間3回程度開催し、市民に文化・芸術に触れる場を提供することで心の豊かさを醸成する。また、企画展を通じて、博物館所蔵資料や石巻市に関する調査研究の成果を踏まえ、学術的な視点から石巻市の魅力を市民にわかりやすく発信し、市民の地域に対する理解を深める。また、時宜にかなった特別展を開催することで、市民の知的探求心を満たす。																
取組実績	<p>令和4年度企画展・特別展開催実績</p> <p>①企画展「平山郁夫が描いた奥の細道—松尾芭蕉がみた石巻—」 開催期間 令和4年5月20日（土）～6月26日（日） 主催 石巻市博物館 共催（公財）石巻市芸術文化振興財団 協力 平山郁夫シルクロード美術館・平山郁夫美術館 監修 武蔵野美術大学 教授 加藤幸治</p> <p>②特別展「発掘された日本列島2022」 地域展「毛利総七郎・遠藤源七の考古コレクション—明治・大正・昭和戦前期の発掘と蒐集—」 開催期間 令和4年9月17日（土）～10月23日（日） 地域展は11月6日（日）まで 主催 石巻市博物館、文化庁、河北新報社、全国新聞社事業協議会 地域展特別後援 東北大学大学院文学研究科</p> <p>③企画展「石巻の板碑—調査の記録をたどる—」 開催期間 令和5年1月28日（土）～3月26日（日） 主催 石巻市博物館 共催 J S P S 科研費研究（A）「デジタル技術による金石文史料の研究資源化と学融合的歴史叙述への応用研究」（研究代表者：菊地大樹）、J S P S 科研費研究（B）「災害費アーカイブ構築を目的とした市民参加型調査の実践」（研究代表者：上相英之） 特別後援 東京大学資料編纂所</p>																
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>観覧者数（人）</th> <th>満足度（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①企画展「平山郁夫が描いた奥の細道—松尾芭蕉がみた石巻—」</td> <td>1,320</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>②特別展「発掘された日本列島2022」、地域展</td> <td>2,341</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>③企画展「石巻の板碑—調査の記録をたどる—」</td> <td>790</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table> <p>企画展・特別展については、当初計画のとおり3回の開催ができ、観覧者満足度も高く、目的に沿った、地域魅力度や知的好奇心の向上が図られた。</p>					区分	観覧者数（人）	満足度（％）	①企画展「平山郁夫が描いた奥の細道—松尾芭蕉がみた石巻—」	1,320	89	②特別展「発掘された日本列島2022」、地域展	2,341	85	③企画展「石巻の板碑—調査の記録をたどる—」	790	91
区分	観覧者数（人）	満足度（％）															
①企画展「平山郁夫が描いた奥の細道—松尾芭蕉がみた石巻—」	1,320	89															
②特別展「発掘された日本列島2022」、地域展	2,341	85															
③企画展「石巻の板碑—調査の記録をたどる—」	790	91															
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルスの影響が残る中での展示ではあったが、当初の予定通り、企画展2本、特別展1本を開催することができた。また、各展覧会において満足度は80％を超える高い評価を得ることができ、市民に対し文化・芸術に親しむ機会を提供できたものとする。観覧者数は企画展・特別展あわせて4,451人（目標値5,000人）とあまり伸びなかったが、概ね目標値に達した。</p> <p>しかし、博物館の認知度はまだまだ低く、満足度は高いものの、観覧者数が伸びていないことから広報の仕方や情報発信の方法には工夫が必要である。また、博物館の場所が分からない、看板がなく分かりづらいなどの声も多数あり、広報についてはソフト面、ハード面ともに検討が必要である。</p>																
予算の執行状況	（単位：円）																
予算額	14,618,055	決算額	決算額の財源内訳														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
		12,050,260			12,000,000	50,260											

予算科目	10 款	教育費	事業名	河北総合センター管理運営事業																																											
	6 項	社会教育費	総合計画	第 章																																											
	8 目	社会教育施設管理費		第 節																																											
	事業	河北総合センター管理費		()																																											
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ																																													
目的及び事業内容	スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																														
取組実績	<p>指定管理者による管理運営を実施した。</p> <p>1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 (2) 指定管理料 68,546,308円 (3) 指定期間 R3.4.1～R7.3.31（4年間）</p> <p>2 施設管理運営事業 ・ホームページ等を活用し、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報の閲覧など手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。 ・コロナ対策のガイドライン等に則り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 ・災害状況によっては、避難場所となるため、避難所運営における協力及び災害物品などの管理を徹底した。</p> <p>3 利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋含む）</td> <td>25,101人</td> <td>21,811人</td> <td>6,564人</td> <td>11,191人</td> <td>11,299人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>30,161人</td> <td>26,740人</td> <td>15,862人</td> <td>22,749人</td> <td>21,155人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>4,695人</td> <td>3,664人</td> <td>940人</td> <td>1,517人</td> <td>2,147人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>6,898人</td> <td>6,934人</td> <td>5,674人</td> <td>16,072人</td> <td>7,962人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>50,391人</td> <td>41,783人</td> <td>14,564人</td> <td>14,057人</td> <td>21,884人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>117,246人</td> <td>100,932人</td> <td>43,604人</td> <td>65,586人</td> <td>64,447人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	H30	R1	R2	R3	R4	ホール（楽屋含む）	25,101人	21,811人	6,564人	11,191人	11,299人	アリーナ	30,161人	26,740人	15,862人	22,749人	21,155人	トレーニング室	4,695人	3,664人	940人	1,517人	2,147人	柔剣道場	6,898人	6,934人	5,674人	16,072人	7,962人	会議室等その他の部屋	50,391人	41,783人	14,564人	14,057人	21,884人	合計	117,246人	100,932人	43,604人	65,586人	64,447人
区 分	H30	R1	R2	R3	R4																																										
ホール（楽屋含む）	25,101人	21,811人	6,564人	11,191人	11,299人																																										
アリーナ	30,161人	26,740人	15,862人	22,749人	21,155人																																										
トレーニング室	4,695人	3,664人	940人	1,517人	2,147人																																										
柔剣道場	6,898人	6,934人	5,674人	16,072人	7,962人																																										
会議室等その他の部屋	50,391人	41,783人	14,564人	14,057人	21,884人																																										
合計	117,246人	100,932人	43,604人	65,586人	64,447人																																										
成果	<p>指定管理者による施設管理運営を行い、市民のニーズを最大限に反映しつつ堅実な運営が維持できた。</p> <p>令和4年度はコロナ禍3年目となり、利用者もガイドラインに沿った施設利用に順応していたが、利用者は令和3年度と比較し、1,139人減となり、合計で64,447人の利用となった。</p> <p>利用者が減少したものの利用件数は増加したことから、施設の利用料金収入は4,974,230円となり、前年度比較で749,440円の増額となった。</p> <p>また、燃料費の高騰や物価高により光熱水費が増加するなどしたため、コスト抑制に苦慮したことから、2,446,308円増加し、指定管理料の変更を行った。</p>																																														
成果に係る評価	<p>スポーツ活動、文化、学習及び交流活動の普及・振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われた。</p> <p>市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めている。引き続き適正な施設管理運営のため、事業を継続する必要がある。</p> <p>また、運営等について指定管理者と定期的、又は随時協議を行い、施設の管理を行っていく。</p>																																														
予算の執行状況	（単位：円）																																														
予算額	69,100,000	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																									
		68,546,308				68,546,308																																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	河北総合センター施設改修事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち		
	8 目	社会教育施設管理費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進		
	事業	河北総合センター管理費		(1)	生涯学習環境を強化する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 98			
目的及び事業内容	河北総合センターは、地域住民の文化、スポーツ、教育福祉、健康増進を図る活動拠点として運営されている。経年劣化した設備の改修・修繕を行い利用者の利便性を高め、施設の良い維持管理を行う。						
取組実績	<p>1 冷却水循環ポンプ修繕 経年劣化により、館内各所の空調機へ冷水水を供給している冷却水循環ポンプが使用不可となったため、交換修繕を行ったもの。 期間：令和4年10月14日から令和5年3月24日まで 執行額2,937,000円</p> <p>2 アリーナワイヤレスシステム交換 電波法関連法令無線設備規則の改正に基づき新規格へ更新を行ったもの。 期間：令和4年11月8日から令和5年3月24日まで 執行額682,000円</p> <p>3 会議室等音響設備内ワイヤレスマイク等交換 電波法関連法令無線設備規則の改正に基づき新規格へ更新を行ったもの。 期間：令和4年12月19日から令和5年3月24日まで 執行額1,064,140円</p>						
成果	上記3件の設備修繕の実施により、施設の安全性や、利用者の利便性を高めることができた。						
成果に係る評価	災害や経年劣化による破損が相次いでおり、計画的に予防保全型の修繕が望まれるため、石巻市社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画に基づき、事業を継続する必要がある。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,683,140	4,683,140				4,683,140	

予算科目	10 款	教育費	事業名	遊楽館管理運営事業																																																					
	6 項	社会教育費	総合計画	第 章																																																					
	8 目	社会教育施設管理費		第 節																																																					
	事業	遊楽館管理費		()																																																					
担当部課	市民生活部スポーツ振興課 教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ																																																							
目的及び事業内容	スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																								
取組実績	<p>1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 遊楽館 指定管理者：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 指定管理料：86,643,208円 指定期間：R3.4.1～R7.3.31(4年間) (2) 河南室内プール 指定管理者：石巻市スポーツ協会・ミスノグループ 指定管理料：18,012,000円 指定期間：R4.4.1～R9.3.31(5年間)</p> <p>2 施設管理運営事業 (1) 遊楽館 ア ホームページ等で、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報等を掲載し、手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。また、デジタルサイネージを利用し、来館者への催事や利用の案内と併せて地域の天気、防災情報などを提供した。 イ コロナ対策のガイドライン等に則り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>(2) 河南室内プール ア スクール事業の実施など自主事業の宣伝告知に努め、より良いサービスの提供を実施した。 イ 様々な運動プログラムを提供し、利用者のニーズに合わせた健康増進を図った。 ウ コロナ対策のガイドライン等に則り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>3 利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>区 分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">遊楽館</td> <td>ホール・楽屋・リハ室</td> <td>28,306人</td> <td>26,312人</td> <td>8,597人</td> <td>13,785人</td> <td>17,178人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>25,833人</td> <td>22,874人</td> <td>15,850人</td> <td>18,846人</td> <td>22,850人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>6,842人</td> <td>6,494人</td> <td>2,097人</td> <td>1,929人</td> <td>3,205人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>21,272人</td> <td>21,632人</td> <td>6,453人</td> <td>6,804人</td> <td>9,730人</td> </tr> <tr> <td>調理室・多目的室等</td> <td>11,354人</td> <td>11,700人</td> <td>1,496人</td> <td>2,083人</td> <td>6,602人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>93,607人</td> <td>89,012人</td> <td>34,493人</td> <td>43,447人</td> <td>59,565人</td> </tr> <tr> <td>河南室内プール</td> <td>プール</td> <td>31,027人</td> <td>30,335人</td> <td>18,844人</td> <td>14,618人</td> <td>34,684人</td> </tr> </tbody> </table>						施設名	区 分	H30	R1	R2	R3	R4	遊楽館	ホール・楽屋・リハ室	28,306人	26,312人	8,597人	13,785人	17,178人	アリーナ	25,833人	22,874人	15,850人	18,846人	22,850人	トレーニング室	6,842人	6,494人	2,097人	1,929人	3,205人	会議室・和室	21,272人	21,632人	6,453人	6,804人	9,730人	調理室・多目的室等	11,354人	11,700人	1,496人	2,083人	6,602人	合計	93,607人	89,012人	34,493人	43,447人	59,565人	河南室内プール	プール	31,027人	30,335人	18,844人	14,618人	34,684人
施設名	区 分	H30	R1	R2	R3	R4																																																			
遊楽館	ホール・楽屋・リハ室	28,306人	26,312人	8,597人	13,785人	17,178人																																																			
	アリーナ	25,833人	22,874人	15,850人	18,846人	22,850人																																																			
	トレーニング室	6,842人	6,494人	2,097人	1,929人	3,205人																																																			
	会議室・和室	21,272人	21,632人	6,453人	6,804人	9,730人																																																			
	調理室・多目的室等	11,354人	11,700人	1,496人	2,083人	6,602人																																																			
	合計	93,607人	89,012人	34,493人	43,447人	59,565人																																																			
河南室内プール	プール	31,027人	30,335人	18,844人	14,618人	34,684人																																																			
成果	指定管理者による施設管理運営を行い、遊楽館、河南室内プールともに市民ニーズを最大限に反映しつつ堅実な運営が維持できた。一方、燃料費の高騰や物価高により光熱水費が増加するなどしたため、施設運営上、コストの抑制に苦慮したことから、指定管理料の変更(遊楽館は5,443,208円増額、プールは1,512,000円増額)を行った。																																																								
成果に係る評価	スポーツ活動、文化、学習及び交流活動の普及・振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われた。市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めている。引き続き適正な施設管理運営のため、事業を継続する必要がある。また、運営等について指定管理者と定期的、又は随時協議を行い、施設の管理を行っていく。																																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	108,212,000	104,655,208				104,655,208																																																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	かなんパークゴルフ場管理運営事業					
	6 項	社会教育費	総合計画	第 章					
	8 目	社会教育施設管理費		第 節					
	事業	かなんパークゴルフ場運営費		()					
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ							
目的及び事業内容	市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさとふれあいの場を提供し、体力向上や健康増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営を実施する。								
取組実績	1 指定管理者による施設管理運営事業 指定管理者 有限会社ふれあいパーク 指定管理料 12,000,000円 指定期間 R2.4.1～R7.3.31 (5年間)								
	2 施設管理運営事業 ・利用者への指導、講習会（随時） ・各種大会の開催 ・快適なパークゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理）								
	3 利用者の推移								
		H30	R1	R2	R3	R4			
		44,140人	30,439人	29,658人	31,267人	30,555人			
成果	令和4年度の利用者数も、近隣パークゴルフ場への利用者分散や、新型コロナウイルス感染症の影響により伸び悩んだものの、ほぼ前年並みとなっているが、高齢者等をはじめとした利用者の生活習慣病に対する運動療法への活用や公民館の事業などに活用され、一定の市民の健康増進に役立てられた。								
成果に係る評価	指定管理者において消毒や換気など新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生管理に努め、利用者が安心して利用できる環境づくりや利用者拡大が図られた。引き続き、適正な施設管理運営のため事業を継続する必要がある。 また、運営等について指定管理者と随時協議を行い、施設の管理を行っていく。								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	12,013,000	12,013,000					12,013,000		

予算科目	10 款	教育費	事業名	スポーツ振興事業					
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち				
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進				
	事業	体育奨励費		(1)	スポーツ活動を推進する				
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P101					
目的及び事業内容	市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進を目指し、マラソン大会や市民スポーツフェスタ、スポーツ教室等を実施することで、石巻市スポーツ推進計画の到達目標としている、成人の週1回のスポーツ実施率の向上及び子どもたちの体力と運動能力を向上する。								
取組実績	1 いしのまき復興マラソン 全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために、第6回いしのまき復興マラソンを開催した。年齢・性別などに応じて、ウォーキング・ノルディックウォーキング・10km・ハーフの計4種目を実施し、参加者に震災から復興した石巻を見ていただくために、鎮魂の場である石巻南浜津波復興祈念公園に会場として大会を開催した。								
	2 いしのまきキッズ交流大会及び石巻市スポーツ少年団交流大会 市内小中学生と石巻市スポーツ少年団の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携強化を図りながら、スポーツ参加の一翼を担うことを目的として、令和5年3月に実施した。								
	3 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたい小学生を対象に、多種目のスポーツ体験の場を提供するため、平成24年度からNPO法人石巻市スポーツ協会への委託事業として実施し、子どもたちが自分に合った種目を見つけ出すことで、スポーツに取り組む機会の創出を図った。								
	4 体育館スポーツ教室 石巻市総合体育館で一般市民を対象として、バドミントン・卓球教室を平成25年度からNPO法人石巻市スポーツ協会への委託事業として実施し、運動する喜びを感じながら心身ともに健康な体づくりを目指しながら受講生相互のコミュニティ形成を図った。								
成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加人数の減少及び一部の事業を中止したが、実施した事業については一定程度の参加があり、市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進が図られた。								
		年度	復興マラソン	スポーツフェスタ	キッズバラエティ	体育館教室	いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	計	
		R2	中止	112人	677人	1,851人	中止	2,640人	
		R3	中止	153人	838人	2,126人	中止	3,117人	
		R4	2,397人	中止	905人	1,130人	353人	4,785人	
※スポーツフェスタ、キッズバラエティ、体育館教室、いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会の事業経費については、総合体育館の指定管理料から支出している。									
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加人数の減少及び一部の事業を中止したが、実施した事業については一定程度の参加があり、市民の健康づくり、成人のスポーツ実施率の向上と交流促進が図られた。 また、いしのまき復興マラソンにおいては、参加したランナーから様々な意見が寄せられ、今後の実施にむけて改善していく必要がある。 今後とも、市と民間が連携して事業を実施することで、民間事業者のノウハウを生かした事業展開が可能となることから、より効果的でスポーツの魅力を市民へ伝えるイベントに向けた手法検討や運営を実施していく。								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	3,000,000	3,000,000					3,000,000		

予算科目	10 款	教育費	事業名	スポーツ交流事業																														
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																													
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																													
	事業	スポーツ交流推進事業費		(3)	スポーツを通じた交流活動を推進する																													
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 102																														
目的及び事業内容	<p>スポーツ交流イベントを開催することにより、スポーツの楽しさや魅力を体感し、スポーツ交流人口の増加や一体感の醸成を図るとともに、技術の向上と健康増進を図る。</p> <p>市主催のスポーツ交流事業や市内小中学校であすチャレ！スクールを実施するほか、オリンピックとの交流を楽しむオリンピックデーラン、プロスポーツチームとの連携事業等、市外から大勢の参加者を見込めるスポーツ交流事業を実施する。</p>																																	
取組実績	<p>1 陸上競技クリニック in 石巻 (R4.11.3)</p> <p>市内の陸上競技者等を対象に、日本トップクラスの選手を招いて、高度な技術を体感するとともに、参加者各々の技術の向上や陸上競技の楽しさや魅力に触れることを目的としたクリニックを開催した。</p> <p>2 オリンピックデーラン (R4.10.16)</p> <p>オリンピックと一緒に、ジョギングやスポーツ体験のほか、市内の中学校バレーボール部を対象とした教室を開催し、交流を図った。</p> <p>3 あすチャレ！スクール (R4.10.3~10.6)</p> <p>パラスポーツに直に触れ、「共生社会」への気づきや学びの機会を提供するため、パラリンピアンによるデモンストレーションや講話などのプログラムを実施した。</p> <p>4 プロスポーツチームとの交流事業</p> <p>本市とスポーツ交流活動等に関する協定を締結している株式会社ベガルタ仙台並びにマイナビソフトボールクラブやパートナー協定を締結している株式会社楽天野球団と連携し、プロスポーツを見ることでの感動やスポーツを通じた健康増進、青少年の健全育成を図るために各種事業を実施した。</p> <p>(1) ベガルタ仙台との連携事業</p> <p>ア サッカー教室 (R4.9.10/R4.11.19) イ 健康体操教室 (R4.7~R5.3)</p> <p>ウ 親子招待事業 (R4.10.2) エ パブリックビューイング (R4.10.8)</p> <p>(2) マイナビ仙台との連携事業</p> <p>ア 訪問型サッカー教室 (R5.3.1) イ 親子招待事業 (R5.3.5)</p> <p>(3) 楽天野球団との連携</p> <p>ア 親子招待事業 (R4.9.30) イ 野球教室 (R5.2.25)</p> <p>5 いしのまきスポーツコミッション設立</p> <p>スポーツをテーマに、地域の多様な多様な事業者が参加し、経済的効果を発揮しながら地域全体の活性化に取り組む団体として令和5年3月23日に設立した。</p>																																	
成果	<p>プロアスリートやオリンピック、パラリンピアン等との交流を実施することで、スポーツを通じた交流の場を創出することができたとともに、市内のみならず、市外からも交流事業に参加いただいたことでスポーツ交流人口の拡大を図ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>カヌー教室</th> <th>陸上クリニック in 石巻</th> <th>オリンピックデーラン</th> <th>あすチャレ！スクール</th> <th>プロスポーツチームとの交流事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>45人</td> <td>44人</td> <td></td> <td>400人</td> <td>548人</td> <td>1,037人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>76人</td> <td></td> <td>157人</td> <td>299人</td> <td>532人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>72人</td> <td>224人</td> <td>306人</td> <td>396人</td> <td>998人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	カヌー教室	陸上クリニック in 石巻	オリンピックデーラン	あすチャレ！スクール	プロスポーツチームとの交流事業	計	R2	45人	44人		400人	548人	1,037人	R3		76人		157人	299人	532人	R4		72人	224人	306人	396人	998人
年度	カヌー教室	陸上クリニック in 石巻	オリンピックデーラン	あすチャレ！スクール	プロスポーツチームとの交流事業	計																												
R2	45人	44人		400人	548人	1,037人																												
R3		76人		157人	299人	532人																												
R4		72人	224人	306人	396人	998人																												
成果に係る評価	<p>プロアスリートやオリンピック、パラリンピアン等との交流を実施することで、スポーツの楽しさや魅力を伝えるとともに、市民の健康増進や青少年の健全育成が図られた。</p> <p>今後も継続し、多くの市民に参加してもらえるように、チラシ、ポスターやホームページのほか、メディア及びSNSの活用や、市内の各スポーツ団体等に対しても積極的に参加するよう周知方法の改善を行うとともに、各事業ごとにニーズを把握した上で、事業内容の見直しを図りながら、実施していく。</p>																																	
予算の執行状況	(単位: 円)																																	
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
6,930,000	5,019,499			4,400,000	619,499																													

予算科目	10 款	教育費	事業名	桃生植立山公園管理運営事業																																																				
	7 項	保健体育費	総合計画	第 章																																																				
	2 目	体育施設費		第 節																																																				
	事業	植立山公園管理費		()																																																				
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ																																																						
目的及び事業内容	<p>市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。</p>																																																							
取組実績	<p>1 指定管理者による施設運営事業</p> <p>(1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク</p> <p>(2) 指定管理 13,000,000円 (内訳: 基本分11,200,000円、排水不良対策分1,800,000円)</p> <p>(3) 指定期間 令和元年4月1日から令和6年3月31日</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 利用者のサービス向上</p> <p>ア 利用者ニーズの変化を捉えつつ、柔軟に対応し、受付や問い合わせ等において、きめ細やかな心配りを意識した接遇を心がけるなど利用者サービスの向上に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、施設ガイドラインを遵守し安全で、安心して利用できる施設管理運営に努めた。</p> <p>(2) 環境整備</p> <p>ア パークゴルフ場等の芝管理や植栽木の手入れ、松林の除草等を徹底し、利用者がさわやかな気持ちで活動できる環境の整備に心掛けた。</p> <p>また、懸案となっているパークゴルフ場の排水不良対策として、フィールドの土を入れ替えるなど、早期改善に向けた修繕等を行った。</p> <p>イ 住民自治組織「もう夢ネットワーク」で取り組んでいる松林再生事業の協力を行う等、地域と一体となった環境保全活動を実施した。</p>																																																							
成果	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、計画していた指定管理者によるパークゴルフ大会や教室等の自主事業の中には、中止せざるを得ない事業もあったが、社会状況等を重視した上で可能な限り計画事業の実施に取り組み、整備された施設環境やきめ細やかな受付等の対応は、利用者からは好評を得るなど、市民のスポーツ活動を促進させ、地域に貢献できる施設としてスポーツの振興を図った。</p> <p>1 利用者数等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">パークゴルフ場</td> <td>利用者数</td> <td>3,190人</td> <td>3,870人</td> <td>5,344人</td> <td>5,735人</td> </tr> <tr> <td>使用料等</td> <td>758,070円</td> <td>773,340円</td> <td>1,093,900円</td> <td>1,209,760円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">テニスコート</td> <td>利用者数</td> <td>1,007人</td> <td>855人</td> <td>725人</td> <td>731人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>131,300円</td> <td>150,600円</td> <td>104,250円</td> <td>107,850円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ソフトボール場</td> <td>利用者数</td> <td>718人</td> <td>296人</td> <td>693人</td> <td>1,030人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>15,600円</td> <td>6,600円</td> <td>23,100円</td> <td>14,700円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>利用者数</td> <td>4,915人</td> <td>5,021人</td> <td>6,762人</td> <td>7,496人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>904,970円</td> <td>930,540円</td> <td>1,221,250円</td> <td>1,332,310円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考 多目的広場(フリーエリア(使用料:無料))</p>						区 分		R1	R2	R3	R4	パークゴルフ場	利用者数	3,190人	3,870人	5,344人	5,735人	使用料等	758,070円	773,340円	1,093,900円	1,209,760円	テニスコート	利用者数	1,007人	855人	725人	731人	使用料	131,300円	150,600円	104,250円	107,850円	ソフトボール場	利用者数	718人	296人	693人	1,030人	使用料	15,600円	6,600円	23,100円	14,700円	合 計	利用者数	4,915人	5,021人	6,762人	7,496人	使用料	904,970円	930,540円	1,221,250円	1,332,310円
区 分		R1	R2	R3	R4																																																			
パークゴルフ場	利用者数	3,190人	3,870人	5,344人	5,735人																																																			
	使用料等	758,070円	773,340円	1,093,900円	1,209,760円																																																			
テニスコート	利用者数	1,007人	855人	725人	731人																																																			
	使用料	131,300円	150,600円	104,250円	107,850円																																																			
ソフトボール場	利用者数	718人	296人	693人	1,030人																																																			
	使用料	15,600円	6,600円	23,100円	14,700円																																																			
合 計	利用者数	4,915人	5,021人	6,762人	7,496人																																																			
	使用料	904,970円	930,540円	1,221,250円	1,332,310円																																																			
成果に係る評価	<p>指定管理者において消毒や換気など新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生管理に努め、利用者が安心して利用できる環境づくりに取り組んだ。</p> <p>また、利用者ニーズの把握に努め、随時、公園内各施設の芝や植栽の手入れを行い、利用者に対しては、きめ細やかな対応を心掛ける等、利便性の向上に努めることにより利用者数の拡大を図った。</p> <p>引き続き、適正な施設管理運営のため事業を継続する必要がある。</p>																																																							
予算の執行状況	(単位: 円)																																																							
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
13,000,000	13,000,000				13,000,000																																																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	雄勝体育施設管理運営事業																			
	7 項	保健体育費	総合計画	第 章																			
	2 目	体育施設費		第 節																			
	事業	雄勝体育施設管理費		()																			
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ																					
目的及び事業内容		雄勝体育施設（雄勝体育館・雄勝多目的運動広場・雄勝艇庫）は、スポーツを通じて心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上を図り、もってスポーツの日常化と普及振興を推進するとともに、雄勝体育施設の効率的かつ適正な管理運営を実施する。																					
取組実績		<p>1 指定管理者による施設運営事業（令和3年度より継続）</p> <p>(1) 指定管理者 公益社団法人MORIUMIUS（モリウミアス）</p> <p>(2) 指定管理料 15,000,000円</p> <p>(3) 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 雄勝体育館の運営 バレーボール、剣道、バドミントン、卓球、フットサル、太極拳や伊達の黒船太鼓、味噌作愛好会連や雄勝地区文化祭のほか、NPO法人こども∞感ばに一等が子どもの遊び場として利用</p> <p>(2) 雄勝多目的運動広場の運営 ニューススポーツ教室や石巻市消防団雄勝地区技術講習会等で利用</p> <p>(3) 雄勝艇庫の運営 SUP等の貸出及び指導、初心者向け体験会や経験者向けステップアッププログラムの実施、ビーチクリーン活動や安全講習会の開催、インスタグラムやフェイスブック等SNS活用による広報活動、雄勝体育施設を紹介するPRチラシの作成・配布</p> <p>(4) 地域貢献 施設周辺の道路及び海岸付近の清掃、除草、植木の剪定と倒木除去等の実施のほか、荒浜海水浴場、波板海水浴場、白浜海水浴場でビーチクリーン活動を実施</p> <p>(5) 安心安全な管理運営 新型コロナウイルス感染症対策として利用者の検温、消毒、使用した道具や部屋の消毒の実施</p> <p>(6) スタッフの資格取得等（令和4年度実績） SUPベシックインストラクター試験合格（1名）、カヤックベシックインストラクター等試験合格（3名）普通救命講習I修了（1名）、甲種防火管理者講習受講（1名）</p> <p>(7) 利用者支援のための方策 荒浜地区、白浜地区、南三陸町まで活動フィールドを拡大し利用向上に努めるとともに、SUP体験会（自主事業）の開催を3回から25回に増やしマリンスポーツに親しむきっかけ作りを努めた</p> <p>(8) 経費削減のための方策 こまめな節水及び節電、デジタルデータ管理の徹底による不要な印刷削減、道具の自主修理等</p>																					
成果		<p>令和4年度雄勝体育施設利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>体育館</th> <th>多目的運動広場</th> <th>艇庫</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,644人</td> <td>45人</td> <td>198人</td> <td>1,887人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,188人</td> <td>145人</td> <td>160人</td> <td>2,493人</td> </tr> </tbody> </table>						区分	体育館	多目的運動広場	艇庫	計	R3	1,644人	45人	198人	1,887人	R4	2,188人	145人	160人	2,493人	
区分	体育館	多目的運動広場	艇庫	計																			
R3	1,644人	45人	198人	1,887人																			
R4	2,188人	145人	160人	2,493人																			
成果に係る評価		<p>雄勝体育館及び多目的運動広場については、様々なスポーツに親しむ機会やサークル活動の増加等により昨年を上回る利用実績となった。雄勝艇庫の利用者数が若干減少しているが、その要因としては強風等の天候不順やコロナ禍に伴う活動の中止、全国で起きたSUP事故や海難事故の影響、県内のSUP事業者の増加による利用者の分散等と推察されるが、マリンスポーツに親しむための活動フィールドを拡大し、SUP・カヤック体験会を数多く開催する等利用者への支援に努め、地域の団体等と連携し海水浴場のビーチクリーン活動等を実施した。今年オープンする海水浴場や旧北上川等でのSUP体験会、雄勝FORESTキャンプ場とコラボイベント等新たな活動を展開しながら、SNSや旅行サイト等を活用し雄勝体育施設の魅力を県内外に発信することで一層の利用促進を図るとともに、指定管理者との連携を密にしながら適切な施設の管理運営について指導していく必要がある。</p>																					
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,000,000</td> <td>15,000,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15,000,000</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	15,000,000	15,000,000				15,000,000
予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
15,000,000	15,000,000				15,000,000																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合体育館管理運営事業																																																															
	7 項	保健体育費	総合計画	第 章																																																															
	2 目	体育施設費		第 節																																																															
	事業	体育館管理費		()																																																															
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ																																																																	
目的及び事業内容		市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																																	
取組実績		<p>1 指定管理者による施設管理運営事業</p> <p>(1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会</p> <p>(2) 指定管理料 50,649,000円</p> <p>(3) 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日（5年間）</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 利用者のサービス向上 行事予定や大会開催、各種イベントについて、SNSをはじめ、市報、市のホームページを活用し、周知活動に努め、利用者が何を求めているかを知り、意見やクレーム等に対しては迅速な対応を心がけ、再発防止に努めた。</p> <p>(2) スポーツ振興事業の展開 生涯スポーツ社会の実現をめざし、気軽に参加できるスポーツを通じて、地域の交流推進を図るとともに、様々なスポーツ種目への体験の場を提供することにより、スポーツ活動に取り組み機会をつくり、子どもたちの体力向上を目指し公共施設の活用及び石巻市のスポーツ振興の推進を図った。</p>																																																																	
成果		<p>1 スポーツ振興事業の参加者数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツフェスタ</td> <td>112人</td> <td>153人</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>キッズバラエティ</td> <td>677人</td> <td>838人</td> <td>905人</td> </tr> <tr> <td>体育館教室</td> <td>1,851人</td> <td>2,126人</td> <td>1,130人</td> </tr> <tr> <td>いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>353人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,640人</td> <td>3,117人</td> <td>2,388人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 利用者数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人利用者数</td> <td>33,066人</td> <td>24,130人</td> <td>13,342人</td> <td>13,767人</td> <td>9,445人</td> </tr> <tr> <td>回数券利用者数</td> <td>8,417人</td> <td>12,252人</td> <td>10,441人</td> <td>12,306人</td> <td>8,612人</td> </tr> <tr> <td>貸切利用者数</td> <td>46,788人</td> <td>48,055人</td> <td>22,700人</td> <td>30,016人</td> <td>23,414人</td> </tr> <tr> <td>教室参加者数</td> <td>12,791人</td> <td>11,099人</td> <td>7,832人</td> <td>9,803人</td> <td>7,720人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>101,062人</td> <td>95,536人</td> <td>54,315人</td> <td>65,892人</td> <td>49,191人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R2	R3	R4	スポーツフェスタ	112人	153人	中止	キッズバラエティ	677人	838人	905人	体育館教室	1,851人	2,126人	1,130人	いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	中止	中止	353人	合計	2,640人	3,117人	2,388人	区 分	H30	R1	R2	R3	R4	個人利用者数	33,066人	24,130人	13,342人	13,767人	9,445人	回数券利用者数	8,417人	12,252人	10,441人	12,306人	8,612人	貸切利用者数	46,788人	48,055人	22,700人	30,016人	23,414人	教室参加者数	12,791人	11,099人	7,832人	9,803人	7,720人	合計	101,062人	95,536人	54,315人	65,892人	49,191人
区 分	R2	R3	R4																																																																
スポーツフェスタ	112人	153人	中止																																																																
キッズバラエティ	677人	838人	905人																																																																
体育館教室	1,851人	2,126人	1,130人																																																																
いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	中止	中止	353人																																																																
合計	2,640人	3,117人	2,388人																																																																
区 分	H30	R1	R2	R3	R4																																																														
個人利用者数	33,066人	24,130人	13,342人	13,767人	9,445人																																																														
回数券利用者数	8,417人	12,252人	10,441人	12,306人	8,612人																																																														
貸切利用者数	46,788人	48,055人	22,700人	30,016人	23,414人																																																														
教室参加者数	12,791人	11,099人	7,832人	9,803人	7,720人																																																														
合計	101,062人	95,536人	54,315人	65,892人	49,191人																																																														
成果に係る評価		<p>令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響により、アリーナ天井の吊り材落下の危険性があるとの判断から7ヶ月の間アリーナを利用停止としていたため、利用者数等が減少となった。令和5年2月1日よりアリーナの利用を再開したため、利用者数の増加が見込まれる。</p> <p>今後とも、SNSをはじめ、市のホームページ等の啓発活動を行い、スポーツ振興事業の参加者や体育館利用者の増加を図るとともに、民間の柔軟な発想や活力を活かし、多様化する市民ニーズへの対応を図るよう努める必要がある。</p>																																																																	
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50,649,000</td> <td>50,649,000</td> <td></td> <td></td> <td>2,214,000</td> <td>48,435,000</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	50,649,000	50,649,000			2,214,000	48,435,000																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
50,649,000	50,649,000			2,214,000	48,435,000																																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合体育館設備改修事業																			
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																		
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																		
	事業	体育館管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																		
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 101																			
目的及び事業内容	<p>石巻市総合体育館は、昭和55年に竣工し建築後43年が経過しているため、施設全体の老朽化が著しい。 石巻市総合体育館設備改修事業を実施し、利用者が良好な環境で安全に施設利用できるよう設備等の整備を図る。</p>																						
取組実績	令和4年度は、屋上防水改修工事、雨漏り損傷部等補修工事、設備改修（高架水槽・受水槽）工事を実施した。																						
	<p>1 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>R4予算額</th> <th>R4事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>2,800,000</td> <td>2,145,000</td> </tr> <tr> <td>工事（屋上防水）</td> <td></td> <td>74,430,400</td> </tr> <tr> <td>工事（設備改修）</td> <td>111,606,079</td> <td>36,352,800</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>114,506,079</td> <td>113,028,200</td> </tr> </tbody> </table>						費目	R4予算額	R4事業費	消耗品	100,000	100,000	監理	2,800,000	2,145,000	工事（屋上防水）		74,430,400	工事（設備改修）	111,606,079	36,352,800	計	114,506,079
費目	R4予算額	R4事業費																					
消耗品	100,000	100,000																					
監理	2,800,000	2,145,000																					
工事（屋上防水）		74,430,400																					
工事（設備改修）	111,606,079	36,352,800																					
計	114,506,079	113,028,200																					
成果	<p>老朽化が著しく、経年劣化により破断した防水層から発生した雨漏り対策として、屋上防水改修工事を実施した。また、防水改修工事と並行して、老朽化した高架水槽・受水槽改修工事等を実施したことにより、市民が安全・安心かつ良好な環境で施設を使用できるよう整備が図られた。</p>																						
成果に係る評価	<p>今後も、令和3年12月に策定した「社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画」に基づき、計画的な施設改修を図っていく。</p>																						
予算の執行状況	(単位：円)																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
114,506,079	113,028,200		107,200,000		5,828,200																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合運動公園陸上競技場整備事業			
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進		
	事業	総合運動公園管理費		(2)	スポーツ環境を整備する		
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 102			
目的及び事業内容	<p>平成23年3月の東日本大震災により、石巻地域に公認の陸上競技場が無くなり、仙台市や利府町で大会を開催しなければならない状況となっている。 このような状況の中で、石巻市総合運動公園第二工区に第3種公認陸上競技場を建設し、スポーツ施設としての単一機能にとどまらず、地域活性化につながる拠点、石巻圏域の自然や職を活かしたスポーツツーリズムや市民の健康増進の推進、防災公園として、防災機能の補完・強化など多様な機能を担う施設として陸上競技場を整備する。</p>						
取組実績	令和4年度事業実施状況						
	<p>石巻市総合運動公園基本構想策定業務を実施 業務名：石巻市総合運動公園基本構想策定業務（繰越明許） 履行期間：令和3年10月1日から令和4年12月23日まで ・懇談会の実施（4回） ・ワーキング会議（1回） ・スポーツ推進審議会（3回）</p>						
成果	<p>石巻市総合運動公園基本構想策定業務を実施し、「石巻市総合運動公園陸上競技場基本構想」を策定した。 「石巻市総合運動公園陸上競技場基本構想」では、市民のニーズを踏まえながら、陸上競技場建設に向けた課題抽出を行うとともに、実現に向けた「基本理念」と基本となる考え方を示した、4つの「目指すべき方向」、それに基づいた「整備基本方針」を定めた。 【基本理念】 さまざまなスポーツの基本である陸上競技を幼少から身近に体験し、スポーツ振興を通じて、子どもたちの未来を紡ぎ、スポーツ全体の向上と市民の健康増進に寄与する。 【目指すべき方向】 (1) 子どもから高齢者、障がい者等すべての市民が気軽に利用できる場としての整備を目指す。 (2) 宮城県北部沿岸地域のアスリート育成・強化の拠点としての整備を目指す。 (3) スポーツを通じた交流のまちづくりに資する環境整備を目指す。 (4) 防災機能の充実と安全・安心のまちづくりに寄与する施設整備を目指す。 【整備基本方針】 (1) 身近にスポーツ活動を楽しみ心と体の健康を育む陸上競技場を整備する。 (2) 宮城県北部沿岸地域での大会開催や日常的な練習会場として活用可能な第3種公認の陸上競技場を整備する。 (3) 関係機関と連携しスポーツツーリズムやスポーツ合宿の誘致に対応した陸上競技場を整備する。 (4) 防災公園として防災機能を補完、強化した陸上競技場を整備する。</p>						
成果に係る評価	<p>陸上競技場については、子どもから高齢者及び障がい者等すべての市民に、幅広くスポーツを楽しむ生きがいを見出すことによる心と体の健康増進を推進する。 また、県北部沿岸地域の自治体も活用できる第3種公認の陸上競技場として、石巻市総合運動公園全体を活用しアスリートの技術向上や施設の利用促進を図る。 そして、各種公式大会のみならず、スポーツイベントの開催やスポーツ合宿の誘致に対応した環境整備を図り様々な交流を推進する。 さらに、石巻市の防災公園としての位置づけも踏まえて、災害時に必要な防災機能を補完、強化する内容を含む施設として整備を図る。 これらの方向性を踏まえ、次のステップとして陸上競技場基本計画を策定する。</p>						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
6,853,000	6,853,000				6,853,000		

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合運動公園管理運営事業																																																									
	7 項	保健体育費	総合計画	第 章																																																									
	2 目	体育施設費		第 節																																																									
	事業	総合運動公園管理費		()																																																									
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ																																																											
目的及び事業内容	石巻市総合運動公園（セイホクパーク）はスポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資するため、施設の効率的かつ適正な管理運営を実施する。 また、多様化する市民ニーズに効果的に対応できるよう創意工夫し、利用者への質の高いサービス提供に努め、施設の利用拡大を図るための方策の企画実施や各種スポーツ行事や競技大会等の利用調整を実施する。																																																												
取組実績	1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 150,000,000円 (3) 指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日（5年間）																																																												
	2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 各種イベント等について、ホームページをはじめ、インスタグラムやフェイスブックを活用し、情報発信に努めるとともに、利用者の意向を把握することが重要であるため、全施設の利用者に利用報告書を提出してもらい、要望、意見等に速やかに対応するように努めた。 (2) 快適な施設環境の提供 不特定多数の市民が利用する公共性に配慮し、施設の安全管理はもとより、利用者に満足していただけるよう日々の環境整備（清掃、除草、スポーツ芝の管理等）や緊急時の対応に備えた定期的な危険箇所の点検整備に努めた。																																																												
成果	1 利用者数の推移																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民球場</td> <td>18,378人</td> <td>23,298人</td> <td>23,177人</td> </tr> <tr> <td>フットボール場</td> <td>2,667人</td> <td>5,490人</td> <td>6,622人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいグラウンド</td> <td>1,528人</td> <td>2,818人</td> <td>5,216人</td> </tr> <tr> <td>フットサルコート</td> <td>7,163人</td> <td>8,412人</td> <td>6,983人</td> </tr> <tr> <td>フットボールフィールド第1</td> <td>18,315人</td> <td>20,013人</td> <td>27,489人</td> </tr> <tr> <td>フットボールフィールド第2</td> <td>11,506人</td> <td>12,451人</td> <td>17,531人</td> </tr> <tr> <td>多目的フィールド</td> <td>4,590人</td> <td>5,380人</td> <td>6,497人</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>8,838人</td> <td>10,473人</td> <td>10,658人</td> </tr> <tr> <td>南ブロックシャワー室</td> <td>54人</td> <td>134人</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>南ブロック更衣室</td> <td>7,191人</td> <td>10,753人</td> <td>6,914人</td> </tr> <tr> <td>施設外来園者</td> <td>117,099人</td> <td>107,981人</td> <td>81,606人</td> </tr> <tr> <td>トレーニングセンター</td> <td>9,024人</td> <td>11,529人</td> <td>11,925人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>206,353人</td> <td>218,732人</td> <td>204,842人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R2	R3	R4	市民球場	18,378人	23,298人	23,177人	フットボール場	2,667人	5,490人	6,622人	ふれあいグラウンド	1,528人	2,818人	5,216人	フットサルコート	7,163人	8,412人	6,983人	フットボールフィールド第1	18,315人	20,013人	27,489人	フットボールフィールド第2	11,506人	12,451人	17,531人	多目的フィールド	4,590人	5,380人	6,497人	テニスコート	8,838人	10,473人	10,658人	南ブロックシャワー室	54人	134人	224人	南ブロック更衣室	7,191人	10,753人	6,914人	施設外来園者	117,099人	107,981人	81,606人	トレーニングセンター	9,024人	11,529人	11,925人	合計	206,353人	218,732人
区 分	R2	R3	R4																																																										
市民球場	18,378人	23,298人	23,177人																																																										
フットボール場	2,667人	5,490人	6,622人																																																										
ふれあいグラウンド	1,528人	2,818人	5,216人																																																										
フットサルコート	7,163人	8,412人	6,983人																																																										
フットボールフィールド第1	18,315人	20,013人	27,489人																																																										
フットボールフィールド第2	11,506人	12,451人	17,531人																																																										
多目的フィールド	4,590人	5,380人	6,497人																																																										
テニスコート	8,838人	10,473人	10,658人																																																										
南ブロックシャワー室	54人	134人	224人																																																										
南ブロック更衣室	7,191人	10,753人	6,914人																																																										
施設外来園者	117,099人	107,981人	81,606人																																																										
トレーニングセンター	9,024人	11,529人	11,925人																																																										
合計	206,353人	218,732人	204,842人																																																										
成果に係る評価	新型コロナウイルス対応ガイドラインの周知徹底を図り、感染症対策を実施するとともにフットボールフィールドやテニスコートを定期的に利用する団体・個人が増加するなど、各施設の利用促進を図ることができた。 また、総合運動公園では施設命名権をセイホク（株）契約締結しており、ネーミングライツ料収入の1,980,000円のほか、野球場広告費として1,728,000円が管理運営事業の財源となっている。																																																												
予算の執行状況	（単位：円）																																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
150,000,000	150,000,000			3,708,000	146,292,000																																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校給食センター運営事業																																																																																																																									
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																																																																																								
	3 目	学校給食費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																																																																																																								
	事業	学校給食センター運営費、賄材料費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																																																																																																																								
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ P 87																																																																																																																											
目的及び事業内容	児童生徒に豊かで栄養バランスのとれた学校給食を提供し、心身の健全な育成に資する。子どもたちに学校給食を通じて望ましい食生活・食習慣の基盤形成を促すとともに、豊かな人間関係を構築する機会を提供する。 地場産物を使用し地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産業や食文化に対する理解を深め、郷土を愛し尊重する心を育む。																																																																																																																												
取組実績	学校給食実施状況（令和5年3月1日現在）																																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> <th>給食形態</th> <th>調理場方式</th> <th>給食実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>33校</td> <td>6,101人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18校</td> <td>3,247人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>2園</td> <td>44人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">センター名</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>対象校数</th> <th>児童数</th> <th>対象校数</th> <th>生徒数</th> <th>対象園数</th> <th>園児数</th> <th>対象校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉吉学校給食センター</td> <td>3校</td> <td>728人</td> <td>3校</td> <td>612人</td> <td></td> <td></td> <td>6校</td> <td>1,340人</td> </tr> <tr> <td>東学校給食センター</td> <td>16校</td> <td>3,571人</td> <td>8校</td> <td>1,710人</td> <td></td> <td></td> <td>24校</td> <td>5,281人</td> </tr> <tr> <td>河北学校給食センター</td> <td>8校</td> <td>789人</td> <td>5校</td> <td>423人</td> <td>2園</td> <td>44人</td> <td>15校・園</td> <td>1,256人</td> </tr> <tr> <td>河南学校給食センター</td> <td>6校</td> <td>1,013人</td> <td>2校</td> <td>502人</td> <td></td> <td></td> <td>8校</td> <td>1,515人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33校</td> <td>6,101人</td> <td>18校</td> <td>3,247人</td> <td>2園</td> <td>44人</td> <td>53校・園</td> <td>9,392人</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 学校給食に鯨肉等の地場産物を取り入れ、郷土食や行事食を提供することができた。 学校給食費の収納率向上を図るため、滞納者に対し学校長と連携して共同催告を実施した。 学校給食費自治体直接徴収の実施に向け、先進地視察と情報提供依頼（RFI）を実施した。 昨年度に引き続き石巻市学校給食センター整備基本計画策定検討委員会を開催し、令和5年2月に石巻市学校給食センター整備基本計画を策定した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">現年度分</th> <th colspan="3">過年度分</th> </tr> <tr> <th>滞納校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> <th>滞納校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>13校</td> <td>31人</td> <td>1,222,187円</td> <td>35校</td> <td>351人</td> <td>29,711,746円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>13校</td> <td>39人</td> <td>1,902,370円</td> <td>36校</td> <td>336人</td> <td>28,844,724円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>0校</td> <td>8人</td> <td>680,183円</td> <td>1校</td> <td>△ 15人</td> <td>△ 867,022円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※滞納者数は保護者の人数</p>						区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率	小学校	33校	6,101人	完全給食	共同調理場方式	100%	中学校	18校	3,247人	完全給食	共同調理場方式	100%	幼稚園	2園	44人	完全給食	共同調理場方式	100%	センター名	小学校		中学校		幼稚園		計		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数	吉吉学校給食センター	3校	728人	3校	612人			6校	1,340人	東学校給食センター	16校	3,571人	8校	1,710人			24校	5,281人	河北学校給食センター	8校	789人	5校	423人	2園	44人	15校・園	1,256人	河南学校給食センター	6校	1,013人	2校	502人			8校	1,515人	計	33校	6,101人	18校	3,247人	2園	44人	53校・園	9,392人	年度	現年度分			過年度分			滞納校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納校数	滞納者数	滞納繰越額	R3	13校	31人	1,222,187円	35校	351人	29,711,746円	R4	13校	39人	1,902,370円	36校	336人	28,844,724円	比較増減	0校	8人	680,183円	1校	△ 15人
区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率																																																																																																																								
小学校	33校	6,101人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																								
中学校	18校	3,247人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																								
幼稚園	2園	44人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																								
センター名	小学校		中学校		幼稚園		計																																																																																																																						
	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数																																																																																																																					
吉吉学校給食センター	3校	728人	3校	612人			6校	1,340人																																																																																																																					
東学校給食センター	16校	3,571人	8校	1,710人			24校	5,281人																																																																																																																					
河北学校給食センター	8校	789人	5校	423人	2園	44人	15校・園	1,256人																																																																																																																					
河南学校給食センター	6校	1,013人	2校	502人			8校	1,515人																																																																																																																					
計	33校	6,101人	18校	3,247人	2園	44人	53校・園	9,392人																																																																																																																					
年度	現年度分			過年度分																																																																																																																									
	滞納校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納校数	滞納者数	滞納繰越額																																																																																																																							
R3	13校	31人	1,222,187円	35校	351人	29,711,746円																																																																																																																							
R4	13校	39人	1,902,370円	36校	336人	28,844,724円																																																																																																																							
比較増減	0校	8人	680,183円	1校	△ 15人	△ 867,022円																																																																																																																							
成果	<ol style="list-style-type: none"> 地場産物や郷土食等を学校給食に取り入れることで地産地消の推進に寄与し、地域の産業や伝統、食文化に対する理解と関心を深めることができた。 過年度給食費に滞納がある保護者13名へ、市長と学校長の連名により催告書を送付し、早期の納付を促すことができた。 学校給食費を市で直接徴収している東松島市を訪問し、学校給食費自治体直接徴収実施までの手順やイメージを得るとともに、RFI実施によりシステム導入の情報を収集することができた。 石巻市学校給食センター整備基本計画において、新センターをRFI方式で整備することとした。 																																																																																																																												
成果に係る評価	<ol style="list-style-type: none"> 学校給食で地場産物や郷土食等を提供する取り組みは、児童生徒から大変好評であり、今後も継続したい。 滞納整理は継続的な取組みが重要であることから、継続可能な実施体制を構築し、組織強化を図る必要がある。 学校給食費自治体直接徴収について、先進地視察等で得た知見により、実施時期を令和7年4月に設定する等、事業を推進することができた。 石巻市学校給食センター整備基本計画を策定し、新センターの整備時期や手法等を明らかにしたことにより、建設事業がより具体的に現実的なものとなり、事業の方向性を明確なものとした。 																																																																																																																												
予算の執行状況	（単位：円）																																																																																																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																											
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																								
1,224,503,000	1,196,126,070	11,699,771	32,000,000	573,004,424	579,421,875																																																																																																																								